Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

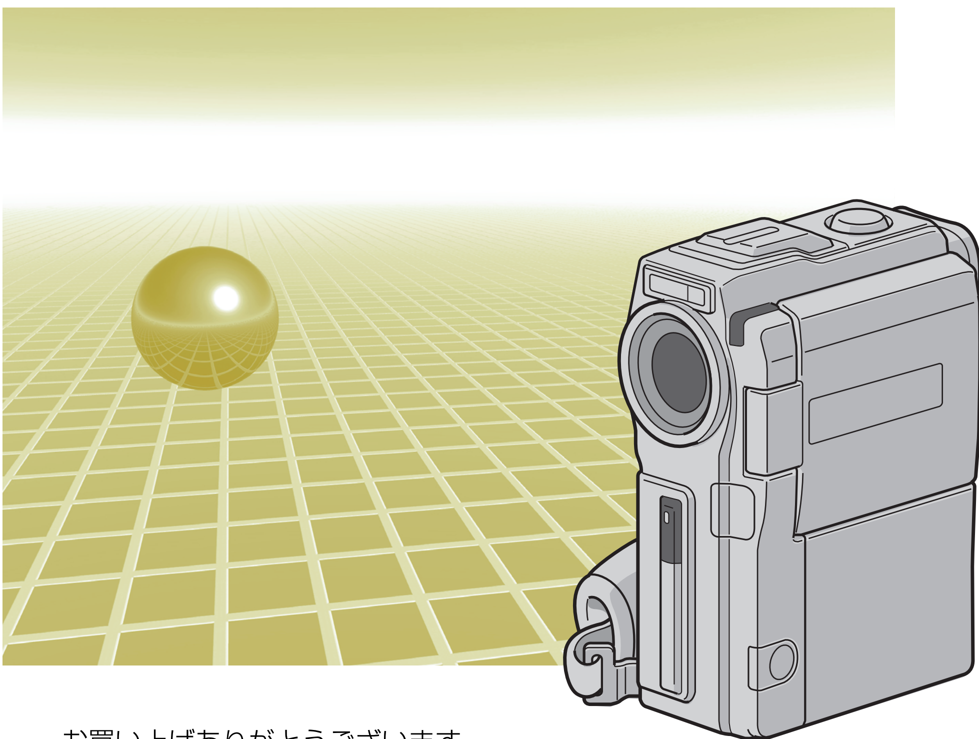
取扱説明書

デジタルビデオカメラ

型名 **GR-DVX9**

Mini DV NTSC i.LINK DSC DIGITAL STILL CAMERA

Digital Video Camera
GR-DVX9



お買い上げありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（16〜26ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LYT0586-001A

目次

撮影・初級テクニック編

撮影・上級テクニック編

再生を工夫しよう編

目 次

ビデオを編集してみよう編

設定を変えて使いこなそう編

その他

索引

はじめに

本書の読み方

取扱説明書は、デジタルビデオカメラの使い方に応じて８つの編に分かれています。

■ これだけは知っておこう編

ビデオカメラの各部の名前から、はじめて使うときの準備、ビデオの撮影や再生の基本的な手順を説明します。お買い上げ後に初めて使うときは、必ずお読みください。

■ 撮影・初級テクニック編

操作は簡単でも効果が大きい、知っていると便利な機能について説明します。『これだけは知っておこう編』の操作に慣れてから、お読みください。

■ 撮影・上級テクニック編

フラッシュの明るさや画面の色のバランスを手動で調節する方法や、ビデオ撮影中にさまざまな効果を挿入する方法などを説明します。

■ 再生を工夫しよう編

静止画の一覧表示の方法や、テープからメモリーカード、メモリーカードからテープへの画像のコピーを説明します。また、再生時の映像に変化をつける方法を説明します。

■ ビデオを編集してみよう編

撮影したビデオを編集して、個性的な作品に仕上げるための機能について説明します。

■ 設定を変えて使いこなそう編

ビデオカメラには、上記の編では説明しきれない数多くの機能があります。この編では、各種機能の設定について説明します。

■ その他

故障かなと思ったときの対処方法や、使用上のご注意、日常のお手入れ、主な仕様などについて記載しています。

■ 索引

五十音順索引のほか、メニュー一覧、画面表示の見方を記載しています。

著作権について

あなたがビデオカメラで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

記号の意味

本文中には、次の記号が使われています。



操作上の注意などが書かれています。

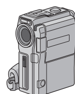


使用上の制限や、知っていると便利な内容が書かれています。


使用中に起こりうるトラブルや、トラブルのように見える現象について書かれています。

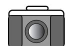

関連するページを示しています。

ページの上部または右下には、次の記号が使われています。


ビデオ撮影にのみ関わる操作を説明するページです。

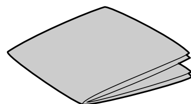


次のページに説明が続きます。


静止画の撮影にのみ関わる操作を説明するページです。

付属品について

付属品をお確かめください。



クリーニングクロス

こんなことができます

電子メールにも添付できる －動画メモリー機能－

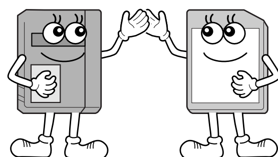
ビクター独自の動画圧縮技術で、ビデオ映像をメモリーカードに保存できる、動画メモリー機能を搭載しました。メモリーカードからパソコンに取り込めば、電子メールに添付して送ることもできます（☞P.113）。

ビデオと静止画が同時に撮れる － Dual Movie －

デジタルビデオとデジタルカメラで１台２役のDual Movie。ビデオを撮影しながら、静止画が撮れます。モードの切り換えが不要なので、ビデオ撮影中でもシャッターチャンスを逃しません（☞P.54）。

ビデオはテープ、静止画はカード

ビデオ（動画）はDVカセットテープに録画し、静止画はメモリーカード（MultiMediaCard）に保存します。ビデオと分けて保存するので、簡単に静止画を探せます。
ノートパソコンをお使いの方は、別売アダプターで静止画を素早く取り込めます（☞P.146）。

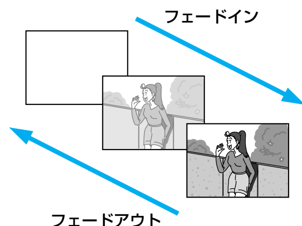


デジタルサウンドでビデオ編集をさらに楽しく

アクセサリーキットのメモリーカードに、12種類のデジタルサウンド（効果音）を用意しました。アフレコ編集で、また撮影中に、音声にデジタルサウンドを挿入できます（☞P.102）。

場面演出で個性を演出

さまざまな演出効果を用意しています。これらを駆使して個性的な映像を創造してみましょう。演出効果は、録画時と編集時のどちらでもご利用になれます（☞P.92、94、119、133）。



逆光でも大丈夫

普通の撮影では、太陽を背にした人の顔は真っ暗に写るもの。逆光補正ボタンを押すだけで、こんなときでも自然な画像を撮影できます（☞P.77）。

静止画がより綺麗に撮れる － XGA モード－

静止画専用のXGAモードを搭載。従来機種（VGAモード相当）よりも高解像度の綺麗な静止画を撮影できます（☞P.72）。



デジタルダビングで劣化知らず

デジタルビデオ専用の入力／出力端子を搭載しました。デジタルだから、画質と音質を損なうことなくダビング＆編集ができます（☞P.126）。

どこでも撮れるオートフラッシュ

暗い場所で静止画を撮ると、自動的にフラッシュが光ります。また、フラッシュ撮影では被写体の瞳が赤くなることがありますが、オート赤目軽減モードで目立たなくします（☞P.83）。

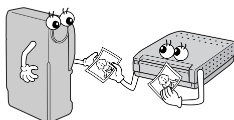
拡大しても滑らか画像

被写体を光学ズームで10倍まで、デジタルズームなら200倍まで拡大できます。光学ズームは被写体そのままの美しさを、デジタルズーム時も補正技術で滑らかで鮮明な画像を保ちます（☞P.51、153）。
また、PSワイドモードでは広角側0.7倍のワイド撮影ができます（☞P.51、156）。



楽しい、簡単、らくらくプリント

簡単な操作で綺麗に印刷できます。絵はがき印刷やシール写真が楽しいフレーム機能と、用紙いっぱいに印刷する枠なし機能をご利用になれます（☞別冊）。
専用プリンター付きのアクセサリーキットをお買い求めください。



レンズカバーは自動で開閉

ビクター独自の電源連動「おまかせレンズカバー」を採用。レンズキャップの取り忘れでシャッターチャンスを逃がしません。撮影中もレンズキャップが邪魔になりません。

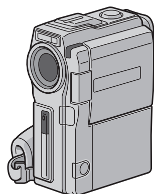
動画も綺麗になった －高画質CCD搭載－

クッキリ、綺麗なビデオを撮れる、新しいプログレッシブCCDを採用。手ぶれ補正中でも、映像の美しさを損ないません。

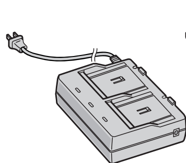
いますぐ
ビデオと静止画を撮影してみよう

箱を開けたら、何はともあれビデオを撮影してみましょう！
最初はバッテリーが充電されていないので、コンセントにつないで撮影し、再生してみます。ボタンやランプの名前なんて知らなくても大丈夫。ともかく、この通り操作すれば撮影できます。

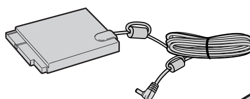
用意するもの



本体



ACアダプター

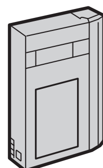


DCコード



メモリーカード

（アクセサリーキット（VU-X9KIT）から）

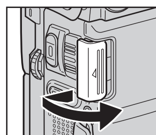


ミニDV
カセットテープ
（別売）

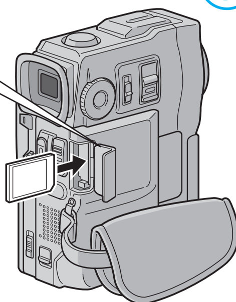
※専用プリンタキット（GV-SP9KIT）の場合、ACアダプターの形状が異なります。

メモリーカードを入れる

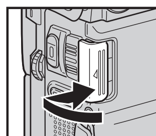
1 スライドさせてから開く



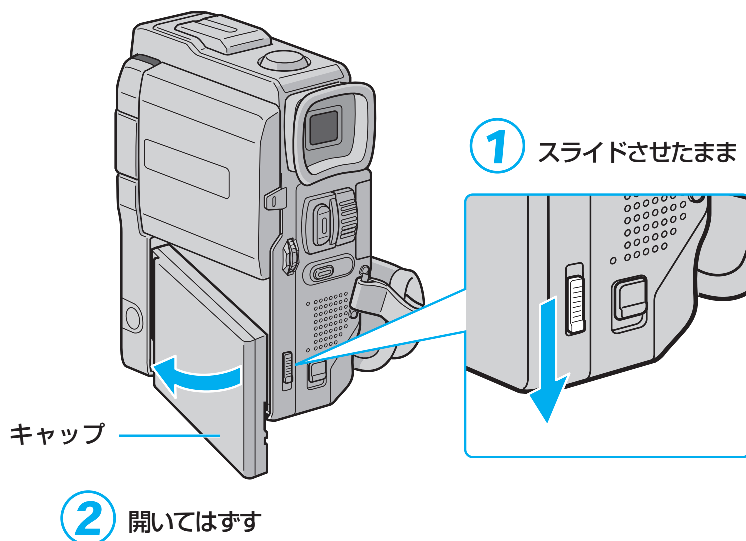
2 メモリーカードを奥まで入れる



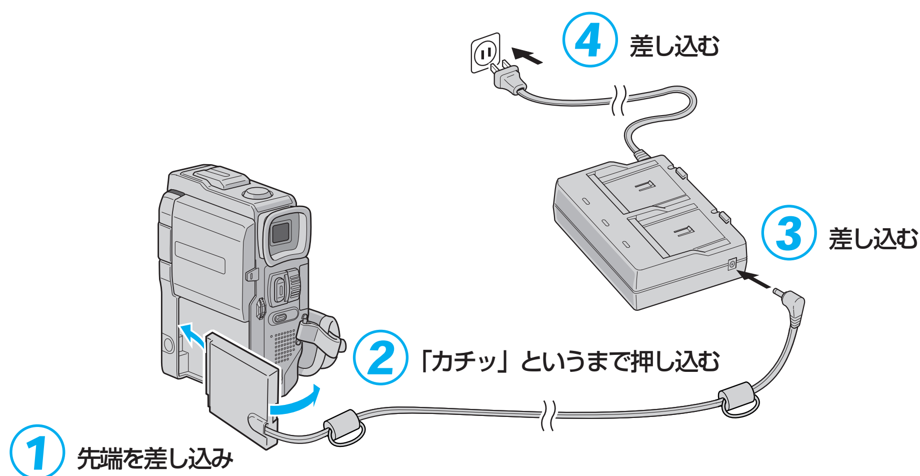
3 カバーを「カチッ」と音がするまで押して閉じる



キャップをはずす

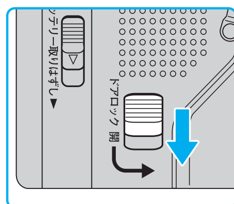


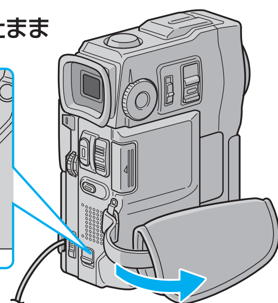
コンセントにつなぐ



カセットテープを入れる

1 スライドさせたまま

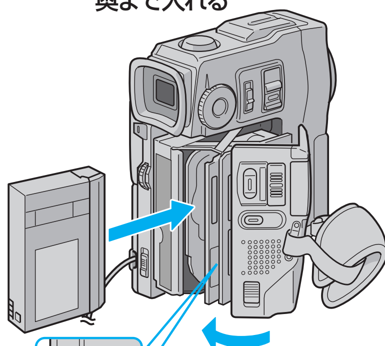




2 開く

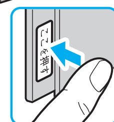
中のホルダーが
自動的に開く

3 カセットテープを
奥まで入れる



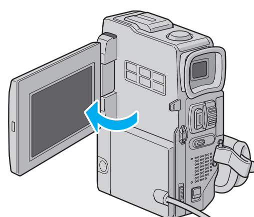
4 ここを押す を押す

ホルダーが
自動的に閉じる



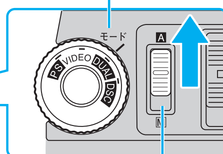
5 カバーを閉じる

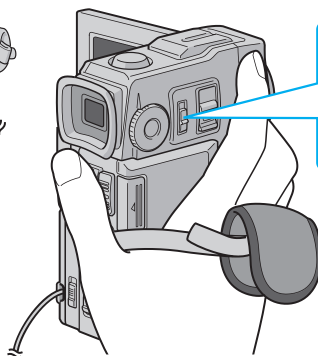
撮影できる状態にする



1 液晶画面を開く

2 「DUAL」を線の位置に
合わせる





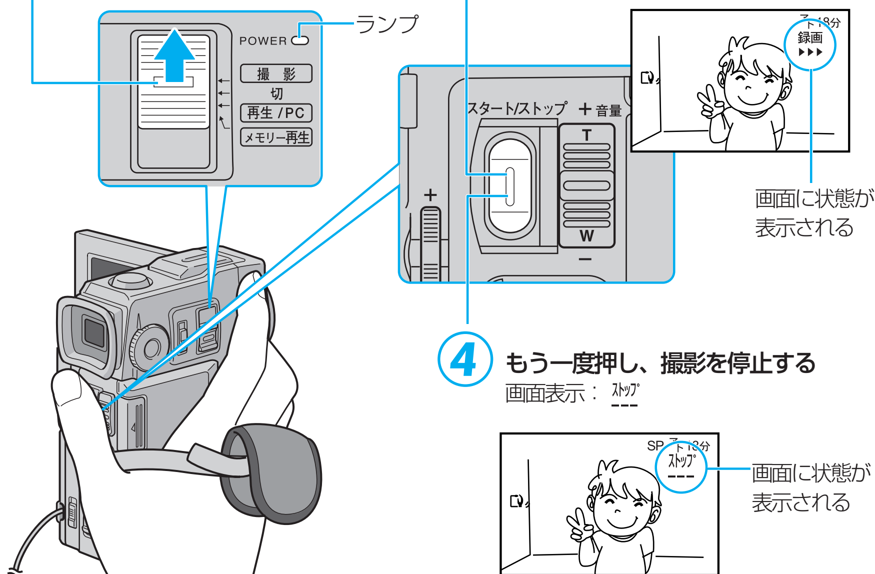
3 「A」側にスライドさせる

ビデオを撮影する

1 ロック解除ボタンを押したまま

2 「撮影」の位置に合わせる
ランプが点灯し、画面が映る

3 「スタート／ストップ」ボタンを押し、撮影を開始する
画面表示：録画 ▸▸▸

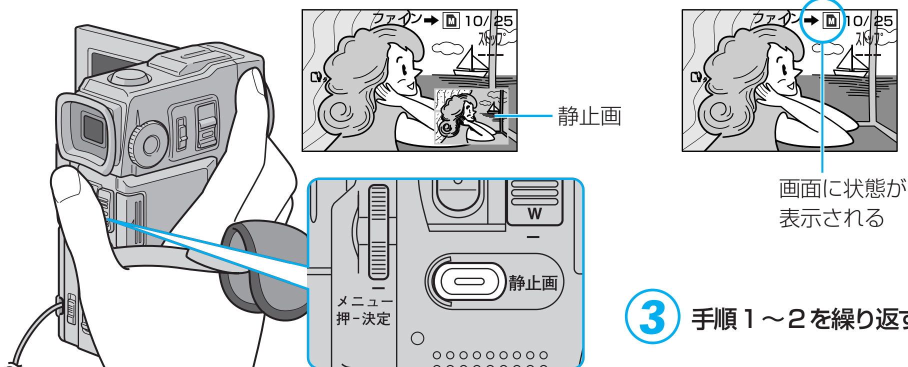


4 もう一度押し、撮影を停止する
画面表示：ｽﾄｯﾌﾟ ---

静止画を撮影する

1 静止画ボタンを軽く押す（半押し）
画面の右下に静止画が表示される

2 静止画ボタンを強く押す（全押し）
静止画が撮影される
画面表示➔ M

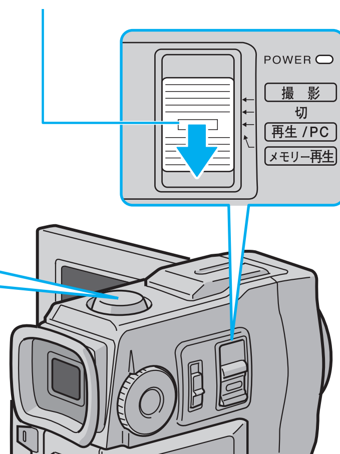


3 手順１～２を繰り返す

撮ったビデオを見る

1 ロック解除ボタンを押したまま

2 「再生／PC」の位置に合わせる



3 ◁◁ を押して巻き戻す
画面表示：◀◀
テープの先頭まで
巻き戻ると、停止する

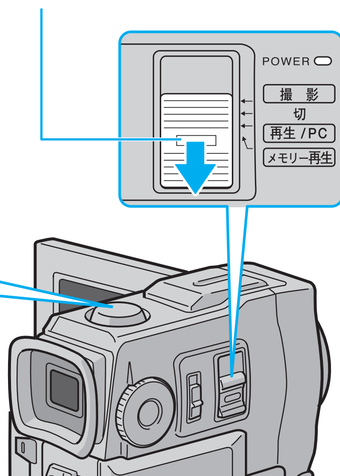
4 ▷ / ▯▯ を押して再生する
画面表示：▶

5 □ を押して停止する

撮った静止画を見る

1 ロック解除ボタンを押したまま

2 「メモリー再生」の位置に合わせる

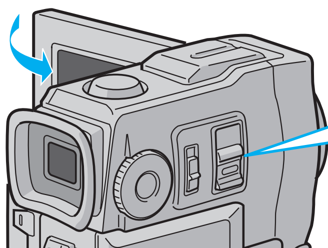


3 ▷▷ を押して
次の静止画を再生する

4 ◁◁ を押して
前の静止画を再生する

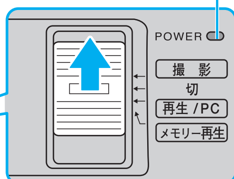
電源を切る

② 液晶画面を閉じる



① 「切」の位置に合わせる
ランプが消灯し、画面が消える

ランプ



機能デモを見てみよう

本機には、演出効果などの機能を確認するためのデモモードがあります。
ビデオカメラをお使いになる前に、是非一度ご覧になってください。

機能デモを表示させるには

カセットテープを入れずに電源を入れると、液晶画面に
ビデオカメラの機能デモが自動的に表示されます。
機能デモを途中でやめるには、電源を切ってください。
機能デモを表示しないようにすることもできます ☞ P. 154

ビデオ撮影、本番へ GO!

とにかくすぐに撮影をしてみるステップはこれで終了。次は、いよいよ撮影本番！ バッテリーを使い、いろいろなシーンを撮影しましょう。
バッテリーの充電にはしばらく時間がかかります。この待ち時間を利用して、いくつかのページに目を通してみてください。きっと撮影のときに役立ちます。

バッテリーで撮影する ☞P. 31

上手に撮るコツ ☞P. 50、56

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

●注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号


一般的注意


手がはさまれる

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号


禁止


水場での使用禁止


接触禁止


分解禁止


ぬれ手禁止


水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号


一般的指示


プラグをコンセントから抜く

⚠警告

■煙が出たり、へんな臭いがするときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く



・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■落としたり、壊れたときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く



・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■内部に水や異物が入ったときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く



・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■電源コードが傷んだときは、電源プラグを抜く



・販売店に修理を依頼してください。
・芯線が露出していたり、断線したままで使用すると、火災や感電の原因になります。

■持ち運ぶときには、液晶画面やファインダーを持たない



・液晶画面、またはファインダーを持って運ぶと、故障したり落として、 けがの原因となります。

■不安定な場所に置かない



・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
・落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。

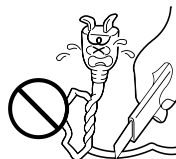
■指定の電源電圧以外で使用しない



・火災や感電の原因となります。

⚠警告

■電源コードを傷つけない



・火災や感電の原因となります。
・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、
熱器具に近づける。

■内部に物を入れない



・カセットテープの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れない でください。
・火災や感電の原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■内部の部品に触らない



・カセットテープの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
・感電や故障の原因となります。

■機器を接続するときは、電源を切る



・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。

■分解や改造はしない



・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■自動車などの運転中に使用しない



・運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
交通事故の原因になります。

■レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けない



・レンズやファインダーを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。

⚠警告

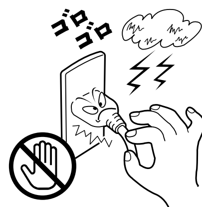
■ぬらさない





・火災や感電の原因となります。
・風呂場では使用しないでください。
・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
・水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。

■雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない



・感電の原因となります。

■電源プラグが不完全な接続状態で使用しない



・接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・最後までしっかりと接続してください。

■電源プラグにほこりや金属物を付着させない



・ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。

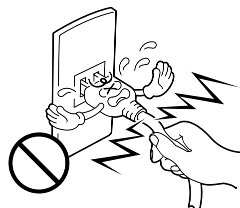
■上に乗らない



・倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

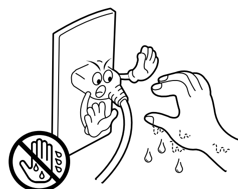
⚠注意

■電源コードはコードの部分を持って抜かない



・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・プラグの部分を持って抜いてください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



・感電の原因となることがあります。

■次のような場所には置かない



・砂浜などの砂ぼこりのある所
・湿気やほこりの多い所
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
・熱器具の近くなど
・真夏の車内など高温になる所
・直射日光の強い所
火災や感電の原因となることがあります。

■上に重い物を置かない



・バランスがくずれて倒れたり落下して､けがの原因となることがあります。

■カセットテープの出し入れ口に手を入れない





・手をはさまれてけがをする原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■本体に衝撃を与えない



・けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。

⚠注意

■指定以外のアクセサリーを使わない



・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・本機に指定されたものか確かめ、アクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

■別売の照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない



・高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。

■本機やアクセサリーなどを布などでおおった状態で使用しない



・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

■コード類は正しく配置する



・ACアダプターの電源コードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
・十分注意して接続、配置してください。

■長期間使用しないときはバッテリーをはずし、電源プラグを抜く



・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。

■別売の三脚を不安定な状態で使用しない



・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。

■移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす



・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・カセットテープも取り出しておいてください。

⚠注意

■バッテリーやグリップベルトは正しく取り付ける



・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。

■お手入れするときは、バッテリーをはずし、電源プラグを抜く



・電源が「切」でも機器に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。

■５年に一度は内部の点検を販売店に依頼する



・内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。
・湿気の多くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です。
・費用については、販売店にご相談ください。

■強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない



・故障の原因となることがあります。
・テレビの上や近くでは使用しないでください。
・ACアダプターを使用しているときは、なるべく本機から遠ざけてご使用ください。

■飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う



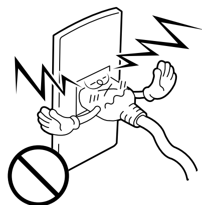
・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。

ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

■ACアダプターを指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。



■ACアダプターは指定以外のビデオカメラやバッテリーには使わない



・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・指定されたものか確かめ、ビデオカメラやアクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

■ACアダプターの分解や改造をしない



・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対におやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

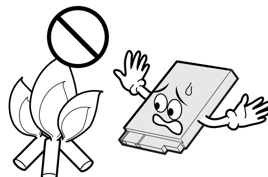
■バッテリーを充電するときは、指定のACアダプターを使う



・性能や形状が異なると、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

■バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。



はじめに

ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

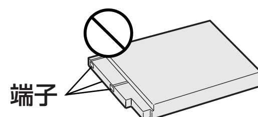
■高温の場所（60℃以上）に置かない



・発熱、破裂、発火の原因となります。

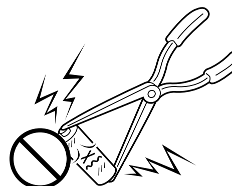
■バッテリーの端子部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



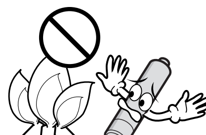
■乾電池の端子部（⊕と⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・液漏れ、発熱の原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



■乾電池は絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、充電、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、破裂などの原因となります。



ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠警告

■指定以外の乾電池は使わない、また液漏れを起こしたバッテリーや乾電池を使わない



・液漏れを起こした電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
・電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
・電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
・電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

■乾電池は幼児の手の届かない所に置く



・万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

■ぬれたバッテリーは使わない



・故障、感電、発熱、発火の原因となります。

⚠注意

■乾電池を入れるときは、極性表示（⊕ と⊖ ）の向きに注意する



・機器の指示通りに乾電池を入れてください。間違えると電池の破壊、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚す原因になることがあります。

■通電中のACアダプターや充電中のバッテリーに長時間触れない



・温度が上がり、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

リモコンについて

⚠注意

■高温になる場所に置かない



・晴天の閉めきった車内など、高温になる場所に放置しないでください。

■次のような場所に長時間置かない



・直射日光などにさらされる場所
・ゴムまたはプラスチック製品に接触する場所

各部の名前とはたらき

本体

ステレオマイク
撮影時とアフレコ編集時に音声を吹き込みます。

カメラセンサー
撮影に必要なセンサーです。
指などでふさがないようにしてください。

フラッシュ
静止画を撮影するときに、暗いとフラッシュを発光します。

レンズカバー
撮影時にファインダーを引き出す、または液晶画面を開けると、自動で開きます。

撮影ランプ
撮影中は点灯します。

リモコン受光部
ここにリモコンを向けて操作してください。

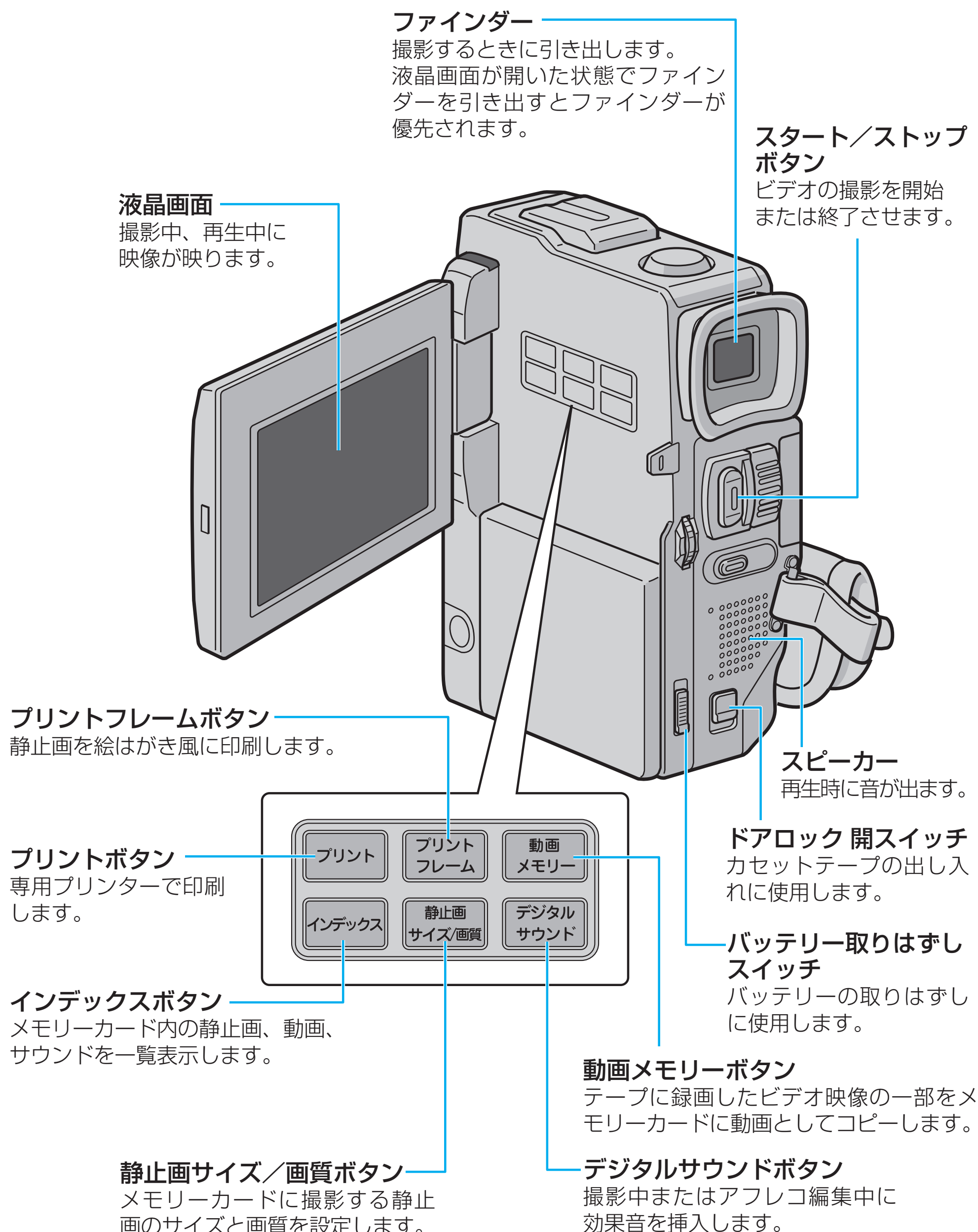
グリップベルト

リング

AV 出力端子
コードでテレビやビデオデッキを接続します。
また、撮影時や再生時にヘッドホンを接続できます。ただし、音量調節つきのヘッドホンは使えません。
また、ヘッドホン接続時はスピーカーから音が出ません。

DV 入力／出力端子（i-Link）
DV 端子付きのビデオ機器と接続します。
＊：i-LINK は、IEEE1394-1995 仕様およびその拡張仕様です。

各部の名前とはたらき

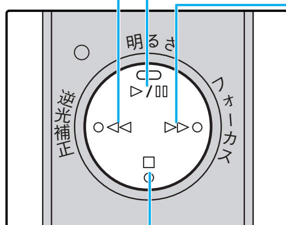


ファインダー
撮影するときに引き出します。
液晶画面が開いた状態でファインダーを引き出すとファインダーが優先されます。
スタート／ストップボタン
ビデオの撮影を開始または終了させます。
液晶画面
撮影中、再生中に映像が映ります。
プリントフレームボタン
静止画を絵はがき風に印刷します。
プリントボタン
専用プリンターで印刷します。
プリント
プリントフレーム
動画メモリー
インデックス
静止画サイズ/画質
デジタルサウンド
インデックスボタン
メモリーカード内の静止画、動画、サウンドを一覧表示します。
スピーカー
再生時に音が出ます。
ドアロック 開スイッチ
カセットテープの出し入れに使用します。
バッテリー取りはずしスイッチ
バッテリーの取りはずしに使用します。
動画メモリーボタン
テープに録画したビデオ映像の一部をメモリーカードに動画としてコピーします。
静止画サイズ／画質ボタン
メモリーカードに撮影する静止画のサイズと画質を設定します。
デジタルサウンドボタン
撮影中またはアフレコ編集中に効果音を挿入します。

巻き戻し／逆光補正ボタン
ビデオの巻き戻しや静止画の再生操作の他に、逆光補正にも使用します。

再生／一時停止／明るさボタン
ビデオや静止画の再生操作の他に、映像の明るさ調節にも使用します。

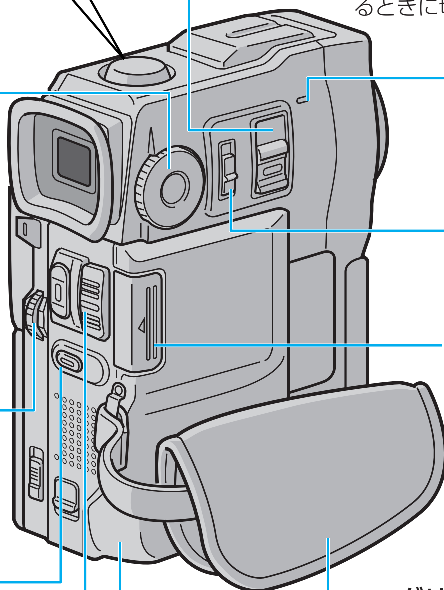
早送り／フォーカスボタン
ビデオの早送りや静止画の再生操作の他に、ピント合わせにも使用します。



電源スイッチ
電源の入切、撮影と再生などを切り替えます。
撮影 ･････････ビデオや静止画を撮影できます。
切 ･･･････････電源を切れます。
再生／PC ･･･ビデオを見るとき、および HS-V17KIT または HS-V15KIT を使用するときに切り替えます。
メモリー再生･･･静止画、動画、サウンドを再生するときに切り替えます。

停止ボタン
ビデオの再生や、静止画の連続再生を停止します。

撮影モードダイヤル
撮影モードを変更します。
PS ･････連続静止画を撮影します
DUAL ･･ビデオと静止画を撮影します。
VIDEO･･ビデオを撮影します。
DSC････静止画を撮影します。



POWER ランプ
電源が入っているときに点灯します。

A／M スイッチ
自動 A と手動設定 M を切り替えます。

メモリーカードカバー
メモリーカードを出し入れします。

メニュー／決定レバー
メニューを表示して操作します。

静止画ボタン
メモリーカードに静止画を撮影する、またはテープに静止画を撮影します。

グリップベルト

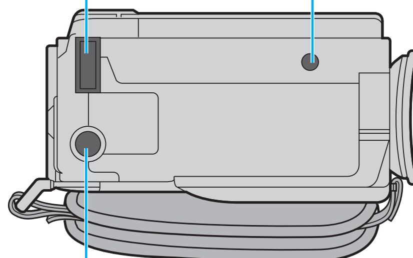
カセットカバー

ズームスイッチ
映像のズームを行います。
再生中はスピーカー、ヘッドホンの音量を調節します。

各部の名前とはたらき

コネクター部
ドッキングステーションの
コネクター部に合わせます。

ガイドピン穴
ドッキングステーションの
ガイドピンに合わせます。



三脚取り付けネジ穴
三脚またはドッキングステーションの
固定ネジを取り付けます。

ドッキングステーション

パソコン（デジタル静止画）端子

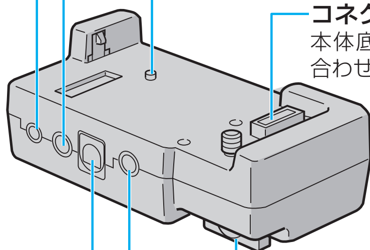
JLIP ／編集端子
編集コード（JLIP コード）を
接続します。

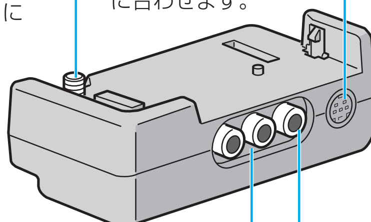
ガイドピン
本体底面のガイドピン穴に合わせます。

コネクター部
本体底面のコネクター部に
合わせます。

S2 入力／出力端子
S 映像コードを接続します。

固定ネジ
本体底面の三脚
取り付けネジ穴
に合わせます。





固定ノブ
固定ネジを回します。

マイク端子
外部マイクを接続します。

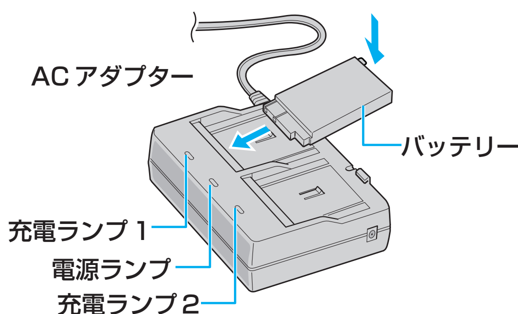
プリンター端子
プリンターコードを接続します。

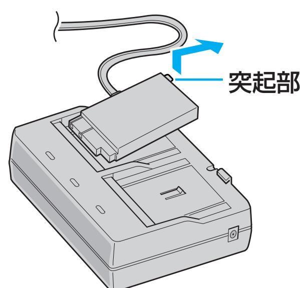
音声 入力／出力端子
音声／映像コードを接続します。

映像 入力／出力端子
音声／映像コードを接続します。

Step1 バッテリーを充電する

バッテリーの充電には、別売アクセサリーキット（GV-SP9KIT）の AC アダプター（AA-V51）または(VU-X9KIT)の AC アダプター（AA-V50）を使用します。AA-V50 の場合、２個のバッテリーを取り付け、連続して充電することもできます。

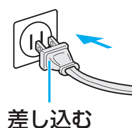




※イラストは AA-V50 です。

1 AC アダプターの電源コードをコンセントに差し込む

電源ランプが点灯します。



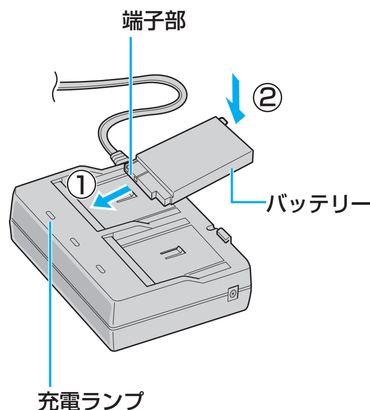
2 バッテリーを取り付け、充電する

①端子部を AC アダプターの溝に差し込みます。

②カチッと音がするまで AC アダプターに押し付けてください。

充電ランプが点滅します。

ご注意
- DC コードは接続しないでください。充電できません。





- 海外でもバッテリーを充電できます（☞P.182）。

次へ続く

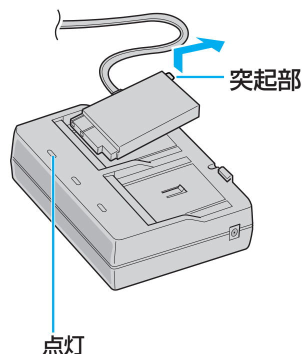
これだけは知っておこう編

3 充電ランプの点滅が点灯に変わったら、バッテリーを取りはずす

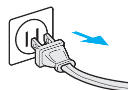
バッテリーが充電されました。

AC アダプターからバッテリーを取りはずすときは、バッテリーの突起部に指をかけて持ち上げると、簡単に外れます。

バッテリーを 2 個取り付けたときは、取り付けた順に充電が完了します。



4 AC アダプターの電源コードを抜く





- 充電時間の目安（室温 10℃〜35℃）

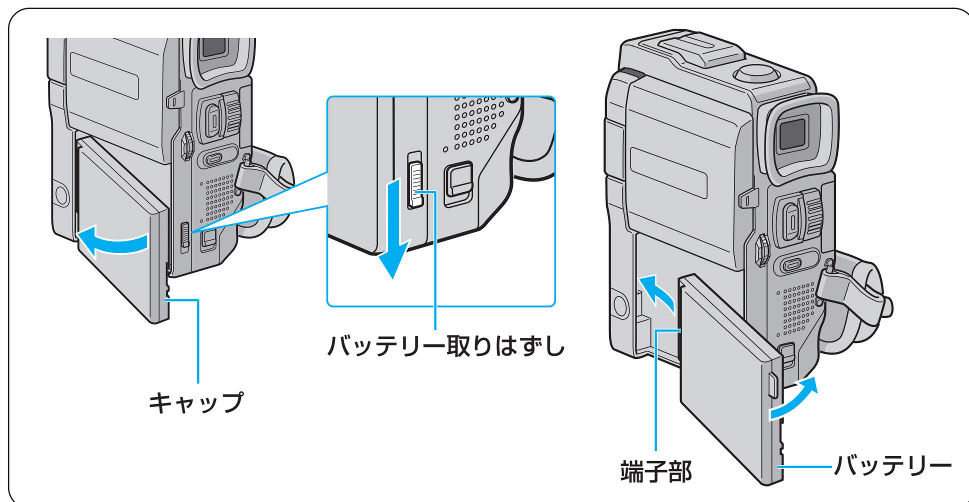
標準バッテリー(BN-V507)	：	1 個で約 90 分
		2 個連続で約 180 分（AA-V50 の場合）
長時間バッテリー(BN-V514)	：	1 個で約 180 分
		2 個連続で約 360 分（AA-V50 の場合）



- 十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。

Step2　バッテリーを取り付ける

バッテリーは出荷時には充電されていません。ACアダプターで充電してからお使いください。充電が終わっていない場合など、必要に応じてDCコードを取り付けて使用することもできます（☞P.64）。



1 キャップをはずす

出荷時に取り付けられているキャップを、バッテリー取りはずしスイッチを下にスライドさせたまま、開くようにして取り外します。

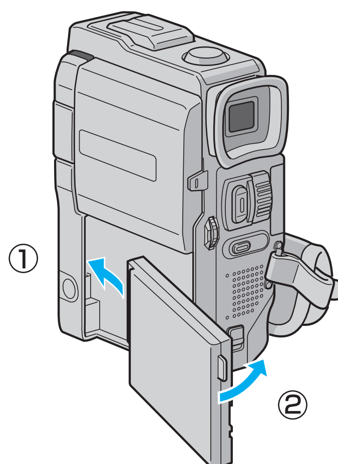
取り外したキャップは、ビデオカメラの保管や搬送のとき等に使用しますので、捨てないで保管しておいてください。

次へ続く

2 充電済みのバッテリーを取り付ける

①端子部を本体の溝に差し込みます。

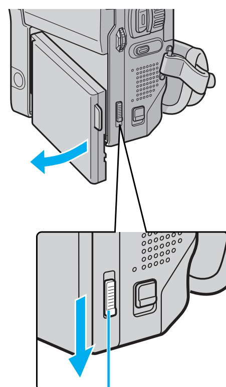
②カチッと音がするまで本体に押し付けてください。

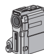


バッテリーを取りはずすには

1 「バッテリー取りはずし」スイッチを下にスライドさせたまま、バッテリーを取りはずす

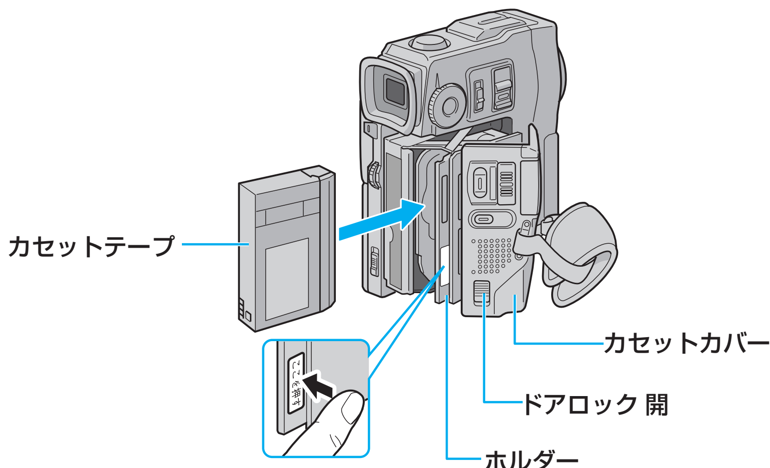
- バッテリーを開くようにして取りはずしてください。





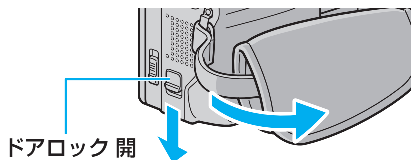
Step3　カセットテープを入れる

ビデオを撮影するには、ミニ DV カセットテープを使用します。



1 「ドアロック 開」スイッチを下にスライドさせたまま、カセットカバーを手で開ける

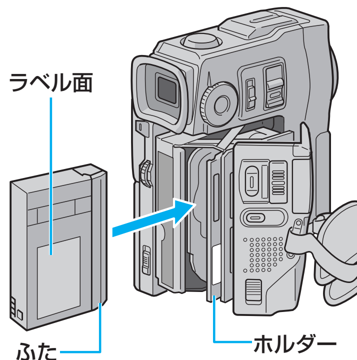
本体内部のホルダーが自動的に開きます。



2 カセットテープをホルダーに入れる

- カセットテープのラベル面をカセットカバー側に、カセットテープのふたの部分を奥にして入れます。

  カセットテープを指で軽く押して、ホルダーの奥まで確実に入れてください。



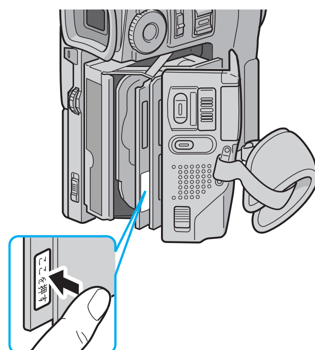
次へ続く

3 **ホルダーの「ここを押す」を押す**

ホルダーが自動的に収納されます。

- ホルダーが収納されない場合、カセットカバーを完全に開いてカセットテープを取り出し、少し待ってから入れ直してください。

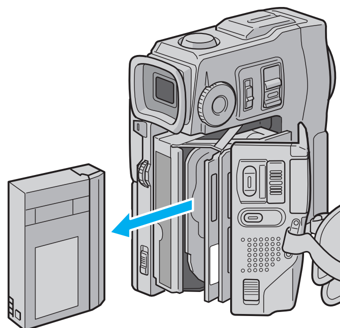
ご注意
- 指などをはさまれないようにご注意ください。



4 **カセットカバーをカチッと音がするまで押して閉める**

カセットテープを取り出すには

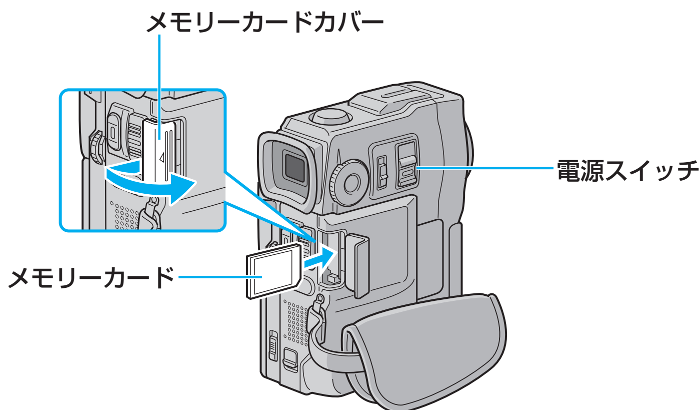
1 **前のページの手順２で、カセットテープを引き出す**





Step4　メモリーカードを入れる

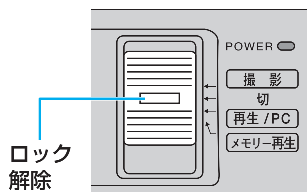
静止画を撮影するには、メモリーカード（MultiMediaCard）を使用します。



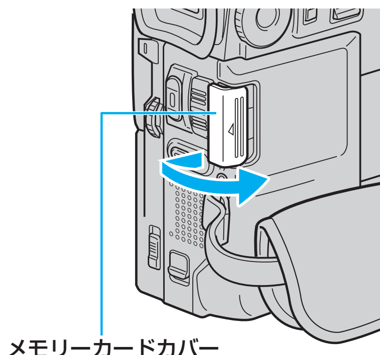
1 電源スイッチが「切」の位置になっていることを確認する。

- ロック解除ボタンを「切」の位置に合わせてください。

ご注意
- 電源を切らずにメモリーカードを抜き差しすると、故障する恐れがあります。



2 メモリーカードカバーをスライドさせてから開ける

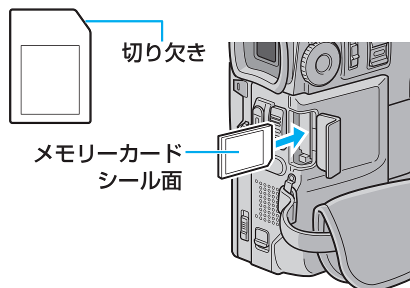


次へ続く

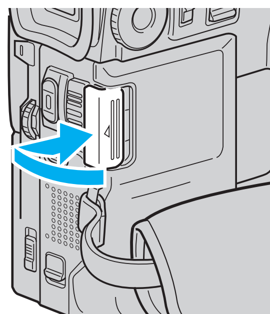
3 メモリーカードの切り欠き部分を奥にして差し込む

- 奥までしっかりと差し込んでください。

ご注意
- メモリーカードの金属部分に触れないでください。



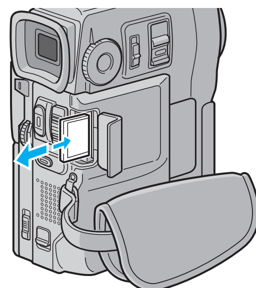
4 メモリーカードカバーを、カチッと音がするまで押して閉める



メモリーカードを取り出すには

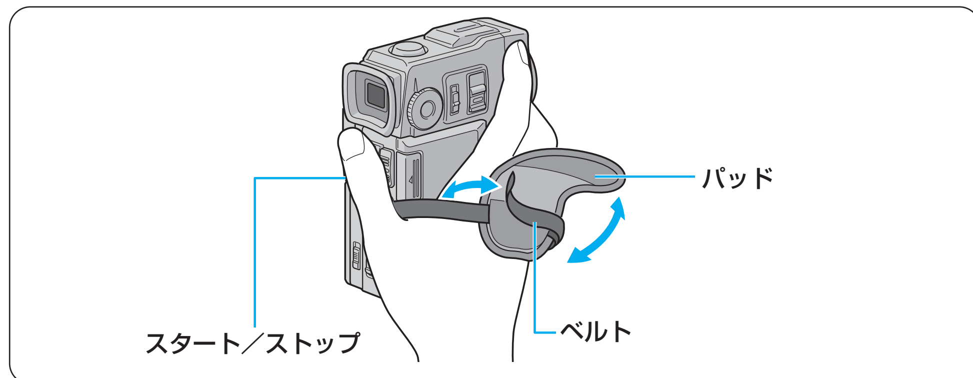
1 上の手順３でメモリーカードを押す

2 出てきたメモリーカードを引き抜く



Step5　グリップベルトを合わせる

手の大きさに合わせるため、グリップベルトを調節します。



1 パッドのマジックテープをはがす

2 ベルトの長さを調整する

- 親指を「スタート／ストップ」ボタンに合わせて構えたときに、本体がぐらつかない程度にベルトを締めてください。

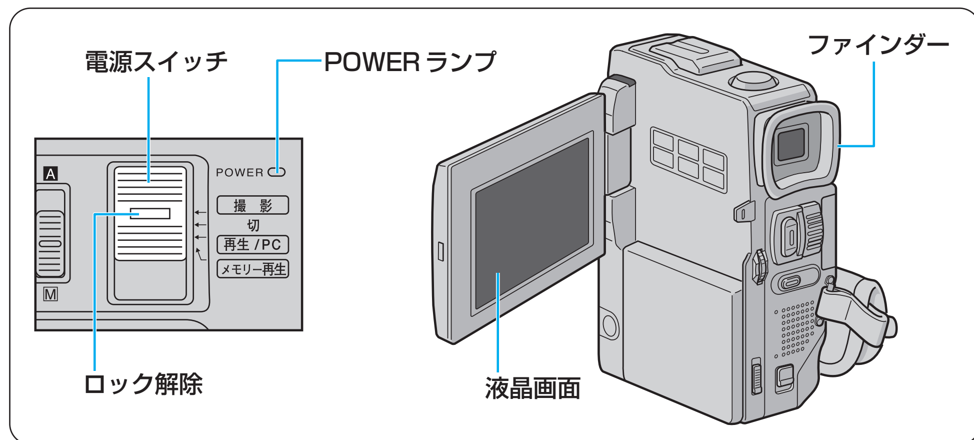
3 パッドを貼り付ける

Step6　電源を入れる

電源は液晶画面やファインダーと連動しています。液晶画面を開く（またはファインダーを引き出す）とすぐに撮影を始められ、液晶画面とファインダーを元に戻すだけで電源が切れます。

撮影するときは

つぎの２つの条件が揃ったときに電源が入り、POWERランプが点灯します。どちらを先にしても構いません。

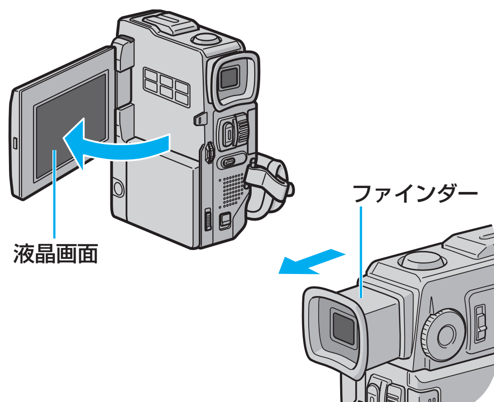


■電源スイッチ

ロック解除ボタンを押したまま、電源スイッチを「撮影」の位置にする。
（電源スイッチのロック解除ボタンを「撮影」の矢印の位置に合わせます。）

■液晶画面とファインダー

液晶画面を開く、またはファインダーをロックされるまで引き出す。



電源を切るには

電源スイッチを「切」の位置にする。
または、液晶画面とファインダーを元に戻す。

ご注意
- 長期間使わないときは、電源スイッチを「切」にし、バッテリーとACアダプターを取りはずしてください（☞P.34、64）。

再生するときは

撮影とは異なり、次の操作だけで電源が入り、POWERランプが点灯します。

■電源スイッチ

ロック解除ボタンを押したまま、電源スイッチを「再生／PC」または「メモリー再生」の位置にする。

ビデオを再生するとき	：	「再生／PC」
静止画、動画、サウンドを再生するとき	：	「メモリー再生」

電源を切るには

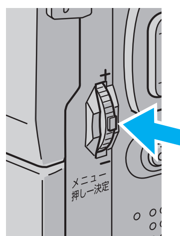
電源スイッチを「切」の位置にする。

ご注意
- 液晶画面を閉じていても電源が入ります。気づかずにバッテリーを消費してしまうことがあるので、再生したあとは必ずPOWERランプが消灯していることを確認してください。
- 長期間使わないときは、バッテリーとACアダプターを取りはずしてください（☞P.34、64）。

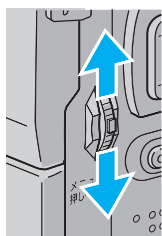
準備する

日付・時刻を合わせるには

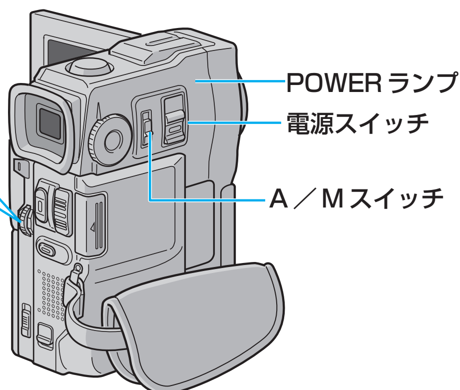
ビデオカメラには出荷時に日時を設定してありますが、お客様のお手元に届くまでに時刻がずれたり、設定が消えていることがあります。お使いになる前に、正しい日時を設定しなおしてください。また、日時が異なる国へ旅行するときも、日時設定を変更してください。
画面に「日時を設定して下さい！」とメッセージが表示されたときは、時計用の内蔵電池が消耗しています。内蔵電池を充電するため、AC アダプターを 24 時間以上接続してください。それから日時を設定してください。



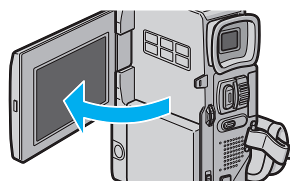
メニュー表示
決定する



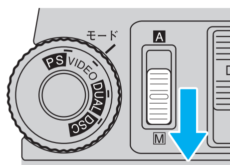
選ぶ



1 **液晶画面を開く**

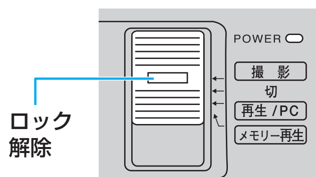


2 **A／M スイッチを「M」側にスライドさせる**

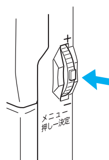


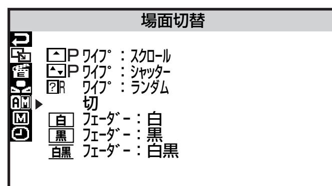
3 **ロック解除ボタンを押したまま、電源スイッチを「撮影」の位置にする**

POWER ランプが点灯し、液晶画面に映像が映ります。



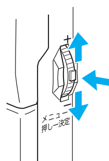
4 「メニュー／決定」レバーを押して、メニューを表示する

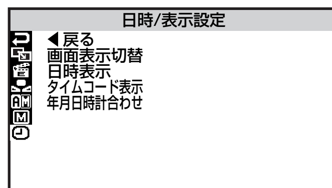




5 レバーを上下に動かして「」を選び、押して決定する

日時／表示設定メニューが表示されます。

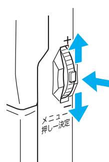


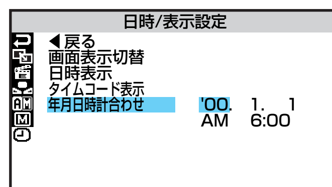


6 レバーを上下に動かして「年月日時計合わせ」を選び、押して決定する

年が変更できるようになります。

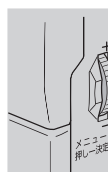
- 表示は西暦年号の下２桁表示です。西暦2000年は'00で表示されます。
- メニュー画面で選択中の項目には、右下に矢印が付きますが、本文中の画面例では省略してあります。





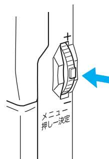
7 レバーを上下に動かして正しい年に合わせる

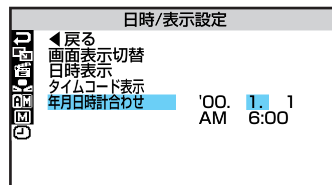
- 数値を大きくする→「＋」側
- 数値を小さくする→「−」側



8 レバーを押して年を決定する

月が変更できるようになります。

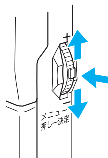


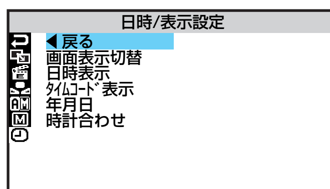


次へ続く

9 **同様にして、月日と時刻を合わせ、レバーを押して決定する**

「戻る」が反転します。





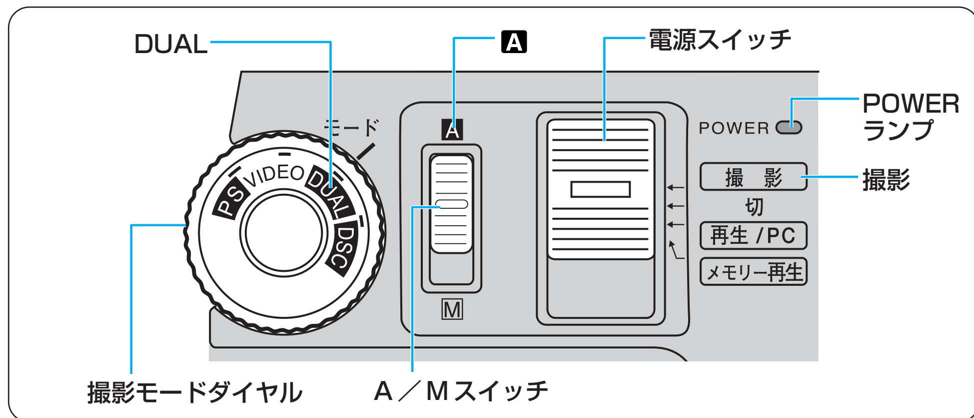
10 **レバーを２回押す**

メニューが終了し、撮影画面に戻ります。

撮影する

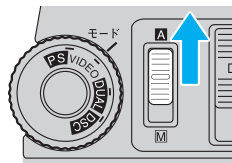
Act.1　設定を確認する

撮影前に、撮影モードなどの設定とテープやバッテリーの残量を確認します。まず、撮影モードダイヤルとA／Mスイッチの設定を確認します。



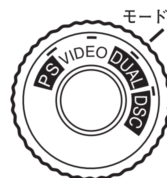
上図のように設定されていないときは、下記の手順で設定してください。この取扱説明書では、特に断りがないときは上図の設定で操作しています。

1 A／Mスイッチを「A」側にスライドさせる



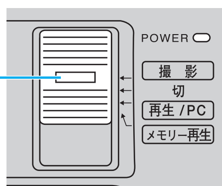
2 撮影モードダイヤルを回して「DUAL」を線の位置に合わせる

- ほかのモードについては、次ページの「撮影モードごとの特徴」で説明します。



3 ロック解除ボタンを押したまま電源スイッチを「撮影」の位置にする

POWERランプが点灯し、液晶画面に映像が映ります。





- 撮影モードダイヤルの設定が線の位置からズレていると、設定したモードとして動作しないことがあります。正しく線の位置に合わせてください。

撮影モードごとの特徴

DUAL
テープ（ビデオ）＆メモリーカード（静止画）

特徴：ビデオと静止画を同時に撮影できます。
- ビデオはビデオテープに、静止画はメモリーカードに記録されます。
- 静止画のサイズは、DSC モードの VGA と同じです。

VIDEO
テープのみ

特徴：ビデオと静止画を撮影し、テープに記録します（☞P. 78）。
- ビデオ映像の中に、写真のような場面を約 6 秒挿入できます。
- ビデオの画質は DUAL モードと同じです。
- 10 倍以上のズーム倍率を利用できます。

PS［プログレッシブスキャン］
テープのみ

特徴：ブレの少ない連続静止画を撮影し、テープに記録します（☞P. 107）。
- プリンターで印刷したいときにお勧めします。
- ビデオ映像をパソコンに取り込みたいときにお勧めします。
- PS ワイドモードで広角側 0.7 倍のワイド撮影ができます。
- 動きがギクシャクするので、ビデオ鑑賞には向きません。

DSC
メモリーカードのみ

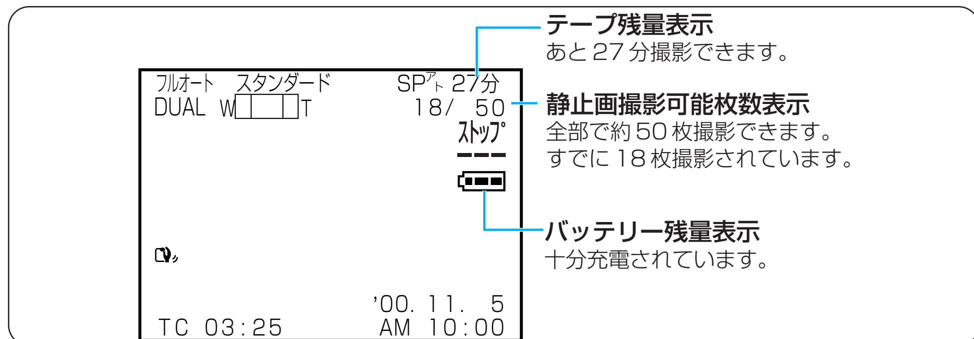
特徴：高解像度の静止画を撮影し、メモリーカードに記録します（☞P. 72）。
- 高解像度の XGA サイズと、たくさんの枚数を撮影できる VGA サイズがあります。
- XGA、VGA それぞれに画質のよいファインと、たくさん撮れるスタンダードがあります。
- 特に綺麗な静止画を撮りたいときは、「XGA のファイン」をお勧めします。
- バッテリーでの動作時間は、他のモードより長くなります。



- 解像度→静止画の解像度は、DUAL モードと VGA サイズでは 640 × 480 ドット、XGA サイズでは 1024 × 768 ドットになります。

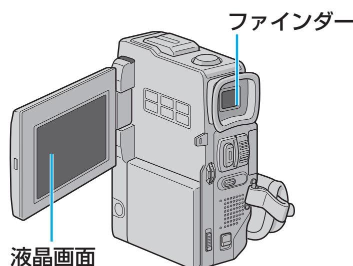
画面表示を確認する

テープ、メモリーカード、バッテリーの残量を確認します。



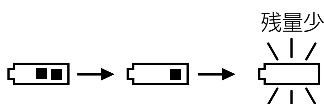
1 液晶画面を開くか、ファインダーを引き出す

撮影画面が表示されます。



2 画面表示を確認する

- バッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してください（☞P.31）。

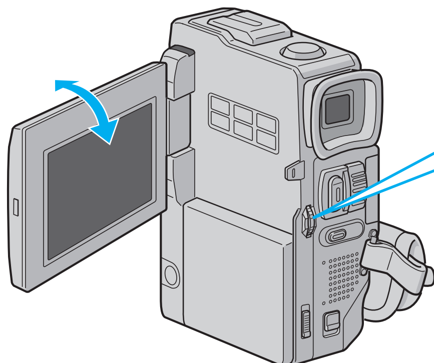


- テープ残量が足りない場合は、テープを交換してください（☞P.35）。
- メモリーカードの静止画撮影可能枚数が足りない場合は、メモリーカードを交換してください。または、いらない静止画を削除してください（☞P.69）。
- 静止画撮影可能な枚数は、撮影画像、画像サイズ、画質モードの変更などによって増減します（☞P.54）。
- 入れたばかりのテープでは、テープ残量は表示されません。一度テープを走行させて表示してください。
- テープ残量は目安としてお使いください。
  使用するカセットテープによっては、正しく表示されない場合があります。80分テープの巻き始めでは、正しい残量表示が出るまでに多少時間のかかることがあります。

Act.2　液晶画面やファインダーを調整する

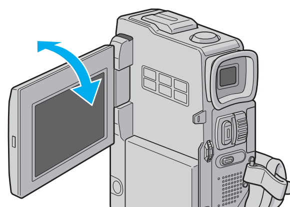
液晶画面を使うとき

画面表示や映像を見やすいように、液晶画面を調節します。



1 液晶画面の角度を調節する

- 液晶画面枠の上下に手を添えて、見やすい角度に傾けてください。

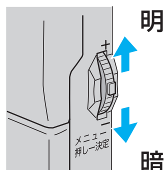


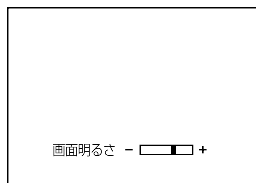
2 明るさを調節するには、「メニュー／決定」レバーを上下に動かす

- 見やすい明るさに調節してください。

  明るくする　→「＋」側

  暗くする　　→「－」側



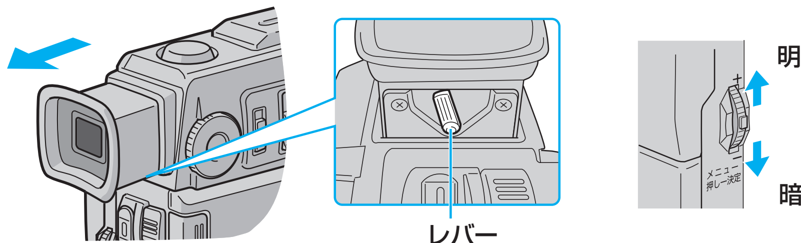




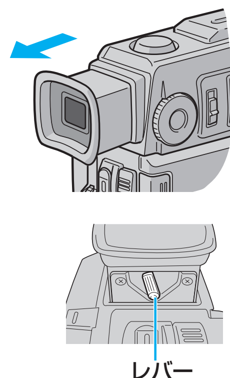
- ファインダーを引き出すと液晶画面は表示されません。液晶画面を使用するときは、ファインダーを引き出さないでください。

ファインダーを使うとき

周りが明るすぎて液晶画面が見えにくいときや、バッテリーで長時間撮影したいときは、ファインダーを使って撮影することをお勧めします。



1 ファインダーを引き出す



2 ファインダー内の画面がはっきり見えるように調節する

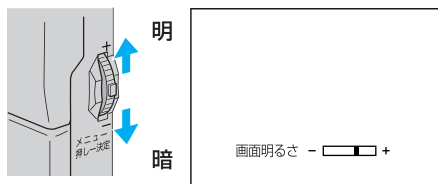
- ファインダーをのぞきながらレバーを動かし、文字がはっきり見えたところで止めてください。

3 明るさを調節するには、「メニュー／決定」レバーを上下に動かす

- 見やすい明るさに調節してください。

明るくする → 「＋」側

暗くする → 「－」側

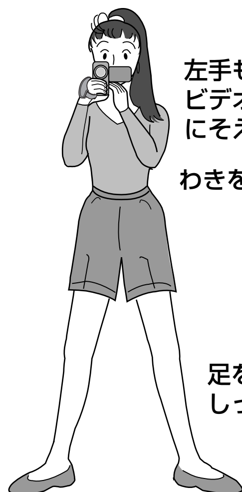


液晶画面とファインダー

液晶画面の表示とファインダー画面の表示は同じです。この取扱説明書では、液晶画面を使う場合を例にとって説明します。ファインダーを使用する場合は、液晶画面を開く代わりにファインダーを引き出してください。

Act.3　カメラをかまえる

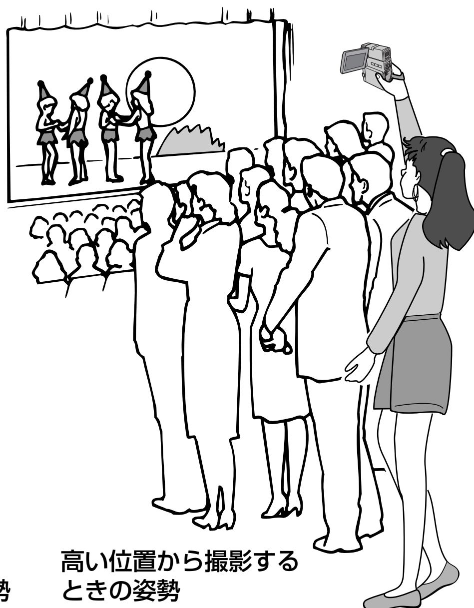
安定した映像を撮るためのコツは、画面に映っている人が動いてもビデオカメラは動かさないことです。ビデオカメラがふらつかないように、安定した姿勢をとりましょう。







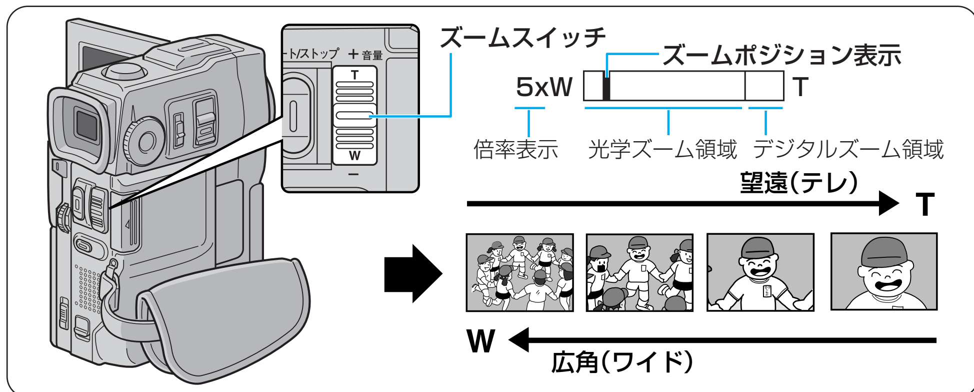
低い位置から撮影するときの姿勢



高い位置から撮影する
ときの姿勢

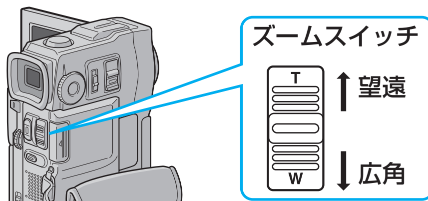
Act.4　撮影する範囲を調整する[ズーム]

ズームスイッチを使って、撮影する範囲を調整できます。画面に被写体が小さく見えているときは望遠側（T）へ調整し、より広い範囲を画面に収めたいときは広角側（W）へ調整します。



1 ズームスイッチをスライドさせる

- 望遠（遠くのものを大きくする）　→「T」
- 広角（撮影範囲を広げる）　→「W」





- 可変速ズーム：ズームスイッチは軽く押すとゆっくり、強く押すと早くズームできます。
- 最大ズーム倍率：何倍までズーム可能にするかを変更できます（☞ P.152）。
- 10倍以上のズーム（デジタルズーム）：10倍までの映像に比べて、デジタル処理をするため多少映像品質が劣化します。
- 接写したいとき（マクロ撮影）：W側にいっぱいまで引くと、レンズから約5cmまで被写体に近づいて撮影できます。

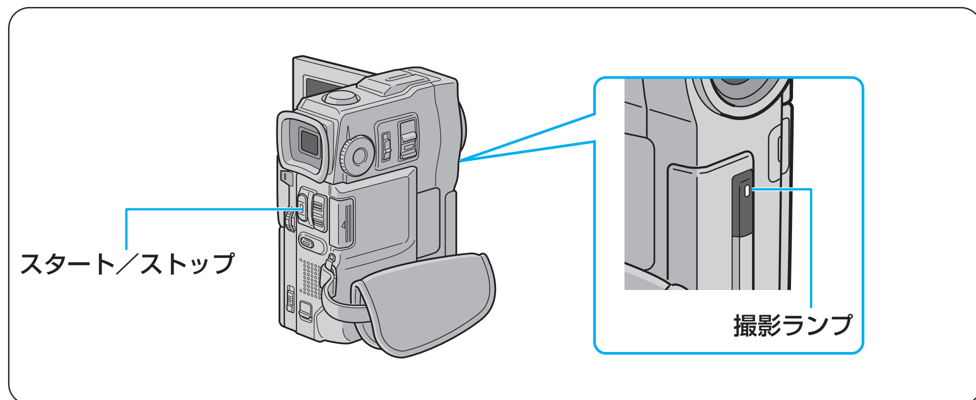


- 10倍以上のズームが使用できない：撮影モードダイヤルを「VIDEO」と「PS」以外に設定すると使用できません。また、映像をデジタル処理する機能（ゴースト、オーバーラップ、など）やPSワイドとの併用はできません。
- 勝手に広角（W）になる：T側にいっぱいまで押すと、レンズから被写体を1m以上離さないとピントが合いません。ピントが合わないときは、自動的にW側に調整されます。
  テレマクロ機能を設定すると、T側で約60cmまで近づいて撮影できます（☞ P.155）。



Act.5A　ビデオを撮影する

ボタン１つで、簡単に撮影できます。

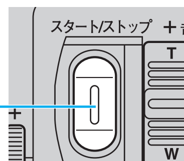


1 「スタート／ストップ」ボタンを押し、撮影をはじめる

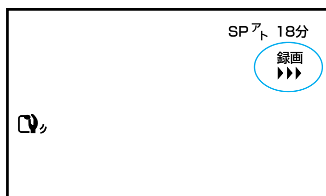
- ポンと音がするまで押してください。

画面に「録画」と表示されます。

レンズ下の撮影ランプが点灯します。



撮影中の画面

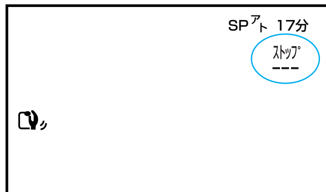


2 撮影をやめるには、もういちど「スタート／ストップ」ボタンを押す

- ポポンと音がするまで押してください。

画面に「ストップ」と表示されます。

撮影を停止した画面





・実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V507	約 40分	約 30分
BN-V514	約1時間15分	約1時間
BN-V840	約2時間40分	約2時間20分
BN-V856	約4時間10分	約3時間25分

・連続撮影時間の目安（最大撮影時間）

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V507	約1時間20分	約1時間5分
BN-V514	約2時間40分	約2時間10分
BN-V840	約5時間50分	約5時間
BN-V856	約9時間	約7時間30分

撮影時間は、ズームを使ったり、撮影停止を繰り返すなどで短くなります。バッテリーは撮影予定時間の約３倍分ご用意されることをお勧めします。
連続して撮影するには BN-V840 または BN-V856 をお勧めします。（BN-V856 は VU-V856KIT に同梱されています。BN-V840 は VU-V840KIT に同梱されています。）
実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入／切、ズーム動作などを繰り返したときの撮影時間です。
実際には、これよりも短くなることがあります。

- **撮影中の音声をモニターしたいときは**
  ビデオカメラのスピーカーからは撮影中の音声は出ません。音声を聞きながら撮影したいときは、別売のヘッドホンをヘッドホン端子につないで聞いてください。このとき音量は再生時に調節したままとなります（☞ P.58）。

- **あとで自動編集するときは**
  タイムコードと無記録部分についてご覧ください（☞ P.123）。

- **あとでアフレコするときは**
  録画モードを SP にして撮影してください（☞ P.152）。
  音声モードを 12BIT にして撮影してください（☞ P.152）。
  お買い上げ時には録画モードは SP、音声モードは 12BIT に設定されています。



- **電源が切れてしまったら**
  撮影を停止してから５分経つとビデオカメラの節電とテープ保護のため自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、ファインダーを一度入れ、再び引き出してください。液晶画面をお使いのときは、液晶画面を一度閉じ、再び開いてください。

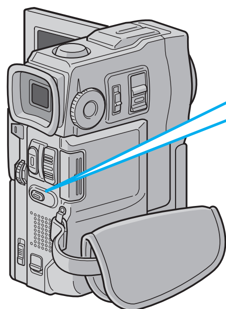
- **バッテリー残量表示（ ）が出たら**
  バッテリーが少なくなっています。バッテリーがなくなると自動的に電源が切れます。
  電源が切れる前にバッテリーを交換してください。

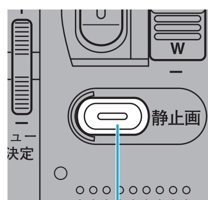
- **正常に録画できない**
  ビデオヘッドが汚れているかもしれません（☞ P.168）。大切な撮影の前には試し撮りをして、正常に録画、録音されていることをご確認ください。



Act.5B　静止画を撮影する

静止画の撮影も、ボタン１つでできます。





静止画

1 「静止画」ボタンを軽く押す（半押し）

画面の右下に静止画が表示されます。

- キャンセルするには、半押しのまま指を離します。



半押し



静止画

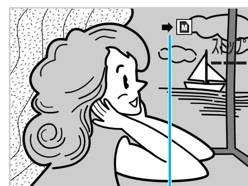
2 そのままボタンを押し込む（全押し）

静止画の映像が記録されます。

➡M の矢印が点滅して静止画をメモリーカードに取り込みます。



全押し



矢印



撮影枚数の目安

画像サイズ	画質 / 容量	ファイン(F)	スタンダード(S)
VGA	4MB	約 26 枚	約 76 枚
	8MB	約 54 枚	約 155 枚
	8MB ※	約 46 枚	約 133 枚
XGA	4MB	約 12 枚	約 36 枚
	8MB	約 24 枚	約 75 枚
	8MB ※	約 21 枚	約 64 枚

- 画質には、画質の良い順にファイン（F）、スタンダード（S）の２種類があります（☞ P.72）。
- XGA モードについて（☞ P.72）

※アクセサリーキット同梱のメモリーカードには、出荷時にサウンドデータが記録されています（☞ P.102）。このため撮影枚数は若干少なくなります。

ビデオの撮影中に撮る

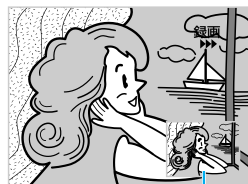
ビデオを撮影している最中でも、静止画を撮影できます。

1 ビデオ撮影中に、「静止画」ボタンを軽く押す（半押し）

画面の右下に静止画が表示されます。

- キャンセルするには、半押しのまま指を離します。





2 そのままボタンを押し込む（全押し）

静止画の映像が記録されます。

➡M の矢印が点滅して静止画をメモリーカードに取り込みます。







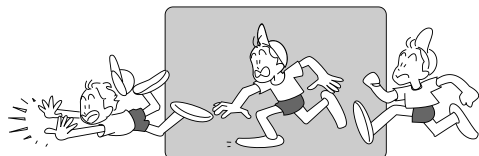
- 画質設定（ファイン／スタンダード）を変更するときには（☞ P.72）
- 周囲が暗いときは、フラッシュ撮影をお勧めします（☞ P.83）。
- フラッシュは「静止画」ボタンを半押ししたときに発光します。



- 静止画撮影時は、手ぶれ補正機能が働きません。
- ビデオ撮影中は、フラッシュは発光しません。

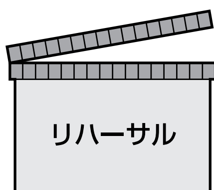
上手に撮るコツは

ビデオカメラを動かさない



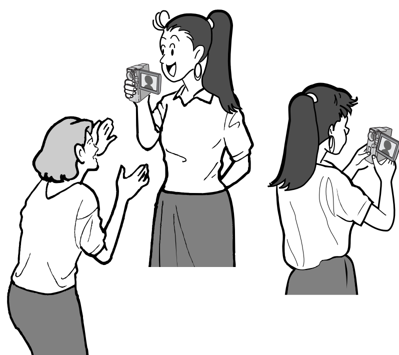
安定した映像を撮るためのコツは、画面に映っている人が動いてもビデオカメラは動かさないことです。
左右に動くものを撮影したいときは水平に、高さのあるものは垂直にゆっくり動かします。そのときのコツは、撮り始めと撮り終わりでカメラをピタッと止めることです。

カメラリハーサルを行う



撮影を始める前にカメラリハーサルをして、ビデオカメラの操作に慣れておきましょう。どのタイミングでどんな操作をするかシナリオを書いておくことで、本番の撮影がスムーズになります。
また、周りの明るさや被写体との距離なども事前にチェックして、それぞれ適切な状態で撮影できるように準備しておきます。

いろいろなアングルで撮影する

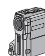


正面からだけでなくいろいろなアングルで撮影すると、同じ被写体でも印象の違う映像を撮影できます。液晶画面の傾きを、見やすいように調節してください。
また、液晶画面を 180°回転させて画面を被写体に見せながら撮影すると、より生き生きとした表情を撮影できます。



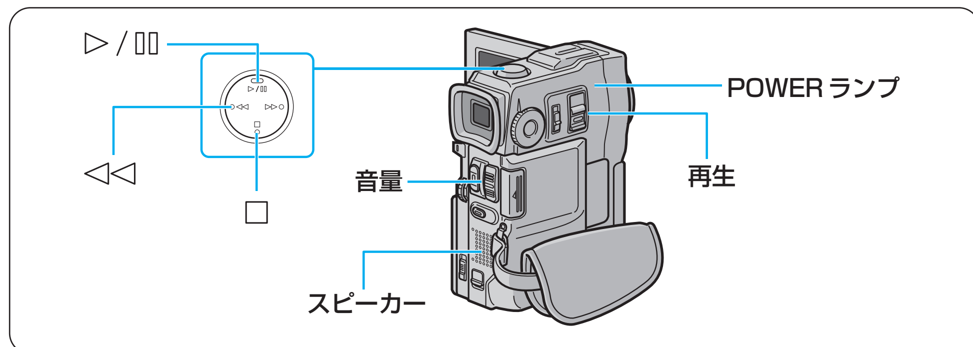
- 対面撮影中の液晶画面の映像は鏡に映ったように左右が反転しますが、撮影したビデオは左右が反転しません。
- 対面撮影中のファインダーや液晶画面上の表示は簡略化されます。テープ走行表示と、ビデオカメラにトラブルが生じたときの警告表示のみ表示します。

再生する

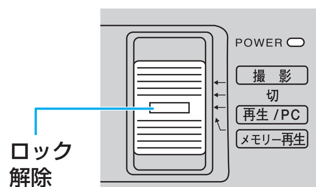


ビデオを再生する

撮影した映像を、ビデオカメラの液晶画面で見ることができます。



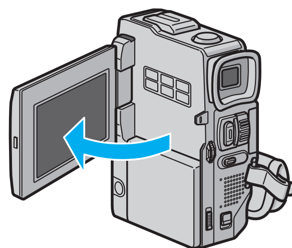
1 ロック解除ボタンを押したまま、電源スイッチを「再生／PC」の位置にする



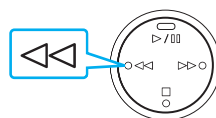
2 液晶画面を開く

- ファインダーが引き出されているときは、元に戻して下さい。

POWER ランプが点灯し、青い画面が表示されます。



3 「◁◁ 」ボタンを押して、テープを巻戻す

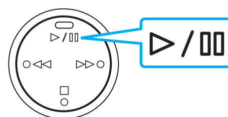


次へ続く

再生する

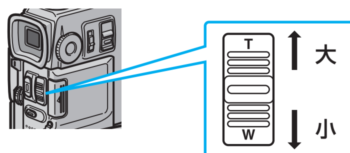
4 「▷ / ▯▯」ボタンを押して、再生する

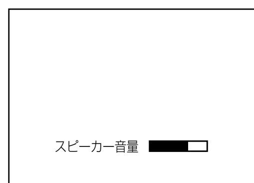
ビデオが再生されます。



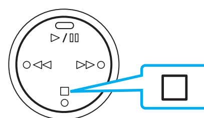
5 ズームスイッチをスライドさせて、スピーカーの音量を調整する

- 大きくする → 「＋」(T)側
- 小さくする → 「－」(W)側





6 見終わったら「□」ボタンを押して、テープを停止する

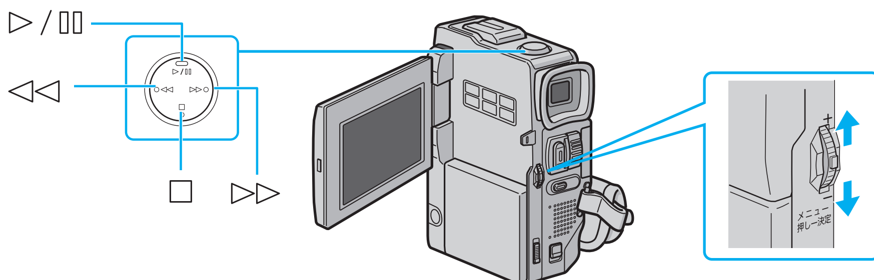


ビデオの操作方法について

早送り再生やコマ送り再生をするには、再生中に次の操作を行います。

早送り再生	▷▷ を押す　または　押し続ける
巻戻し再生	◁◁ を押す　または　押し続ける
一時停止	▷ / ▯▯ を押す
コマ送り再生	▷ / ▯▯ を押したあとメニュー／決定レバーを上下に動かすと ＋ 正転コマ送り － 逆転コマ送り

通常の再生に戻すには、「▷ / ▯▯ 」ボタンを押します。
リモコンでも操作できます（☞ P. 177）。
リモコンを使うと、スロー再生もできます（☞ P. 177）。





- 早送り再生、巻戻し再生は９倍速で再生します。
- 一時停止の状態が約３分間続くと、自動的に停止します。
- 停止の状態が約５分間続くと、自動的に電源が切れます（AC アダプターを使用していない場合）。
- 早送り／巻戻し再生中は、映像が多少みだれます。



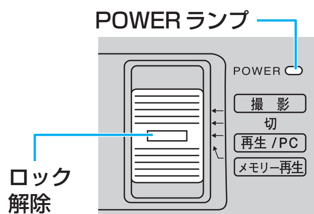
- 正転スロー再生を約２分間続けるか、または逆転スロー再生を約１分間続けると、自動的に通常再生に戻ります。スロー再生はリモコンで行います。
- 「▷ / ▯▯ 」ボタンを押すと、映像が一時停止します。その後、青い画面が表示されることがあります。
- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください（☞ P 168）。

これだけは知っておこう編

無記録部分を探す［ブランクサーチ］

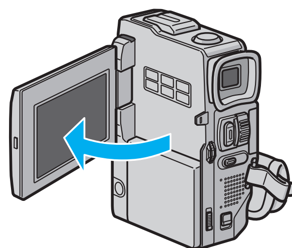
ビデオテープの中にある５秒間以上の無記録部分を探します。
途中まで記録したビデオテープを取り出したり、再生してしまったときなどに、撮影開始点を効率よく見つけることができます。

1 **ロック解除ボタンを押したまま、電源スイッチを「再生／PC」の位置にする**



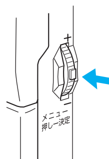
2 **液晶画面を開く**

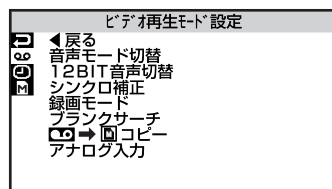
POWER ランプが点灯し、液晶画面に青い画面が映ります。



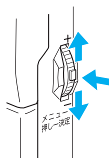
3 **「メニュー／決定」レバーを押してメニューを表示し、もう一度押して決定する**

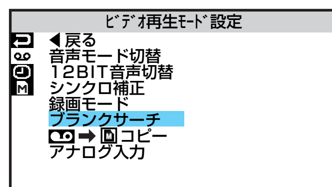
ビデオ再生モード設定メニューが表示されます。



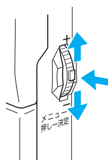


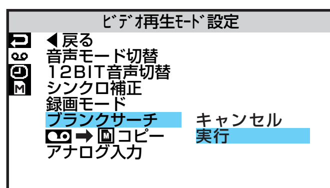
4 **レバーを上下に動かして「ブランクサーチ」を選び、押して決定する**





5 レバーを上下に動かして「実行」を選び、押して決定する

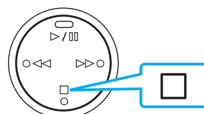




ブランクサーチがスタートします。

5 秒間以上の無記録部分を見つけると、約３秒手前で自動的に停止します。

- ブランクサーチを中止するには、「□」ボタンを押します。



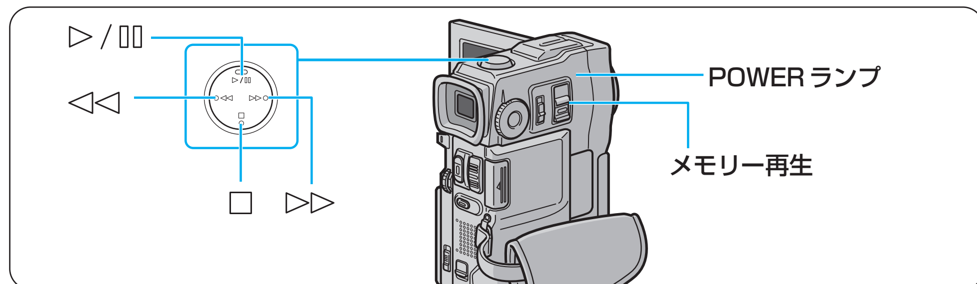


- すでに映像が記録されている部分でも、5 秒間以上の空白部分があると停止します。停止した位置以降に記録されている部分がないか、録画を開始する前によく確認してください。
- 無記録部分の約３秒手前で停止しますので、そこから録画をスタートすると、約３秒間映像が上書きされてしまいます。必要に応じて再生し、スタート位置を確認して下さい。
- ブランクサーチを映像の記録された部分からスタートすると早送り方向に、空白部分からスタートすると巻き戻し方向にブランクサーチを行います。

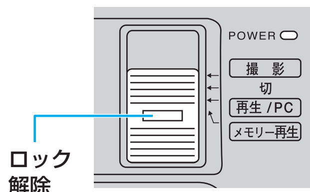


静止画を再生する

撮ったその場で静止画を確認できます。



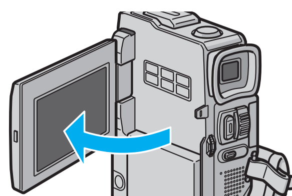
1 **ロック解除ボタンを押したまま、電源スイッチを「メモリー再生」の位置にする**



2 **液晶画面を開く**

- ファインダーが引き出されているときは、元に戻してください。

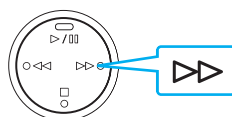
POWER ランプが点灯し、液晶画面に静止画が再生されます。





3 **「▷▷ 」ボタンを押して、次の静止画を再生する**

- 前の静止画を再生するには「◁◁ 」ボタンを押してください。



連続再生の操作方法について

静止画を連続して再生するには、前ページの手順３で次の操作を行います。

連続再生（正方向）	**▷ / ▯▯ を押す**
連続再生（逆方向）	**連続再生（正方向）中に ◁◁ を押す**
停止	**連続再生中に □ を押す**

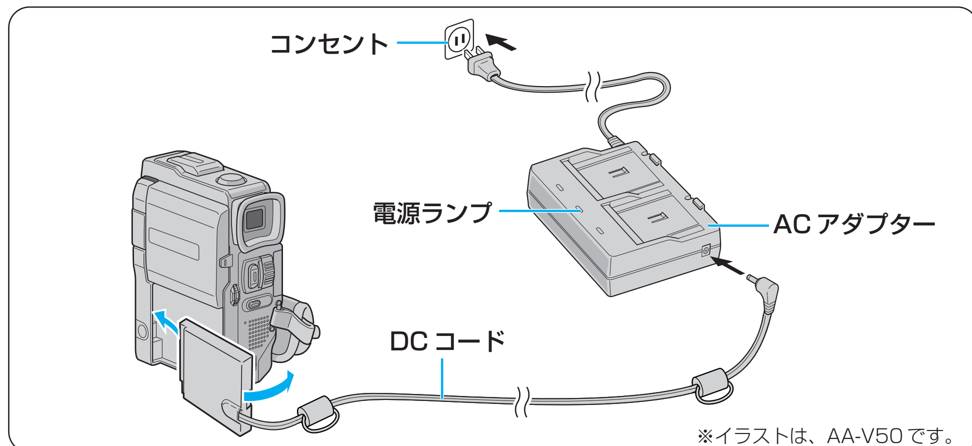
リモコンでも操作できます（☞ P. 177）。



- 画像を戻した状態で次の撮影をおこなっても、最後に撮影された画像の次に撮影されます。上書きされません。
- メモリーカードに記録された静止画像ファイルはDCF（Design rules for Camera File systems）に対応しています。DCF対応していない機器とは互換性はありません。

コンセントの電源で使う

室内で撮影または再生するときは、別売アクセサリーキット（GV-SP9KIT）のACアダプター（AA-V51）または(VU-X9KIT)のACアダプター（AA-V50）を使ってコンセントから電源を取ると、バッテリーの消費を気にせず使用できます。

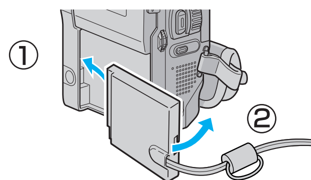


※イラストは、AA-V50です。

1 DCコードを本体に取り付ける

①端子部を本体の溝に差し込みます。

②カチッと音がするまで本体に押しつけて取り付けてください。



2 DCコードをACアダプターに差し込む

3 ACアダプターの電源コードをコンセントに差し込む

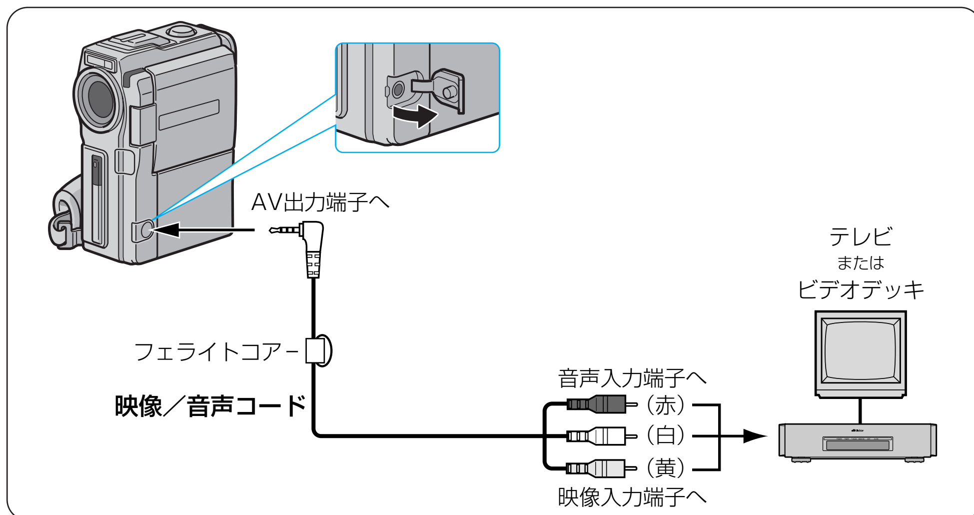
電源ランプが点灯します。



- ACアダプターは、海外でも使用できます（☞ P.182）。

テレビで見る

みんな揃ってビデオや静止画を見たいときには、ご家庭のテレビなどにビデオカメラを接続すると便利です。



接続する

ビデオカメラをテレビやビデオデッキに接続するには、別売アクセサリーキット(GV-SP9KIT または VU-X9KIT)の映像／音声コードを使用します。
S映像入力端子があるテレビやビデオデッキには、同アクセサリーキットのドッキングステーションとS映像コードもご使用ください。より高画質の映像をお楽しみいただけます(☞ P. 67)。

1 「AV 出力」端子に、映像／音声コードを接続する

2 テレビやビデオデッキの映像入力端子と音声入力端子に、映像／音声コードを接続する

- 映像／音声コードは、フェライトコアのある側をビデオカメラに接続してください。

次へ続く

再生する

1 ロック解除ボタンを押したまま、電源スイッチを「再生／PC」、または「メモリー再生」の位置にする

- ビデオを再生する →「再生／PC」
- 静止画を再生する →「メモリー再生」

2 テレビの電源を入れる

- ビデオデッキに接続している場合は、ビデオデッキの電源も入れます。

3 テレビのチャンネルやビデオデッキの入力モードを設定する

- テレビに接続したとき
  テレビの入力モードを、ビデオカメラを接続した端子に切り替えます。
  （例えば「ビデオ 1、ビデオ 2、ビデオカメラ」など）
- ビデオデッキに接続したとき
  テレビを、ビデオを見るチャンネルに合わせ、ビデオデッキの入力モードを外部入力に設定します。

テレビ画面が青くなるか、テレビ画面に静止画が再生されます。

4 再生する

- ビデオを再生するには（☞P.57）
- 次の静止画を再生するには（☞P.62）



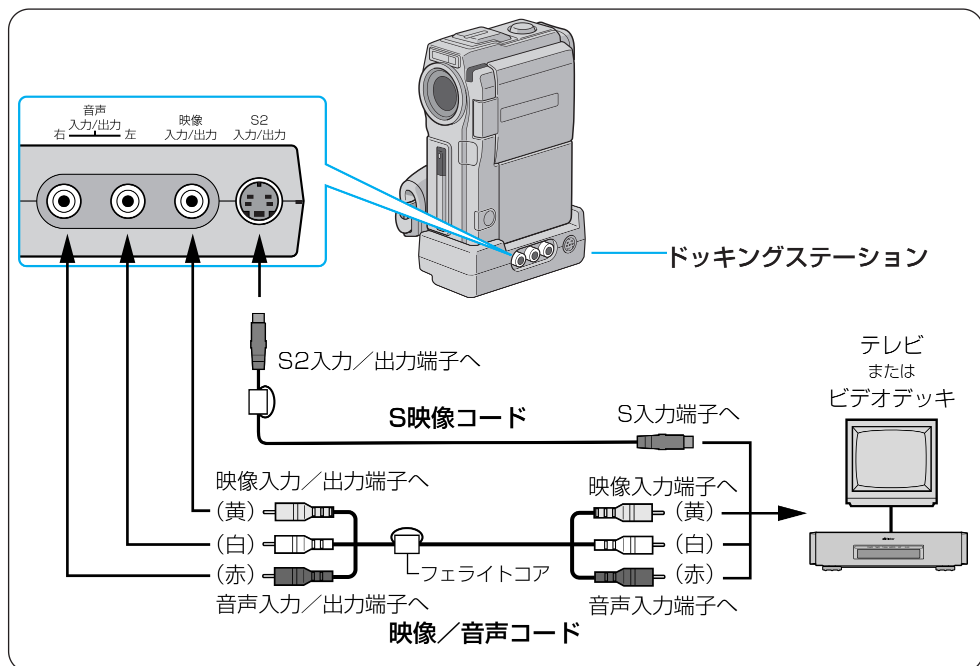
- ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- 再生時のメッセージ表示を消す（☞P.150）
- 再生映像をズームしたい（☞P.118）
- 再生映像に変化を付けたい（☞P.119）



- テレビに映像が出ない、または音声が出ないときは、ビデオ再生モード設定メニューで「アナログ入力」を「しない」に設定してください（☞ P.188）。
- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください（☞ P.168）。

S 映像入力端子のあるテレビで見る

Ｓ映像入力端子があるテレビやビデオデッキには、別売アクセサリーキット(GV-SP9KIT または VU-X9KIT)のドッキングステーションとＳ映像コード、映像／音声コードをご使用ください。より高画質の映像をお楽しみいただけます。



これだけは知っておこう編

次へ続く

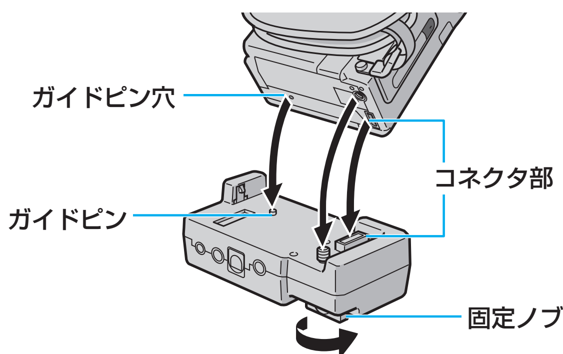
再生する

接続する

ビデオカメラとドッキングステーションを接続し、ドッキングステーションの各端子にコードを接続します（☞ P. 67）。

1 **ビデオカメラに、ドッキングステーションを取り付ける**

ビデオカメラ底面のコネクタ部とドッキングステーションのコネクタ部、およびビデオカメラ底面のガイドピン穴とドッキングステーションのガイドピンを合わせ、固定ノブを回して取り付けます。



2 **「S2 入力／出力」端子に S 映像コードを、「音声 入力／出力」端子と「映像 入力／出力」端子に映像／音声コードを接続する**

3 **テレビやビデオデッキの S 映像入力端子と映像／音声入力端子に、S 映像コードと映像／音声コードを接続する**

- 映像／音声コードは、フェライトコアのある側をビデオカメラに接続してください。



- ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- 再生時のメッセージ表示を消す（☞ P.120,122,150）
- 再生映像をズームしたい（☞ P.118）
- 再生映像に変化を付けたい（☞ P.119）



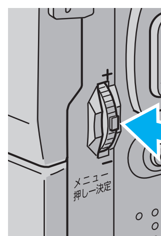
- テレビに映像が出ない、または音声が出ないときは、ビデオ再生モード設定メニューで「アナログ入力」を「しない」に設定してください（☞ P.188）。
- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください（☞ P.168）。

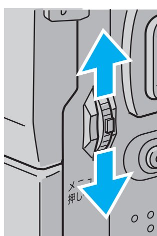
メモリーカードのデータを削除する



静止画を削除する

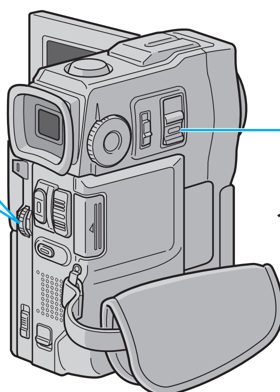
メモリーカードに空きがなくなると静止画を撮れなくなります。新しいメモリーカードと交換するか、不要な静止画を削除してください。
ここでは、静止画を削除してメモリーカードの空きを増やす方法を説明します。





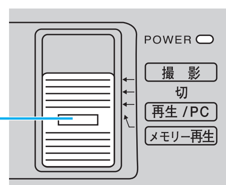
メニュー表示
決定する

選ぶ



メモリー再生

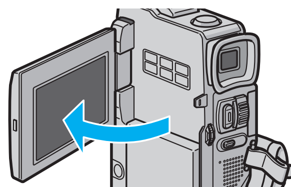
1 ロック解除ボタンを押したまま、電源スイッチを「メモリー再生」の位置にする



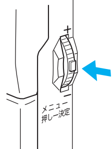
ロック
解除

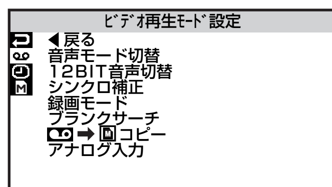
2 液晶画面を開く

液晶画面に静止画が再生されます。



3 「メニュー／決定」レバーを押して、メニューを表示する

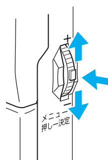


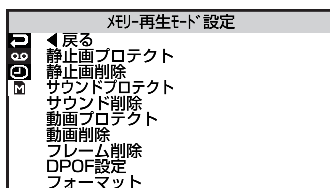


次へ続く

4 **レバーを上下に動かして「M」を選び、押して決定する**

メモリー再生モード設定メニューが表示されます。



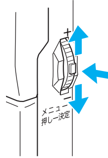


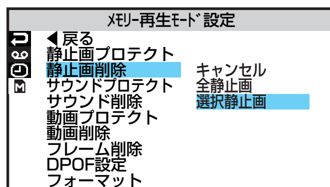
5 **レバーを上下に動かして「静止画削除」を選び、押して決定する**

「全静止画」と「選択静止画」が表示されます。

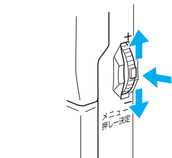
6 **レバーを上下に動かして「選択静止画」を選び、押して決定する**

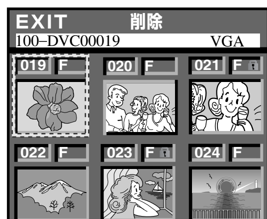
削除画面が表示されます。





7 **レバーを上下に動かして、削除したい静止画に枠線を合わせる**





8 **レバーを押して決定する**

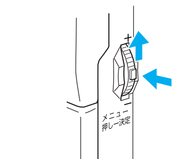
静止画の右上に「×」がつきます。

- 間違えて「×」をつけてしまったときは、その静止画に枠線を合わせてレバーを押します。「×」が消えます。

9 **他の静止画も削除したいときは、手順７～８を繰り返す**

10 **レバーを上に動かして「EXIT」を選び、押して決定する**

「キャンセル」と「実行」が表示されます。

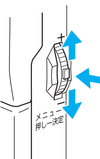


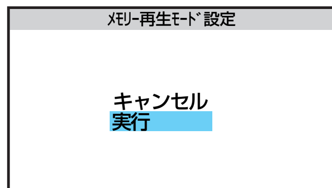


11 レバーを上下に動かして「実行」を選び、押して決定する

● 削除をやめるには「キャンセル」を選びます。

「×」をつけた静止画が削除され、再生画面に戻ります。



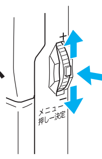


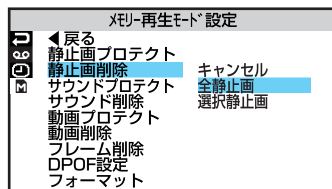
すべての静止画を削除するには

ここでは、すべての静止画を削除する方法を説明します。

1 「静止画を選択して削除する」(☞P.74)の手順6で「全静止画」を選び、レバーを押して決定する

「キャンセル」と「実行」が表示されます。

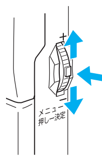


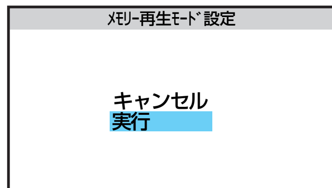


2 レバーを上下に動かして「実行」を選び、押して決定する

● 削除をやめるには「キャンセル」を選びます。

静止画がすべて削除されます。







● プロテクトした静止画は、上記の操作で削除されません(☞P.147)。
● プロテクトした静止画を削除するには、あらかじめプロテクトを解除しておきます(☞P.149)。

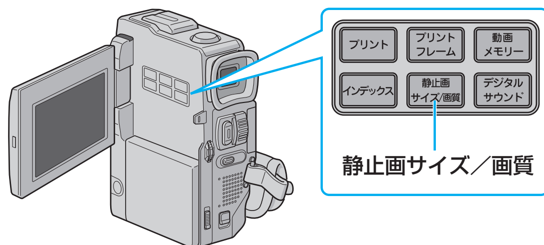
ご注意

● 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。
また、別売のACアダプターをお使いください。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。
● 削除した画像は元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

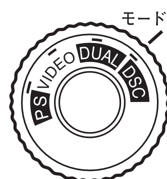
静止画のサイズと画質を変更する



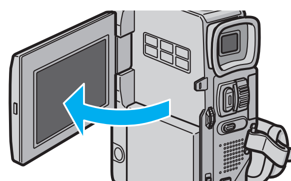
静止画のサイズには、XGAとVGAの2つがあります。また、XGAとVGAのそれぞれに高画質のファインと、たくさんの枚数が撮影できるスタンダードがあります。
出荷時はXGAのファインに設定されていますので、静止画の用途や目的に合わせて設定を変更してください。



1 撮影モードダイヤルを「DSC」に合わせる

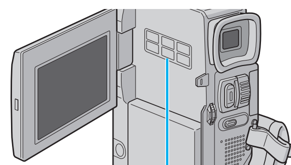


2 液晶画面を開く



3 「静止画サイズ／画質」ボタンを押す

ボタンを押すたびに、静止画サイズ／画質がXGA ファイン→XGA スタンダード→VGA ファイン→VGA スタンダードの順で切り替わります。

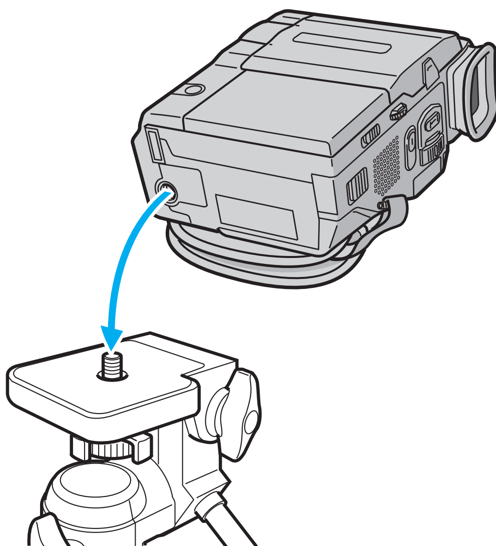




- 68万画素プログレッシブスキャンCCD（有効エリア63万画素、962×654ドット）で撮影した画像をデータ変換し、XGA（1024×768ドット）ファイルサイズで保存しています。
- ダイヤルが「DUAL」に設定されていると、VGAサイズのファインとスタンダードの切り替えになります。

三脚を使って撮影する

三脚を使用するとビデオカメラが安定し、記念撮影やズーム機能を使った撮影で役立ちます。



1 三脚のネジと本体底面のネジ穴を合わせる

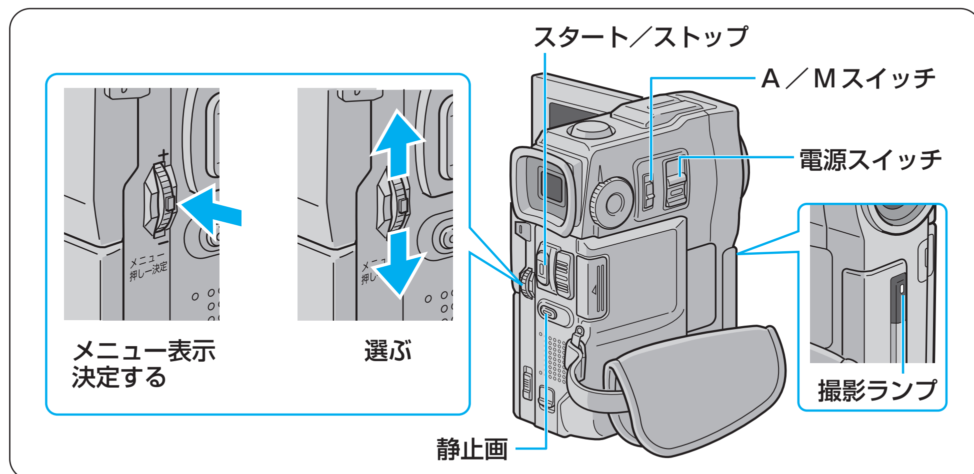
2 三脚のネジを回して固定する



- ご使用になる三脚の取扱説明書もご覧ください。
- ドッキングステーションに取り付けたままでも、三脚を使用できます。

15 秒後に撮影をスタートする［セルフタイマー］

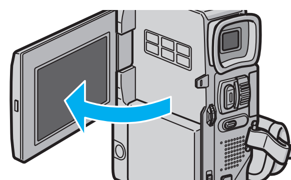
撮影者が一緒に写る場合などには、セルフタイマーを使います。みんなで写ったビデオや静止画を残したいときにご利用ください。



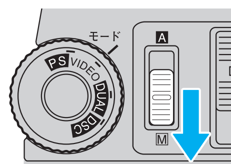
1 三脚などでビデオカメラを固定する

- 三脚を使うには（☞P.73）

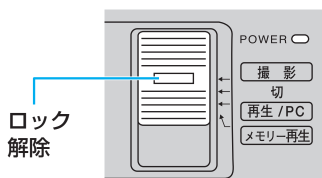
2 液晶画面を開く



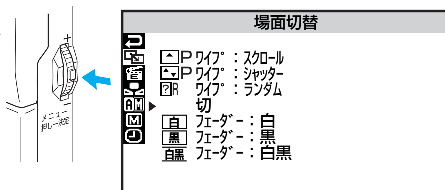
3 「Ⓜ」側にスライドさせる



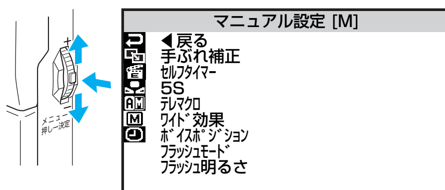
4 ロック解除ボタンを押したまま「撮影」の位置にする



5 「メニュー／決定」レバーを押して、メニューを表示する



6 レバーを上下に動かして「M」を選び、押して決定する

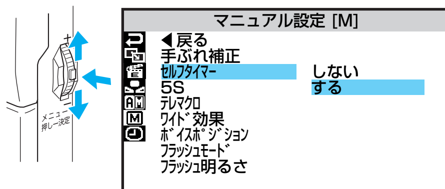


7 レバーを上下に動かして「セルフタイマー」を選び、押して決定する

「しない」と「する」が表示されます。

8 レバーを上下に動かして「する」を選び、押して決定する

「セルフタイマー」が反転し、右に「する」と表示されます。



次へ続く

9 「戻る」を選び、レバーを2回押して撮影画面に戻る

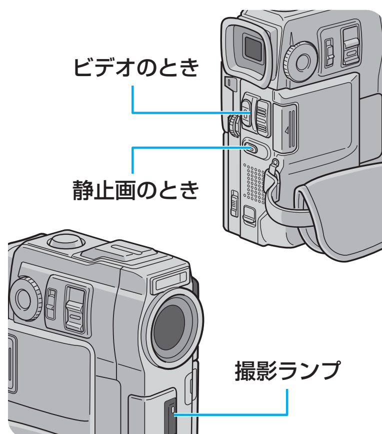
10 ボタンを押して、セルフタイマー撮影を開始する

- ビデオ →「スタート／ストップ」ボタン
- 静止画 →「静止画」ボタン

撮影ランプが点滅します。

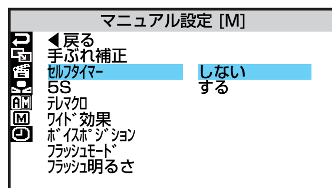
撮影ランプの点滅が早くなると、撮影がもうすぐ始まります。

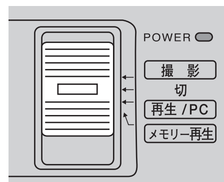
- ランプ点灯 → ビデオの撮影開始
- ランプが消える → 静止画の撮影



11 次のいずれかの方法で、セルフタイマーを解除する

- 手順8で「しない」を選ぶ
- 電源スイッチを「切」の位置にする



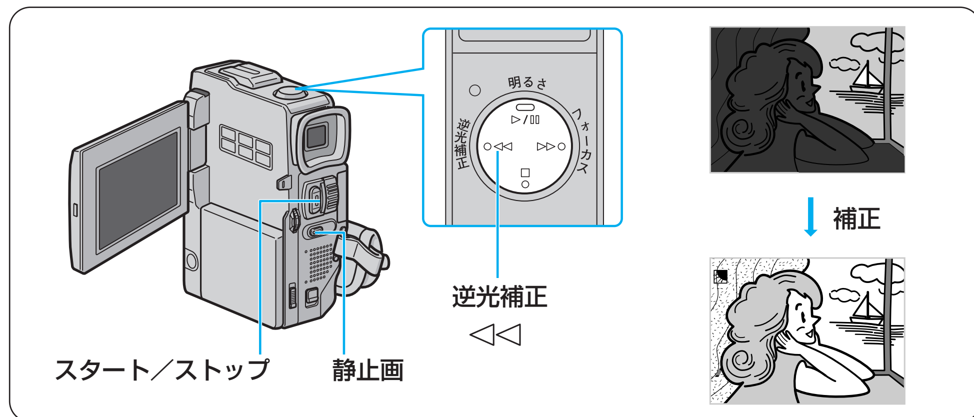




- セルフタイマーで「スタート／ストップ」ボタンまたは「静止画」ボタンを押してから撮影が始まるまでの時間は、約15秒間です。
- 撮影ランプは撮影設定[A][M]メニューの「ブザー／タリー」が「切」になっていると点灯しません（☞ P.152）。
- リモコンを使用すれば、撮影開始や停止の操作が、より手軽に行えます（☞ P.177）。
- 液晶画面を180度回転させると、撮影中の被写体を確認しながら撮影できて便利です。（☞ P.56）。

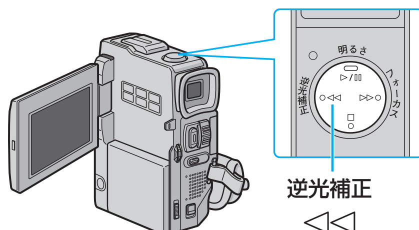
被写体の後ろに太陽などがあるとき［逆光補正］

太陽に向かって撮影すると、太陽を背にした被写体（人物）が暗くなって綺麗に撮影できません。このようなときに「逆光補正」ボタンを押すと、被写体が明るく補正されます。

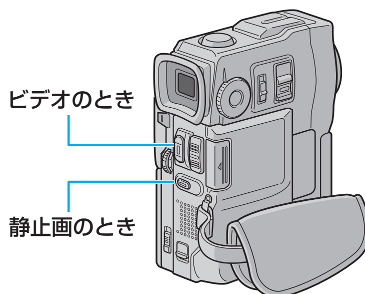


1 「逆光補正」ボタンを押す

画面に逆光補正マーク（◪）が表示されます。



2 「スタート／ストップ」ボタンまたは「静止画」ボタンを押して撮影する

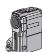


3 逆光補正を解除するには、「逆光補正」ボタンを押す



- 「逆光補正」ボタンを使うと、被写体の周囲が明るくなりすぎて白くなることがあります。
- より適切な明るさに調節したいときは、「明るさ」ボタンで設定してください（☞P.86）。

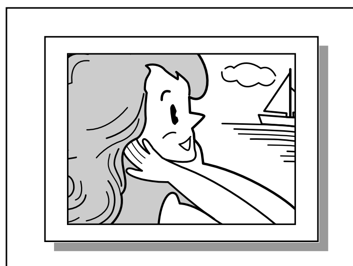
撮影・初級テクニック編

ビデオテープに静止画を撮る［記念写真モード］ 

ビデオの中に写真のような静止画を挿入できます。被写体の表情を印象的に撮影したいときなどに効果的です。
静止画モードは、次の２種類から選択できます。



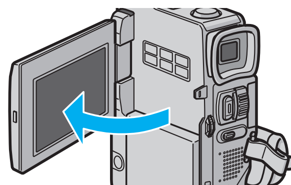
フルモード



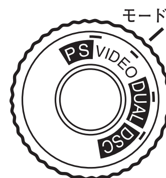
ピンナップモード

静止画の見せ方を変更する

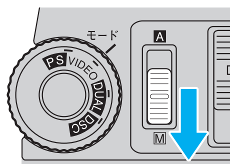
1 液晶画面を開く



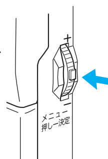
2 ダイヤルを回して、「VIDEO」を線の位置に合わせる

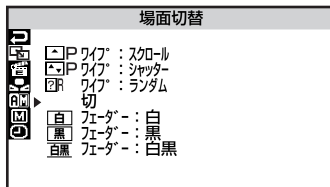


3 「Ⓜ」側にスライドさせる



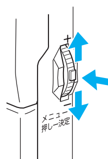
4 「メニュー／決定」レバーを押して、メニューを表示する

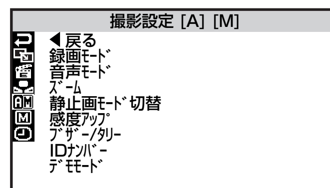




5 レバーを上下に動かして「AM」を選び、押して決定する

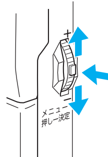
撮影設定［A］［M］メニューが表示されます。

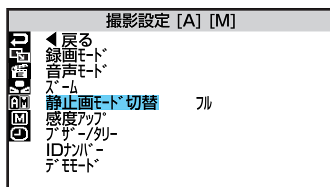




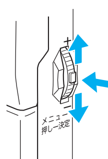
6 レバーを上下に動かして「静止画モード切替」を選び、押して決定する

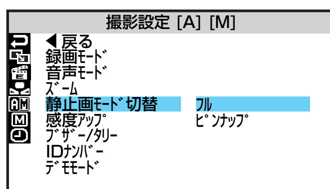
静止画モード切替メニューが表示されます。





7 レバーを上下に動かして静止画モードを選び、押して決定する





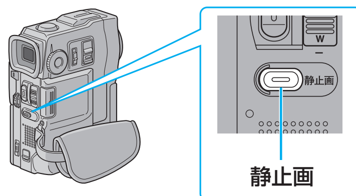
8 「戻る」を選び、レバーを２回押して撮影画面に戻る

ビデオテープに静止画を記録する

1 ダイヤルを回して「VIDEO」または「PS」を線の位置に合わせる



2 「静止画」ボタンを押す



液晶画面の映像が約６秒間停止し、指定したモードでテープに記録されます。

- 押し続けると、約１秒ごとに連写します。
- ビデオの撮影中でなくても、ビデオテープに静止画を記録することができます。



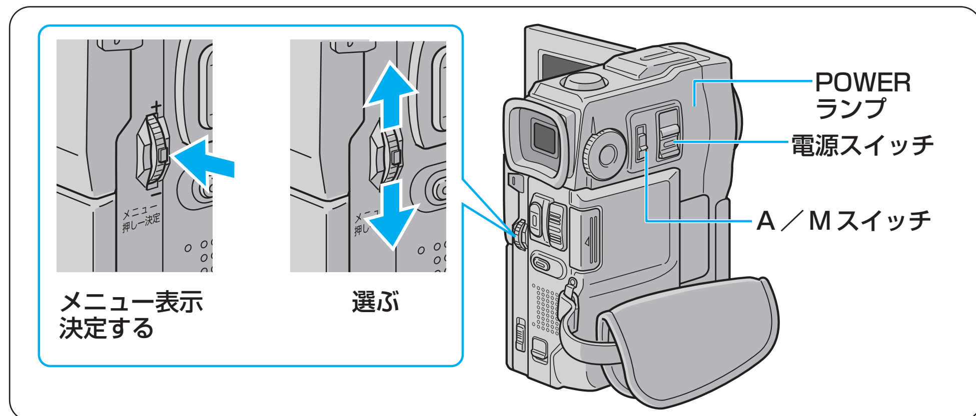
- DUAL モード、DSC モードによる静止画の撮影では、常にフルモードで記録され、静止画モードの設定は無効です。
- 周囲が暗いときはフラッシュを使った撮影をお勧めします（☞ P.83）。



- 静止画撮影ができないときは、静止画ボタンを押したときに「PHOTO」が点滅します。
- 演出効果（☞ P.98）の中には、静止画撮影時に働かないものがあります。このようなときは、演出効果アイコンが青く点滅してお知らせします。

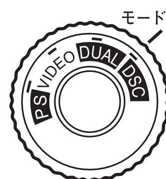
動きの速いものを撮影する

走っている人物など動きの速い被写体を静止画にブレなく捕らえるには、シャッター速度を速くします（☞P.78）。

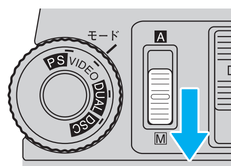


1 ダイヤルを回して「DSC」を線の位置に合わせる

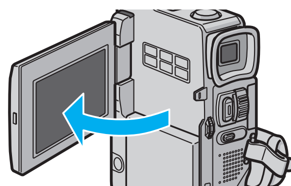
- 画質を選択するには（☞P.72）。



2 「Ⓜ」側にスライドさせる



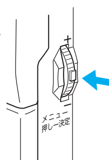
3 液晶画面を開く

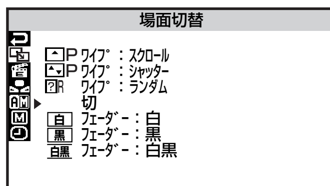


次へ続く

撮影・初級テクニック編

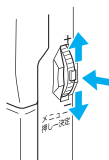
4 「メニュー／決定」レバーを押して、メニューを表示する

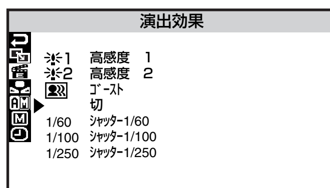




5 レバーを上下に動かして「」を選び、押して決定する

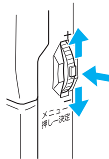
演出効果メニューが表示されます。

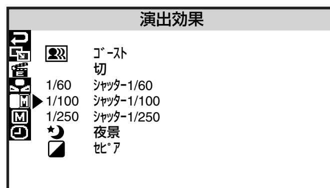




6 レバーを上下に動かして「1/100　シャッター1/100」を選び、押して決定する

撮影画面に戻ります。

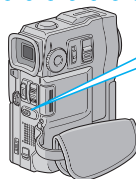


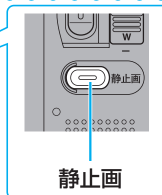


静止画を撮る

1 「静止画」ボタンを押して、静止画を撮影する

- 静止画がぶれてしまうときは、手順6でより速いシャッター速度（1/250）を選択してください。

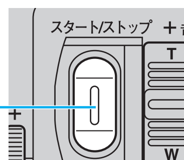




ビデオを撮る

1 「スタート／ストップ」ボタンを押して、ビデオを撮影する

- ビデオの再生中や一時停止中に、映像がぶれてしまう場合は、手順6でより速いシャッター速度（1/250）を選択してください。



撮影方法を手動で設定する［マニュアル撮影］



フラッシュの状態を設定する

フラッシュの設定は、４種類のモードから選択できます。

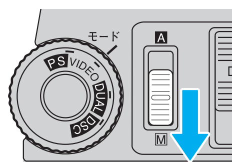
オート	：周りが暗いときに自動的に発光します。通常は、このモードに設定します。
オート 👁	：被写体の目が赤く撮影されるのを抑えます（赤目軽減）。
入	：フラッシュを必ず発光させます。
切	：フラッシュを発光しません。

上記の設定は、A／Mスイッチを「Ⓜ」側にスライドしたときのみ有効です。「🅰」側にスライドすると「オート」に戻ります。
フラッシュを発光させたくないときは、「切」に設定してください。

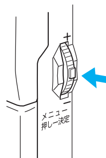
フラッシュを必ず発光させる

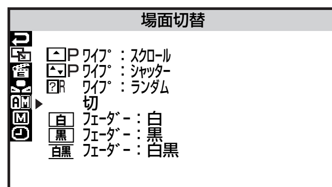
外光が強く、被写体の陰影がつきすぎるときは、フラッシュを使って撮影すると陰影を抑える効果があります。また、人の顔を撮るときにフラッシュを使うと、光の反射で生き生きとした瞳を表現できます。
このような撮影をするときは、フラッシュを必ず発光させるように設定します。

1 「Ⓜ」側にスライドさせる



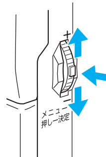
2 「メニュー／決定」レバーを押して メニューを表示する

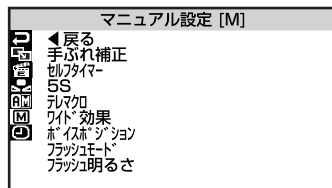




3 レバーで「Ⓜ」を選び、決定する

マニュアル設定［M］メニューが表示されます。



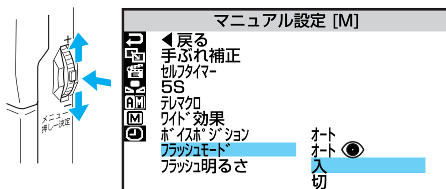


次へ続く

撮影方法を手動で設定する［マニュアル撮影］

4 「フラッシュモード」を選び、決定する

5 「入」を選び、決定する



6 「戻る」を選び、レバーを２回押して撮影画面に戻る

ご注意

- 至近距離では、フラッシュを人に向けて発光させないでください。



- **離れた被写体を撮影するときは**

  フラッシュの光で映像が白っぽくなるのを防ぐため、フラッシュ発光時にビデオカメラは自動的に画面を暗くして撮影します。そのため、フラッシュの光が届かないと静止画は逆に暗くなります。約２m以上離れた被写体を撮影するときは、フラッシュを「切」にしてください。

- **コンバージョンレンズを使用するときは**

  フラッシュ発光部がかくれるためフラッシュの効果がありません。フラッシュを「切」にしてください。



- **フラッシュが発光しない**

  フラッシュの設定が「切」になっていると、発光しません。

  ビデオの撮影中は発光しません。停止中は発光します。

  画面に ϟ が表示されないときは発光しません。

  設定によっては発光しません（☞ P.164）。

- **ϟ が点滅し、画面にノイズがでる**

  フラッシュの充電中です。充電には約 10 秒かかる場合があります。故障ではありません。

- **フラッシュが２度発光する**

  赤目軽減を設定すると、１度目は赤目軽減のため、２度目は撮影のために発光します。

フラッシュの明るさを調整する

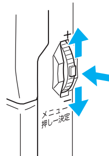
静止画を撮影していて、フラッシュが明るすぎたり暗すぎたときは、次の手順でフラッシュの明るさを調節します。

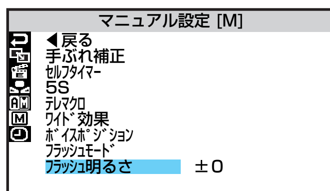
1 「フラッシュを必ず発光させる」(☞P.83)の手順１～３を行う

マニュアル設定［M］メニューが表示されます。

2 「フラッシュ明るさ」を選び、決定する

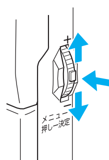
数値が変更できるようになります。

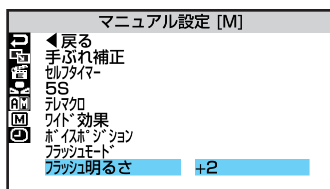




3 レバーを上下に動かして数値を変更し、決定する

明るくする　→「＋」側（＋３まで）
暗くする　　→「－」側（－３まで）





4 「戻る」を選び、レバーを２回押して撮影画面に戻る

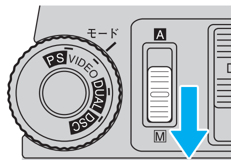
被写体や撮影場所が変わったときは

手順３で「±０」に設定し、フラッシュの明るさを確認してください。

画像の明るさを調整する

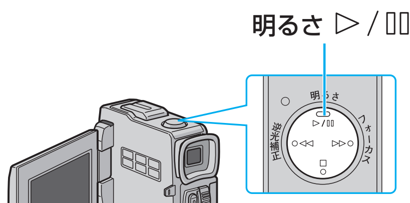
太陽が背景にあって被写体が暗くなるときは、「逆光補正」ボタンを使用すると簡単に明るさを調節できます（☞P.77）。
しかし、周囲の明るさによっては、「逆光補正」ボタンでは最適な結果を得られないことがあります。より詳細に調節したいときは、次の手順で設定してください。

1 「Ⓜ」側にスライドさせる



2 「明るさ」ボタンを押す

明るさを示す数値が表示されます。

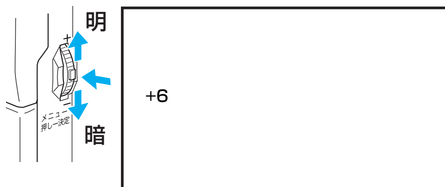


3 「メニュー／決定」レバーを上下に動かして数値を変更し、決定する

明るくする　→「＋」側（＋６まで）
暗くする　　→「－」側（－６まで）

撮影画面に戻ります。

- 「＋３」は、「逆光補正」ボタンと同じ効果です。



自動調節に戻すには

明るさを自動調節に戻すには、「明るさ」ボタンを押すか、またはA／Mスイッチを「A」側にスライドします。

一定の明るさで撮影するには

動きのある被写体を撮影するときやズーム操作を行うときには、画面の明るさを一定に保ちたいことがあります。このようなときは次の操作をしてください。

1 手順3で数値を変更したあと、「メニュー／決定」レバーを2秒以上押す

画面にLが表示されます。

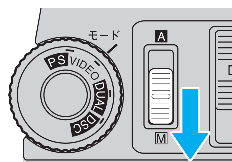
2 再度レバーを押す

表示がLに変わり、明るさが固定されます。

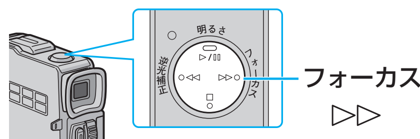
ピントを手動で合わせる［マニュアルフォーカス］

このビデオカメラは、約 5cm（☞P.51）から無限遠まで自動的にピントを合わせるオートフォーカス機能を備えています。ただし、画面中央にピントを合わせるため、被写体が画面端にいるときは間違った距離にピントが合ってしまうことがあります。また、被写体や周囲の条件によっては、オートフォーカス機能が正しく動作しないこともあります。
このようなときは、ピントを手動で合わせてください。

1 「Ⓜ」側にスライドさせる

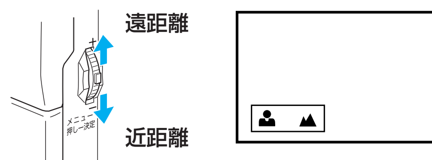


2 「フォーカス」ボタンを押す



3 「メニュー／決定」レバーを上下に動かして、ピントを合わせる

- ピントを合わせたい被写体が
  遠くにある　→「＋」側（▲）
  近くにある　→「－」側（👤）



4 レバーを押して決定する

自動調節に戻すには

ピントの調節を自動に戻すには、「フォーカス」ボタンを 2 回押してください。 1 回押しただけでは自動調節に戻らず、ピントの再調節モードになります。
また、A／Mスイッチを「A」側にスライドしたときも自動調節に戻ります。



- ズーム操作をするときは、ピントを合わせる前に望遠（T）側に設定しておき、ピントを合わせてから広角（W）側に調節すると、ピントを合わせやすく、またピントがずれません。
- **こんなときに手動でピントを合わせます**
  - 平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
  - 金網などの障害物が被写体との間にあるとき
  - 細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
  - 蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

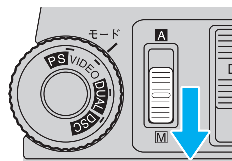
画像の色合いを調節する［白バランス］

ビデオカメラは、通常、色のバランスを自動的に調節し、最も自然な色合いを再現します。ただし、天候や撮影用ライトなど、光源の状態によっては自然な色合いを再現できないことがあります。
液晶画面やファインダーで色合いが不自然なときは、白バランスを変更して撮影してください。
白バランスの設定は、５種類のモードから選択できます。

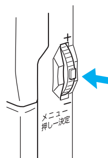
オート･････････････：自動的に色のバランスを調節します。
ワンタッチ ････：被写体の色をより正しく撮影したいときに選択します（☞P.91）。
･･････････････････：晴れた日に屋外で撮影するときに選択します。
･･････････････････：曇りの日や日陰で撮影するときに選択します。
･･････････････････：撮影用ライトなどで照明して撮影するときに選択します。

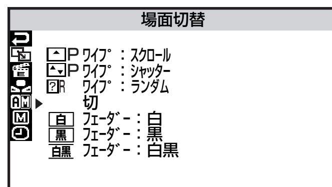
上記の設定は、A／Mスイッチを「M」側に設定したときのみ有効です。「A」側に設定している間は「オート」と同じ動作をします。

1 「M」側にスライドさせる



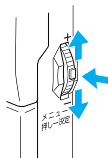
2 「メニュー／決定」レバーを押してメニューを表示する

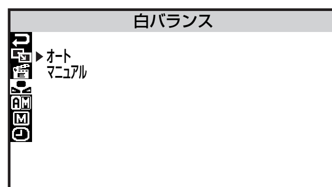




3 レバーで「」を選び、決定する

白バランスメニューが表示されます。





次へ続く

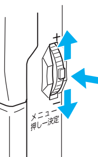
撮影・上級テクニック編

4 「マニュアル」を選び、決定する

「ワンタッチ」などが表示されます。

5 レバーでモードを選び、決定する

- 「ワンタッチ」を選択するときは、次ページの『白バランスを正確に設定する』も参照してください。





撮影画面に戻ります。

自動調節に戻すには



白バランスを自動調節に戻すには、手順４で「オート」を選択してください。

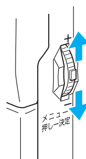
白バランスを正確に設定する

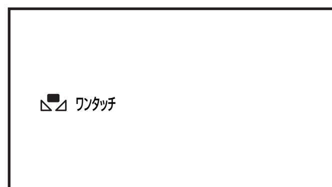
白バランスを調整すると、被写体をより正しい色で撮影できます。

1 「画像の色合いを調節する」（☞P.89）の手順１～４を行う

「 ワンタッチ」などが表示されます。

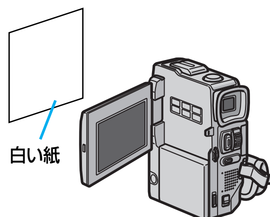
2 レバーで「 ワンタッチ」を選ぶ





3 ビデオカメラと被写体の間に白い紙を置き、画面全体に表示する

- 裏の透けない紙（コピー用紙など）をお使いください。
- 紙にピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスでピントを調節してください（☞P.88）。



4 レバーを押しつづけ、「 」の点滅が止まったら指を離す

白バランスを記憶しました。紙を外してください。

5 レバーを押して撮影画面に戻る

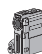


- 設定した白バランスは、新しい白バランスを設定するまで有効です。
- 手順３で色紙を置いて白バランスを調節すると、白い紙を置いて調節したときとはちょっと変わった色合いの撮影がお楽しみいただけます。

例）

赤い紙で調節した場合	：	青緑がかった色で撮影されます。
青い紙で調節した場合	：	オレンジ色で撮影されます。
黄色い紙で調節した場合	：	青紫がかった色で撮影されます。

場面の切り替え部に効果を入れる



場面切替の種類［フェーダー］［ワイプ］

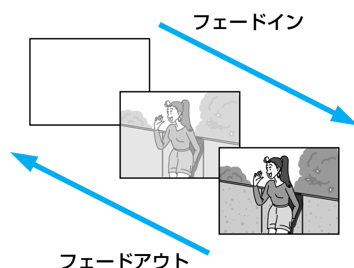
ビデオの最初と最後や場面と場面のつなぎ目に、効果を入れて変化をつける方法を説明します。
まず、映像がどのようにつながるのかをイラストを使って説明します。

場面の初めと終わりの効果

1）フェーダー効果

撮り始めは画面が徐々に浮かび上がり（フェードイン）、撮り終わりは徐々に消えていきます（フェードアウト）。

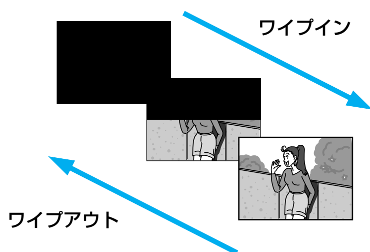
（例）白 フェーダー：白



2）ワイプ効果

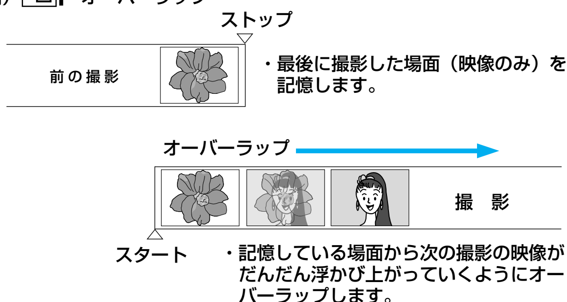
撮り始めは画面がある方向に向かってすべり込むように映し出され（ワイプイン）、撮り終わりは逆の方向に向かって消えていきます（ワイプアウト）。

（例） ワイプ：スクロール

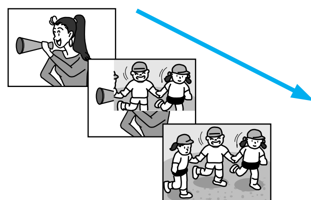


次の場面を重ねる効果

1）オーバーラップ
これから撮影する映像が、直前に撮影した映像から徐々に浮かび上がります。

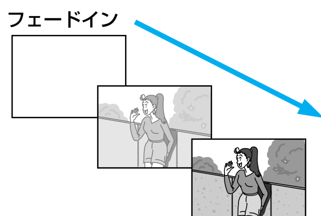


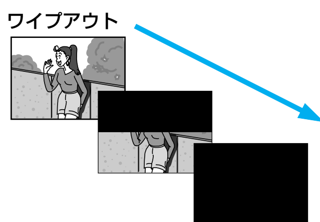
2）Pの付いているワイプ効果
直前に撮影した映像に、これから撮影する映像をワイプインでつなぎます。



効果をランダムに変更

「場面の初めと終わりの効果」から、ビデオカメラが効果をランダムに選びます。





次へ続く

場面の切り替え部に効果を入れる

場面切替には、次の 17 種類の効果があります。

分　類	メニューアイコン	効　果
–	切	「場面切替」を使用しないときに選択します。
場面の初めと終わりの効果	白 フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウトします。
	黒 フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。
	白黒 フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。
	ワイプ：コーナー	黒い画面の右上から左下に向かって映像が徐々にワイプインし、左下から右上に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：ウィンドウ	黒い画面の中央から外に向かって映像が徐々にワイプインし、画面の外から中央に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：スライド	黒い画面の右から左に向かって映像が徐々にワイプインし、左から右に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：ドア	黒い画面の中央から左右にドアを開けるように映像が徐々にワイプインし、閉めるようにワイプアウトします。
	ワイプ：スクロール	黒い画面の下から上に向かって映像が徐々にワイプインし、上から下に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：シャッター	黒い画面の中央から上下に向かって映像が徐々にワイプインし、上下から中央に向かってワイプアウトします。

分　類	メニューアイコン	効　果
次の場面を重ねる効果	P オーバーラップ	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像から徐々に浮かび上がります。
	P ワイプ：コーナー	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の右上から左下に向かって徐々にワイプインします。
	P ワイプ：ウィンドウ	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の中央から外に向かって徐々にワイプインします。
	P ワイプ：スライド	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の右から左に向かって徐々にワイプインします。
	P ワイプ：ドア	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の中央から左右にドアを開けるように徐々にワイプインします。
	P ワイプ：スクロール	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の下から上に徐々にワイプインします。
	P ワイプ：シャッター	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の中央から上下に徐々にワイプインします。
効果をランダムに変更	?R ワイプ：ランダム	「場面の初めと終わりの効果」分類の中からビデオカメラがランダムに効果を選びます。



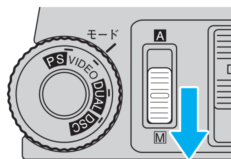
- アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません（☞P.98、165）。

撮影・上級テクニック編

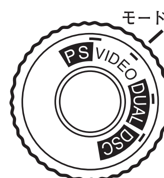
場面切替を設定する

場面切替の効果を設定する方法を説明します。

1 「Ⓜ」側にスライドさせる

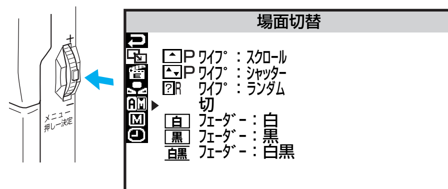


2 「VIDEO」または「PS」を線の位置に合わせる



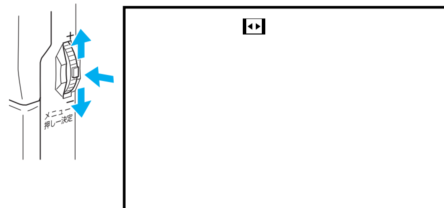
3 「メニュー／決定」レバーを押してメニューを表示し、もう一度押して決定する

場面切替メニューが表示されます。



4 使用する効果を選び、決定する

撮影画面に戻り、選択した効果のアイコンが画面の上中央に表示されます。



場面切替の効果を取り消すには

手順４で「切」を選んでください。



- **電源を切ってしまったときは**
  「次の場面を重ねる効果」（アイコンにＰの付いている切替）を設定したとき、電源が切れたり、テープを出し入れすると、ビデオカメラに記憶されている最後の映像が消えてしまいます。このとき、場面切替設定アイコンが点滅しますので、もう一度通常の撮影をしてから場面切替を行ってください。撮影停止を５分間以上続けても電源が切れますので、注意してください。
- **場面切替設定と演出効果設定（☞P.98）を一緒に使うと**
  さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、演出効果設定と一緒に使えない場面切替があります。
  場面切替設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。
- **場面切替は撮影モードダイヤルが「DUAL」のときはご使用できません。**

映像に変化をつける

演出効果の種類

次にあげる11種類の演出効果を使って、映像に変化をつけて撮影できます。

メニューアイコン		効　果
切		「演出効果」を使用しないときに選択します。
1/60	シャッター1/60	シャッタースピードを1/60に固定します。テレビ画面などを撮影するときに出る黒い帯は細くなります。
1/100	シャッター1/100	シャッタースピードを1/100に固定します。蛍光灯や水銀灯の光で撮影するときに出るちらつきは少なくなります。（50Hz地域のみ）
1/250	シャッター1/250	シャッタースピードを1/250に固定します。動きの速いものを1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。できるだけ明るい場所で撮影してください。
	夜景	夜景などを撮るとき、映像がザラザラせず、自然な感じで記録することができます。「白バランス」の設定は になりますが、お好みの設定に変えることができます（☞P.89）。ピントは、10m～無限遠の間では自動的に合います。10m以内の間では手動で合わせてください。フラッシュは、オート、オート 、切の設定のときは発光しません。
	セピア	古い写真のようなセピア色で映像を記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」（☞P.186）と合わせて使うと、古い白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。（DUALのみ使用不可）
B/W	ブラック/ホワイト	映像を白黒で記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」と合わせて使うと、白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。（DUALのみ使用不可）
	映画効果	早いコマ落とし効果をつけて映像を記録します。（VIDEOモードとPSモードのみ）
	ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように記録します。（VIDEOモードとPSモードのみ）

メニューアイコン	効　果
1　高感度　1	暗い場所にある被写体を、通常よりも約2倍明るく浮かび上がらせて撮影できます（シャッター速度は1/30秒）。（VIDEOモード、PSモードのみ）
2　高感度　2	暗い場所にある被写体を、通常よりも約4倍明るく浮かび上がらせて撮影できます。（シャッター速度は1/15秒)。（VIDEOモード、PSモードのみ）
ゴースト	被写体が何重にもなって撮影されます。幻想的な雰囲気を出したいときなどに効果的です。(VIDEOモードとPSモードのみ)

撮影・上級テクニック編

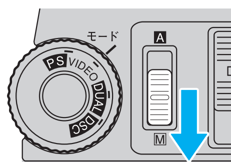


- アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は使用できません（☞ P.98、165)。

演出効果を設定する

演出効果を設定する方法を説明します。

1 「M」側にスライドさせる

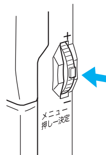


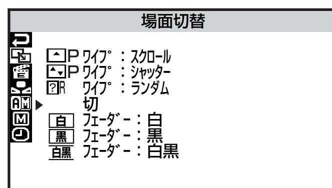
2 必要に応じて「VIDEO」に変更する

- 「DUAL」では使えない効果があります。



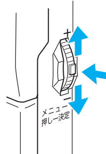
3 「メニュー／決定」レバーを押してメニューを表示する

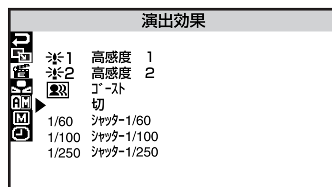




4 レバーで「」を選び、決定する

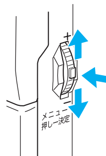
演出効果メニューが表示されます。





5 演出効果を選び、決定する

撮影画面に戻り、選択した効果のアイコンが画面の左中央に表示されます。





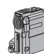
演出効果を取り消すには

手順５で「切」を選んでください。



- **演出効果設定と場面切替設定（☞ P.92）を一緒に使うと**
  さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、場面切替設定と一緒に使えない演出効果があります。演出効果設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。
- **シャッターメニューを使うときは**
  シャッタースピードが速くなればなるほど画面が暗くなります（1/60、1/100、1/250の順で暗くなります）。できるだけ明るい場所で撮影してください。
- **高感度メニューを使うときは**
  暗いところでのみお使いください。撮影した映像はコマ落としのようになります。手動フォーカス表示が出て点滅したときは、三脚などでビデオカメラを固定し（☞ P.73）、ピントを手動で合わせてください（☞ P.88）。
- **ゴーストを設定しているときは**
  10倍以上のズームは使用できません。

効果音を入れる



ビデオの撮影中に、効果音を入れます。効果音は、次の 12 種類から選べます。

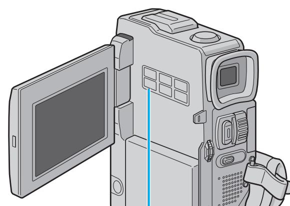
1	ファンファーレ	7	笑い
2	拍手	8	バクハツオン
3	カンセイ	9	ブーン
4	ブーー	10	ジャーン
5	ピンポーン	11	フォワーン
6	サイレン	12	ビヨヨーン

- 効果音はアクセサリーキット（GV-SP9KIT または VU-X9KIT）に付属のメモリーカードに記録されているので、アクセサリーキット（GV-SP9KIT または VU-X9KIT）のメモリーカードがセットされていないと、効果音は使えません。
- アクセサリーキット（GV-SP9KIT または VU-X9KIT）をお買い上げのときは、メモリーカードには上記の表の順番に効果音が記録されています。

効果音を設定する

1 録画の停止中に「インデックス」ボタンを押す

サウンドインデックス画面に効果音の一覧が表示されます。

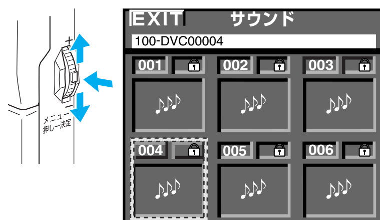


インデックス

2 「メニュー／決定」レバーを上下に動かして効果音を選択し、決定する

インデックス画面を終了して、撮影画面に戻ります。

- インデックス画面でサウンドを選択中に「デジタルサウンド」ボタンを押すと、効果音が再生されます。



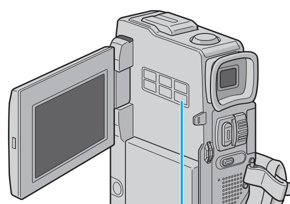


- メモリーカード内のサウンドをすべて削除すると、効果音は使えません。（☞ P.104）

効果音を確認するには

1 **録画の停止中に「デジタルサウンド」ボタンを押す**

スピーカーから効果音が流れます。



撮影中に効果音を入れる

1 **録画中に「デジタルサウンド」ボタンを押す**

設定した効果音の名前が画面に表示され、音声に効果音が挿入されます。

効果音の挿入を中止するときは、もう一度「デジタルサウンド」ボタンを押します。



- 効果音はアフレコ編集でも挿入できます（☞ P.140）。
- ビクターのホームページからサウンドデータをダウンロードすれば、別売の PC カードアダプター（CU-V50）またはフロッピーアダプター（CU-V40）を使用して、パソコンからメモリーカードにサウンドデータを取り込み、効果音として利用できます（☞ P.104）。



- 挿入時は、スピーカーから効果音は聞こえません。挿入時に効果音を聞きたいときは、ヘッドホンをご使用ください。
- 画面に表示される効果音の名前は、録画されません。

メモリーカードに効果音を追加するには

パソコンからメモリーカードに音声データを取り込み、効果音として利用できます。
効果音は、下記のビクターホームページからダウンロードしてご利用ください。

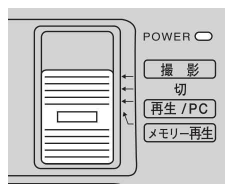
効果音ダウンロードページ
http://www.jvc-victor.co.jp/download/

- パソコンからメモリーカードに効果音を取り込むときは、別売の PC カードアダプター（CU-V50）またはフロッピーアダプター（CU-V40）を使用します。
- 効果音は、メモリーカードの DCSD¥100JVCGR フォルダにコピーしてください。
- 効果音のファイル名には、DVC00001.mp3 から始まる連番を付けます。
  アクセサリーキット（GV-SP9KIT または VU-X9KIT）に付属のメモリーカードをお使いの場合、DVC00001.mp3 から DVC00012.mp3 は、出荷時に記録されている効果音が使用しているため、DVC00013.mp3 から始まる連番のファイル名をお使いください。
- この機能を使って、市販の音楽 CD やインターネット上で流通している音声データを利用する場合、著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者から許諾を受けている等の事情がないにも関わらず、この範囲を越えて複製、編集や複製物、編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することになり、著作権者等から損害賠償を請求されることになりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

メモリーカードの効果音を削除するには

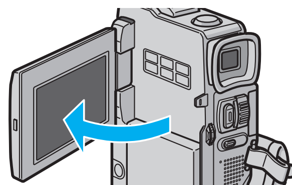
ここでは、メモリーカードに取り込んだサウンドを削除する方法を説明します。

1 「メモリー再生」の位置にする

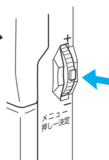


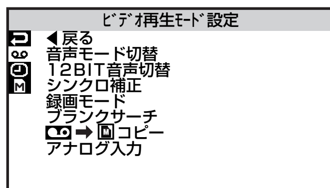
2 液晶画面を開く

液晶画面に静止画が再生されます。



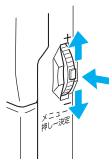
3 「メニュー／決定」レバーを押して、メニューを表示する

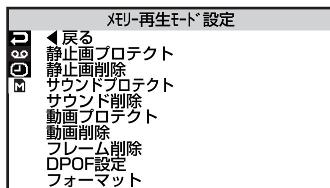




4 レバーで「M」を選び、決定する

メモリー再生モード設定メニューが表示されます。



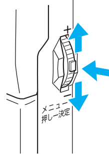


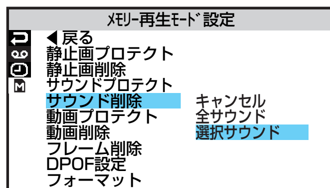
5 「サウンド削除」を選び、決定する

「全サウンド」と「選択サウンド」が表示されます。

6 「選択サウンド」を選び、決定する

削除画面が表示されます。



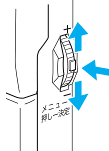


7 レバーで削除したいサウンドに枠線を合わせる

8 レバーを押して決定する

サウンドの右上に「×」がつきます。

- 間違えて「×」をつけてしまったときは、そのサウンドに枠線を合わせてレバーを押します。「×」が消えます。





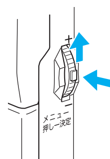
次へ続く

効果音を入れる

9 他のサウンドも削除したいときは、手順７～８を繰り返す

10 「EXIT」を選び、決定する

「キャンセル」と「実行」が表示されます。





11 「実行」を選び、決定する

- 削除をやめるには「キャンセル」を選びます。

「×」をつけたサウンドが削除され、再生画面に戻ります。

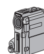


- プロテクトしたサウンドは、上記の操作では削除されません（☞P.147）。
- プロテクトしたサウンドを削除するには、あらかじめプロテクトを解除しておきます（☞P.149）。

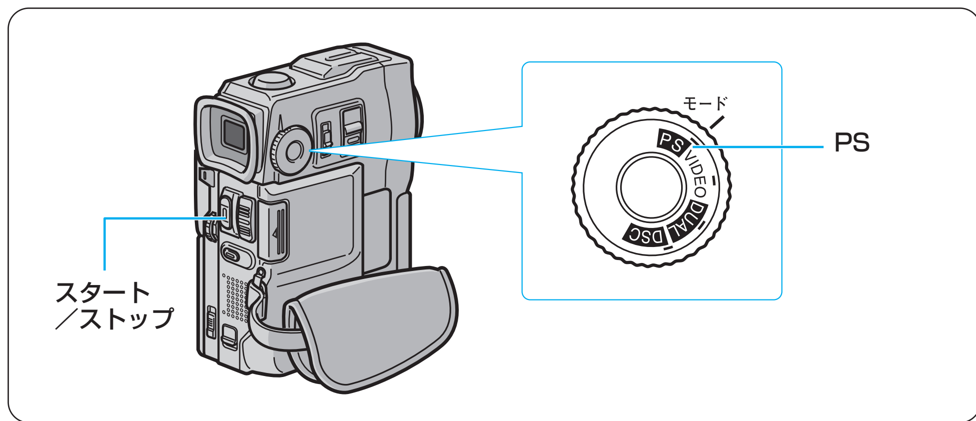
ご注意

- 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。
  また、別売のACアダプターをお使いください。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。
- 削除したサウンドは元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

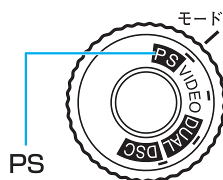
連続静止画を撮る［PS モード］



PS モード（プログレッシブスキャンモード）では、ぶれのない高画質の静止画像を連続してビデオ撮影できます。撮影した秒間 30 コマの静止画像はビデオとしてテープに保存されます。
動いているものを撮影して、そこから最適の画像を見つけてパソコンに静止画として取り込んだり、プリンターで印刷するときにお勧めします（☞P.145、別冊）。

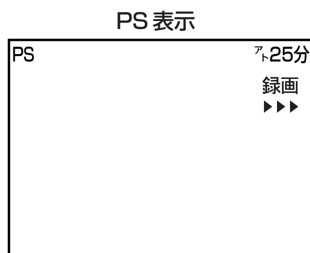


1 「PS」を線の位置に合わせる



2 「スタート／ストップ」ボタンを押して撮影を開始し、もう一度押して撮影を終了する

PS 表示



撮影・上級テクニック編

次へ続く

連続静止画を撮る［PS モード］



- PS モードで静止画ボタンを押すと、VIDEO モードよりも高画質の静止画を撮影できます（☞ P.78）。

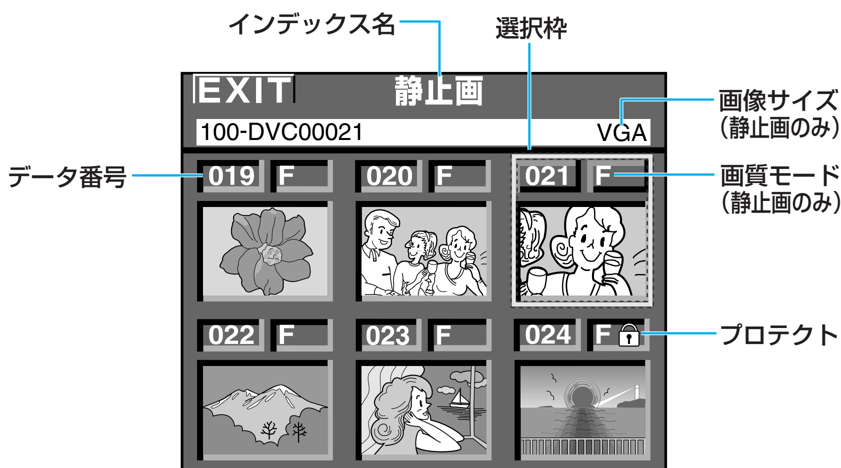


- 再生すると、ややぎこちない動きになります。
- 場面切替の「P」付きの効果は使用できません。
- 演出効果の「ゴースト」は使用できません。

メモリーカードの内容を一覧表示する

インデックス画面

メモリーカードの内容を一覧表示します。インデックス画面には「静止画」「動画」「サウンド」の３つがあります。
「静止画」のインデックス画面は再生または印刷したい静止画を選ぶときに、「動画」のインデックス画面は電子メールに添付する動画を選ぶときに、「サウンド」のインデックス画面は効果音を選ぶときに使用します。
また、プロテクト（削除防止）の有無や撮影時の画質も確認できます。表示方法と操作については次ページをご覧ください。



インデックス名：インデックス画面の名前が表示されます。「静止画」「動画」「サウンド」の３種類があります。

データ番号　：メモリーカードに記録した順に番号がつきます。

プロテクト　：データにプロテクトをかける（間違って削除しないようにする）と、マークがつきます（☞P.147）。

画質モード　：記録した静止画の画質を表します。
（静止画のみ）　画質モードには、画質の良い順にファイン（F）、スタンダード（S）の２種類があります（☞P.72）。

画像サイズ　：記録した静止画の画像サイズを表します。
（静止画のみ）　高解像度のXGAサイズと、たくさん撮影できるVGAサイズがあります。

選択枠　：「メニュー／決定」レバーを上下に動かすと枠線が移動します。データを選ぶときには、この枠線を目的のデータに合わせます。

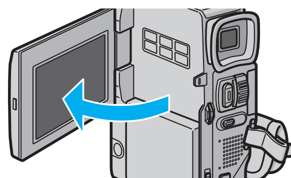
再生を工夫しよう編

メモリーカードの内容を一覧表示する

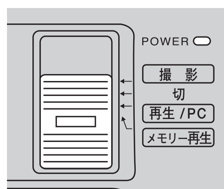
インデックス画面の使いかた

ここでは、静止画を選択する方法を例にとって説明します。

1 液晶画面を開く



2 「メモリー再生」の位置にする

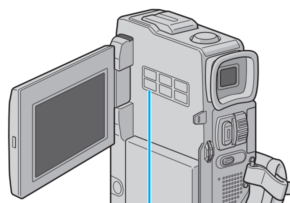


3 「インデックス」ボタンを押す

静止画インデックス画面に、静止画が 6 枚表示されます。

- 静止画、動画、サウンドのインデックス画面は、それぞれのデータがないと表示されません。

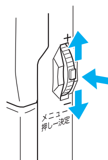
  静止画、動画、サウンドのすべてにデータがないと、「記録されたデータがありません」とメッセージが表示されます。



4 「メニュー／決定」レバーを上下に動かして枠線を静止画に合わせ、決定する

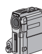
- 枠線を右、または次ページに移動 →「－」側
- 枠線を左、または前ページに移動 →「＋」側

選んだ静止画が画面全体に表示されます。





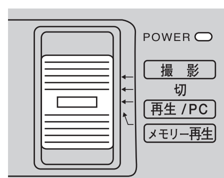
映像をコピーする



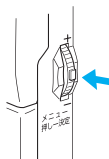
テープからメモリーカードに静止画をコピーする

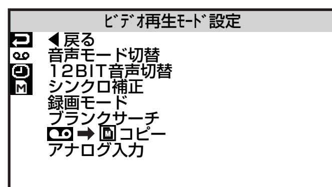
ビデオの映像から好みの場面を選び、メモリーカードにコピーして静止画に変更できます。別冊『プリント機能編』で説明されている機能の多くは、ビデオでは利用できません。ビデオの１場面を加工して印刷するには、あらかじめメモリーカードにコピーするか、再生時に効果を加えて印刷します。

1 「再生／PC」の位置にする



2 「メニュー／決定」レバーを押してメニューを表示し、もう一度押して決定する

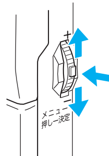


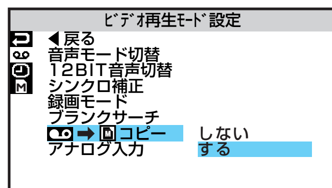


3 「 ➡ コピー」を選び、決定する

「しない」「する」が表示されます。

4 「する」を選び、決定する





5 「戻る」を選び、レバーを２回押して再生画面に戻る

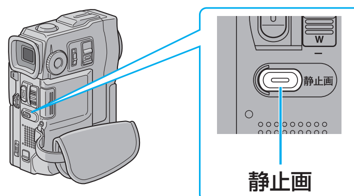
次へ続く

6 ビデオを再生し、コピーしたい映像のところで一時停止する

- ビデオを操作するには（☞ P.57）

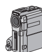
7 「静止画」ボタンを押す

画面がメモリーカードにコピーされて静止画になります。





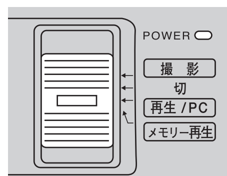
- コピーした画像は VGA サイズで撮影した静止画と同じサイズになります。
- メモリーカードには画面に表示されている画像がコピーされます。
- コピーするときに、映像をセピア色や白黒に変化させることもできます。
  手順７の前にリモコンを使って演出効果を加えてください（☞ P.119）。



テープからメモリーカードに動画をコピーする

ビデオの映像から好みの場面を選び、メモリーカードに動画としてコピーします。
コピーした動画をパソコンに取り込めば（☞P.145）、パソコン上で再生したり電子メールに添付して送るなど、いろいろな用途に使えます。

1 「再生／PC」の位置にする

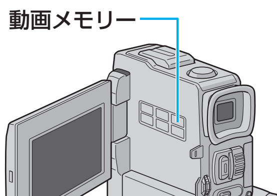


2 ビデオを再生する

- ビデオを操作するには（☞P.57）

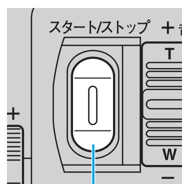
3 「動画メモリー」ボタンを押す

「動画メモリースタンバイ」が表示されます。



4 コピーしたい場面で「スタート／ストップ」ボタンを押す

「動画メモリー記録中」と表示され、テープからメモリーカードに動画がコピーされます。
20 秒間の動画をコピーすると、自動的に停止します。



動画のコピーを途中で止めたいときには

手順４で、もう一度「スタート／ストップ」ボタンを押します。
動画の保存を行い、動画コピーを終了します。



- 動画の保存には、約２分ほどかかる場合があります。
- メモリーカードにはタイムコードや日時表示などのメッセージ類はコピーされません（☞ P.120、122）。
- コピーするときに、映像をセピア色や白黒に変化させることもできます。
  手順３の前にリモコンを使って演出効果を加えてください（☞ P.119）。
- コピーした動画をパソコンに取り込むには（☞ P.145, 146）
- 動画を電子メールに添付して送るときは（☞ P.146）。

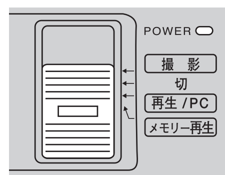
動画を再生（確認）するには

1 「メモリー再生」の位置にする

静止画が再生されます。

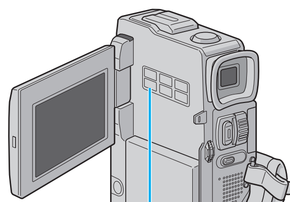
- 静止画が記録されていない場合は、動画（停止状態）が表示されます。

  静止画、動画、サウンドのすべてにデータがないと、「記録されたデータがありません」とメッセージが表示されます。



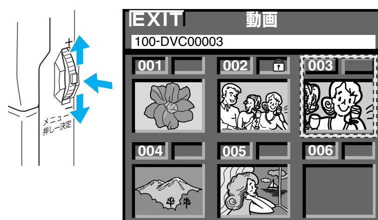
2 「インデックス」ボタンを押して、動画インデックス画面を表示させる

- 「インデックス」ボタンを押すたびに、静止画→動画→サウンドの順に、インデックス画面が表示されます。



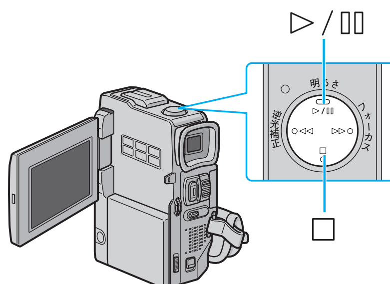
3 レバーを上下に動かして再生する動画を選び、決定する

動画（停止状態）が表示されます。



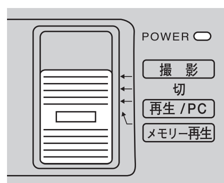
4 「▷ / ▯▯」ボタンを押して再生する

- 動画の再生を途中で止めるときは、「□」ボタンを押します。



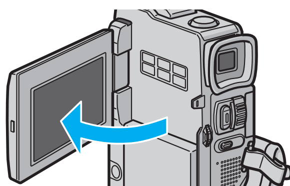
動画を削除するには

1 「メモリー再生」の位置にする

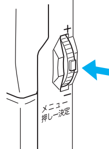


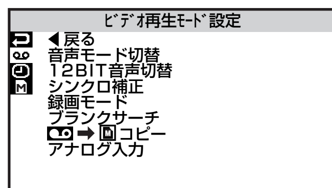
2 液晶画面を開く

液晶画面に静止画が再生されます。



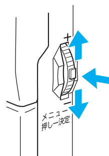
3 「メニュー／決定」レバーを押して、メニューを表示する

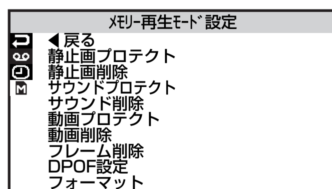




4 レバーで「M」を選び、決定する

メモリー再生モード設定メニューが表示されます。



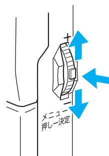


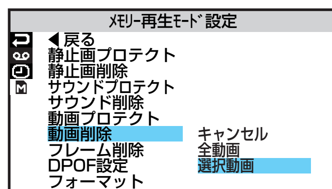
5 「動画削除」を選び、決定する

「全動画」と「選択動画」が表示されます。

6 「選択動画」を選び、決定する

削除画面が表示されます。





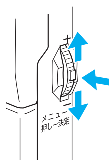
次へ続く

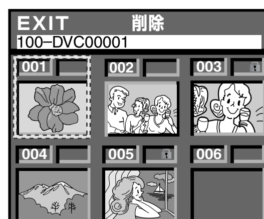
7 削除したい動画に枠線を合わせる

8 レバーを押して決定する

動画の右上に「×」がつきます。

- 間違えて「×」をつけてしまったときは、その動画に枠線を合わせてレバーを押します。「×」が消えます。

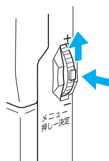




9 他の動画も削除したいときは、手順７～８を繰り返す

10 「EXIT」を選び、決定する

「キャンセル」と「実行」が表示されます。





11 「実行」を選び、決定する

- 削除をやめるには「キャンセル」を選びます。

「×」をつけた動画が削除され、再生画面に戻ります。



- プロテクトした動画は、上記の操作で削除されません（☞P.147）。
- プロテクトした動画を削除するには、あらかじめプロテクトを解除しておきます（☞P.149）。

ご注意

- 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。
  また、別売のACアダプターをお使いください。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。
- 削除した動画は元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

メモリーカードからテープに静止画をコピーする

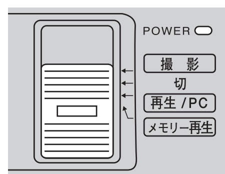
メモリーカードから静止画を選んでビデオテープにコピーし、約６秒間の静止画として挿入できます。

1 ビデオを操作し、静止画を挿入したい場所で停止しておく

- ビデオを操作するには（☞P.57）

2 「メモリー再生」の位置にする

静止画が再生されます。



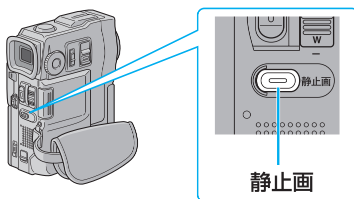
3 コピーしたい静止画を選ぶ

- 静止画を１枚ずつ、または連続再生しながら探すには（☞P.62）
- インデックス画面を使って探すには（☞P.109）

4 「静止画」ボタンを押す

画面に次のメッセージが表示されます。

「静止画ボタンを押すとテープに記録します」



5 メッセージが表示されている間に「静止画」ボタンを押す

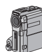
- 「静止画」ボタンを押さずにいるとメッセージが消えます。手順４からやり直してください。

テープに約６秒間コピーされます。



- 選んだ静止画にプリントフレームをつけて（☞別冊）コピーすることができます。手順３のあとにプリントフレームをつけて、手順４に進んでください。
- XGA サイズの画像をテープにコピーすると、VGA サイズに変換されます。

ビデオの映像を加工する

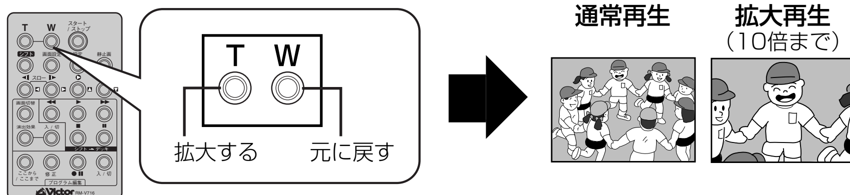


映像の一部を拡大する［再生ズーム］

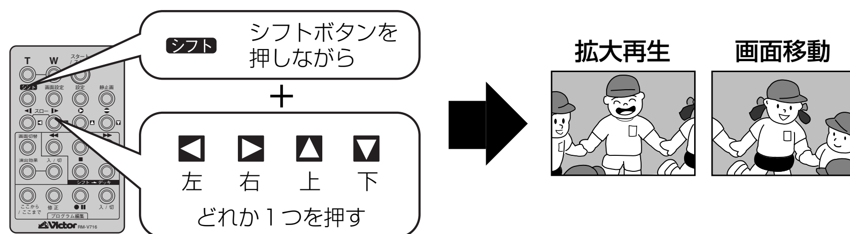
ビデオの再生中に画面を拡大するには、別売アクセサリーキット（GV-SP9KIT または VU-X9KIT）のリモコンを使用します。

1 拡大するには、再生中にリモコンの「T」ボタンを押す

- 元に戻す　→　「W」ボタン
- 静止画再生やスロー再生中も拡大できます。



2 拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押したまま、「◀」「▶」「▲」「▼」ボタンを押す





- 拡大すると、映像は少し粗くなります。
- 演出効果の「ゴースト」を加えると、拡大は解除されます。



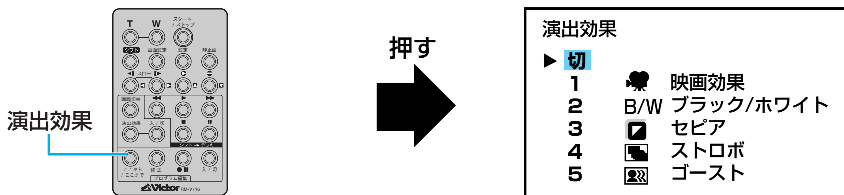
- 拡大をやめたいときは、通常の再生画面の大きさに戻るまで「W」ボタンを押します。または、リモコンの停止ボタンを押した後に再生ボタンを押します。

再生時の映像に変化をつける［演出効果］

再生中のビデオ映像に演出効果を加えるには、別売アクセサリーキット（GV-SP9KIT または VU-X9KIT）のリモコンを使用します。再生時に演出効果を加えて楽しむほか、画像をセピア色や白黒に変えてメモリーカードにコピーできます（☞P.113）。

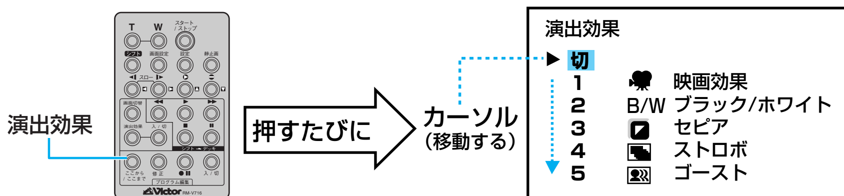
1 再生中にリモコンの「演出効果」ボタンを押す

演出効果メニューが表示されます。



2 「演出効果」ボタンを押して効果を選ぶ

- ボタンを押すたびにカーソルが移動します。目的の効果に合わせてください。



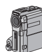
選んで約２秒後にメニューが消えます。再生中の映像には効果が加わっています。



- 演出効果「入／切」ボタンで、選んだ演出効果をいつでも入れたり切ったりできます。

再生を工夫しよう編

日時の表示を切り替える



ビデオを撮影すると、撮影した日時が記録されます。ビデオを再生するときに、撮影した日時を表示させせることができます。

日時表示の種類

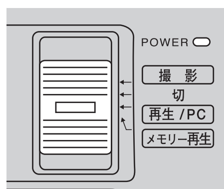
次の３種類から選択できます。お買い上げ時は、「オート」に設定されています。

	撮影	再生
オート	電源オンから５秒間表示	●再生開始から５秒間表示 ●日付が変わると５秒間表示
入	常に表示	
切	なし	

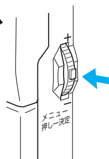
ここでは、撮影した日時を再生時に常に表示するように設定します。

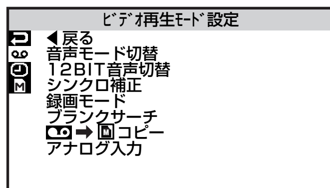
1 「再生／PC」の位置にする

- 「メモリー再生」でも設定できます。



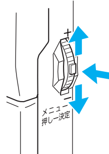
2 「メニュー／決定」レバーを押して、メニューを表示する

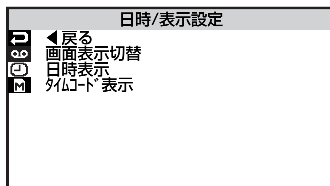




3 レバーで「」を選び、決定する

日時／表示設定メニューが表示されます。

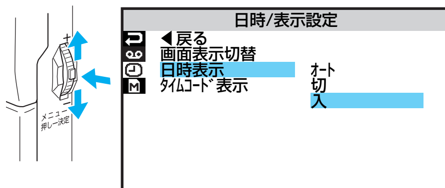




4 「日時表示」を選び、決定する

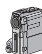
「オート」「切」「入」が表示されます。

5 「入」を選び、決定する



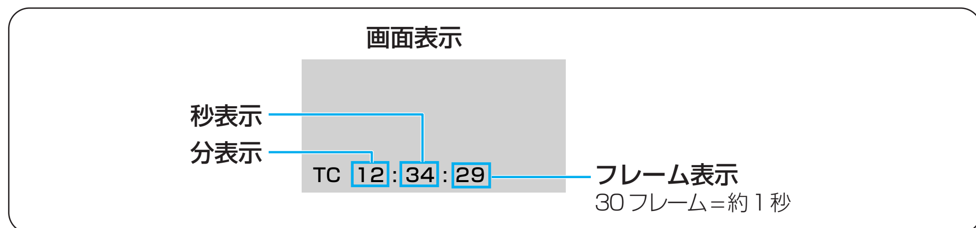
6 「戻る」を選び、レバーを２回押して再生画面に戻る

タイムコード表示を設定する



タイムコードとは

撮影中、1コマ1コマに「タイムコード」と呼ばれる数字を記録します。ビデオの撮影、再生、編集の際にタイムコードを表示すると、映像の位置を確かめる目安になります。



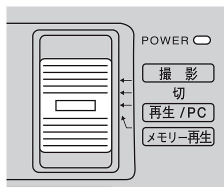


- 早送り、巻き戻し時のタイムコード表示は、ビデオカメラがテープの位置を確認するため、タイムコードが数秒間前後することがあります。
- 撮影中は分と秒のみ表示されます。

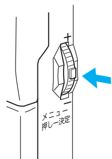
タイムコード表示を切り替える

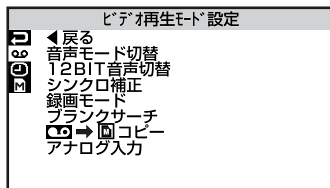
ビデオ再生時にタイムコードを表示する方法を説明します。

1 「再生／PC」の位置にする



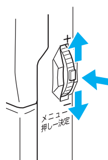
2 「メニュー／決定」レバーを押して、メニューを表示する

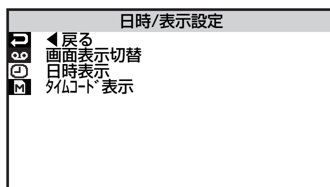




3 レバーで「[時計アイコン]」を選び、決定する

日時／表示設定メニューが表示されます。

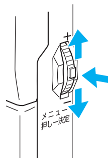


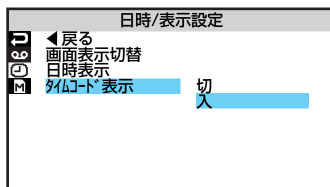


4 「タイムコード表示」を選び、決定する

「切」と「入」が表示されます。

5 「入」を選び、決定する





6 「戻る」を選び、レバーを２回押して再生画面に戻る

画面左下にタイムコードが表示されます。

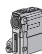
タイムコードと無記録部分

「無記録部分」とは、テープに何も録画されていない部分のことです。ここから撮影を開始すると、タイムコードは必ず「00:00:00」から記録されます。
同じタイムコードが２カ所以上に存在すると、自動編集時に誤作動を起こす原因となります。

次の状態のときは、無記録部分から撮影しないように、前に撮影した映像の終わりを確かめてから撮影してください。

- 途中まで撮影したテープを使うとき
- 再生したことのあるテープを使うとき
- テープのカバーを開閉したとき
- 撮影の途中で電源やバッテリーが切れたとき

ビデオをダビングする



ビデオデッキへダビングする

ビデオカメラで撮影したテープから、ビデオデッキのテープへダビングできます。S 入力端子付きのビデオデッキに S 映像コードで接続すると、より高画質の映像をダビングできます。

再生側

音声
入力/出力
右 左
映像
入力/出力
S2
入力/出力

S2入力／出力端子へ
S映像コード
S入力端子へ
映像入力／出力端子へ
（黄）
（白）
（赤）
音声入力／出力端子へ
フェライトコア
映像入力端子へ
（黄）
（白）
（赤）
音声入力端子へ
映像／音声コード
ビデオデッキ
録画側

1 ビデオカメラの電源を切り、ドッキングステーションと AC アダプターを接続する

- ドッキングステーションを接続するには（☞ P.68）
- AC アダプターを接続するには（☞ P.64）

2 映像／音声コードを、ビデオデッキの入力端子とドッキングステーションに接続する

- S 入力端子のあるビデオデッキをお使いの場合、S 映像コードも接続します。
- 必ず、別売アクセサリーキット(GV-SP9KIT または VU-X9KIT)のコードを使用してください。コードは、フェライトコアのある側をドッキングステーションに接続します。

3　ビデオカメラの電源を入れ、ビデオを再生する

4　ダビングを開始したいところで、ビデオデッキの録画ボタンを押す

録画を開始します。

5　ダビングを終了したいところで、ビデオデッキの停止ボタンを押す

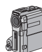
録画を終了します。



- ACアダプターの代わりにバッテリーを使用すると、ダビング中にバッテリーが切れて失敗することがあります。なるべくACアダプターをお使いください。
- ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。
- カットしたい映像があるときはビデオデッキの一時停止ボタンを押してダビングを一時停止させ、ダビングしたい場面がテレビや液晶画面に現われたら録画を再開してください。
- テレビの画面に表示されるビデオカメラからのメッセージ類は、そのままダビングされます。これらを録画したくないときは、メッセージを表示しない設定にしてからダビングを開始してください（☞P.120、122、150）。
- ビデオカメラ本体の「AV出力」端子を使用しても、ダビングできます。この場合、ドッキングステーションは使用しません。

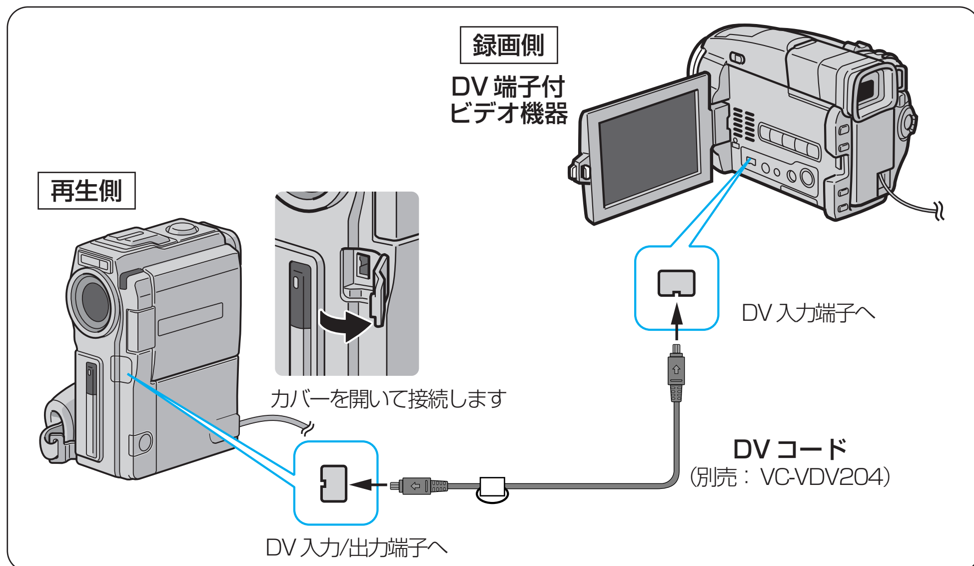


- テレビに映像が出ない、または音声が出ないときは、ビデオ再生モード設定メニューで「アナログ入力」を「しない」に設定してください（☞ P.188）。



デジタルでダビングする

DV端子付ビデオ機器をお持ちの場合、DVコードを使ってダビングできます。デジタル信号でダビングするため、画質と音質はほとんど劣化しません。



1 ビデオカメラの電源を切り、ACアダプターを接続する

- ACアダプターを接続するには（☞P.64）

2 DVコードを、ビデオカメラの「DV入力／出力」端子とDV端子付ビデオ機器のDV入力端子に接続する

- 別売アクセサリーキット(GV-SP9KITまたはVU-X9KIT)のフェライトコアを取り付け、フェライトコアが本機側にくるように接続してください。

3 ビデオカメラの電源を入れ、ビデオを再生する

4 ダビングを開始したいところで、DV 端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す

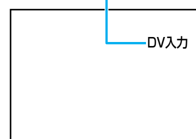
録画を開始します。

5 ダビングを終了したいところで、DV 端子付ビデオ機器の停止ボタンを押す

録画を終了します。

本機を録画側として使うには

DV 入力中に表示されます。



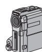
DV 入力画面表示

1 電源スイッチを「再生／ PC」にする。
2 録画モードを選ぶ（☞P.152）。
3 再生側の DV 機器を再生モードにする。
4 ビデオカメラ本体の「スタート／ストップ」ボタンを押すと、画面上に「DV 入力」表示が出て録画停止状態になります。
5 録画停止状態で「スタート／ストップ」ボタンを押すと、録画を開始します。
6 再び「スタート／ストップ」ボタンを押すと、録画停止状態になります。



- AC アダプターの代わりにバッテリーを使用すると、ダビング中にバッテリーが切れて失敗することがあります。なるべく AC アダプターをお使いください。
- ご使用になる DV 端子付ビデオ機器の取扱説明書もご覧ください。
- 再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。
- 再生時に「場面切替」「演出効果」「デジタルズーム」「記念写真」を設定していても DV 出力端子からは、テープの通常再生映像しか出ません。

  これらの演出を録画したいときは、映像／音声コードを使ってダビングしてください（☞P.128）。



ビデオ機器からダビングする

ビデオデッキなど、DV 端子を持たないビデオ機器からもビデオカメラへダビングできます。

音声
入力/出力
右 左
映像
入力/出力
S2
入力/出力

録画側

S2入力／出力端子へ
S映像コード
S出力端子へ
映像入力／出力端子へ
（黄）
（白）
（赤）
音声入力／出力端子へ
フェライトコア
映像出力端子へ
（黄）
（白）
（赤）
音声出力端子へ
映像／音声コード
ビデオデッキ
再生側

1 ビデオカメラの電源を切り、ドッキングステーションと AC アダプターを接続する

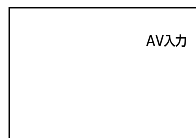
- ドッキングステーションを接続するには（☞ P.68）
- AC アダプターを接続するには（☞ P.64）

2 映像／音声コードを、ビデオ機器の出力端子とドッキングステーションに接続する

- Ｓ出力端子のあるビデオ機器をお使いの場合、Ｓ映像コードも接続します。
- 必ず、別売アクセサリーキット(GV-SP9KIT または VU-X9KIT)のコードを使用してください。コードは、フェライトコアのある側をドッキングステーションに接続してください。

3 電源スイッチを「再生／PC」の位置に合わせ、ビデオ再生モード設定メニューの「アナログ入力」を「する」に設定する（☞ P.188）

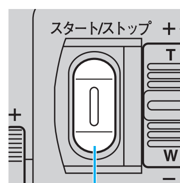
4 ビデオカメラの「スタート／ストップ」ボタンを押す



画面に「AV 入力」と表示され、録画停止状態になります。

5 ビデオデッキでビデオを再生する

6 ダビングを開始したいところで、ビデオカメラの「スタート／ストップ」ボタンを押す



録画を開始します。

7 ダビングを終了したいところで、もういちど「スタート／ストップ」ボタンを押す

録画を終了します。

ダビングしたテープを再生するには

1 電源スイッチを「再生／ PC」の位置にする。

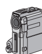
2 再生設定メニューの「アナログ入力」を「しない」に設定する（☞P.188）。

3「再生」ボタンを押す。



- AC アダプターの代わりにバッテリーを使用すると、ダビング中にバッテリーが切れて失敗することがあります。なるべく AC アダプターをお使いください。
- ご使用になるビデオ機器の取扱説明書もご覧ください。
- 「アナログ入力」を「する」に設定したまま再生すると、ご使用のビデオ機器や再生するテープにより、映像が乱れることがあります。
- ダビングしたビデオテープをテレビで見るには（☞P.65）
- ダビング中にビデオカメラ本体の「AV 出力端子」に映像／音声コードを差し込むと、音声にノイズが入ることがあります。

ビデオを編集する



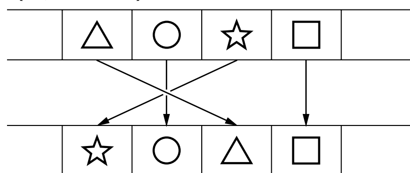
自動で編集する

撮影済みのビデオからお好きな場面を８つまで選び、ビデオデッキのテープに自動的にダビングできます。次の機能と合わせて使うと、テレビドラマや映画のようなビデオを作成できます。

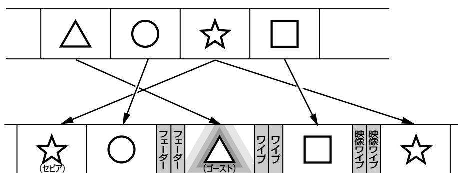
アフレコ編集　：　ナレーションや効果音を追加します（☞P.140）。
場面切替効果　：　場面と場面のつなぎ目に効果を加えます（☞P.92）。
演出効果　：　映像に変化をつけます（☞P.98）。

知っておきたい自動編集のしくみ

普通に自動編集したときは
撮影済みのビデオの中から最大８つまでの場面を指定して、お好きな順番に並べ替えてダビングすることができます。普通に自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。



場面切替や演出効果を入れて自動編集したときは
自動編集するビデオの最初と終わりに場面切替を入れたり、映像そのものに演出効果を付けてダビングすることができます。場面切替や演出効果を入れて自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。



ビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する

自動編集では、別売アクセサリーキット(GV-SP9KIT または VU-X9KIT)のリモコン（☞P.177）でご家庭のビデオデッキを操作します。ここでは、ご家庭のビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する方法を説明します。

1 ビデオデッキの電源を切る

2 ご使用のビデオデッキのメーカー名を確認する

3 「リモコンメーカー設定表」（次ページ）とメーカー名を対応させる

4 リモコンの「設定」ボタンを押したまま、設定表の「A」に書かれているボタンを押す

- 「設定」ボタンを押したまま、「リモコンのボタン 1」を押し、「設定」ボタンの指を離さずに「リモコンのボタン 2」を押します。

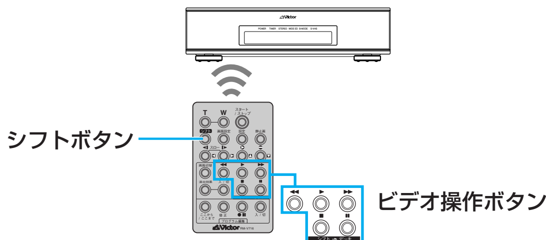
ビデオデッキに電源が入り、登録が完了します。



5 ビデオデッキに電源が入らない場合は、「B」「C」...の組み合わせのボタンを押す

リモコンでビデオデッキを操作するには

「シフト」ボタンを押したまま、各操作ボタンを押します。
ビデオデッキのリモコン受光部に向けて操作してください。



次へ続く

ビデオを編集してみよう編

リモコンメーカー設定表

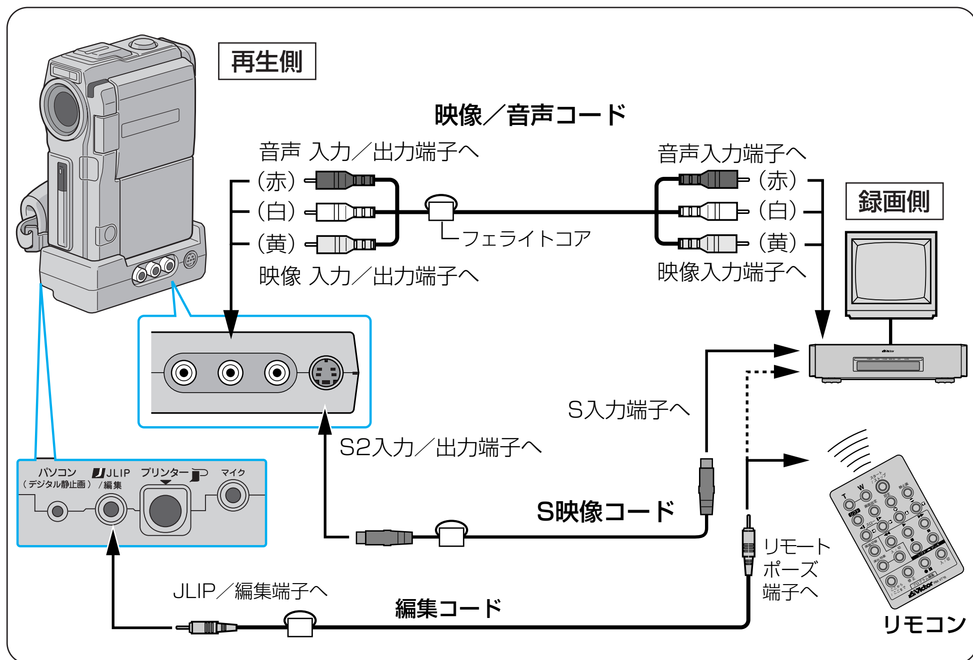
メーカー名	リモコン信号	リモコンのボタン1	リモコンのボタン2
ビクター	A	●❚❚（ビデオ準備）	◀◀（巻戻し）
	B	●❚❚（ビデオ準備）	■（停止）
	C	●❚❚（ビデオ準備）	（シフト）
アカイ	A	■（停止）	▶▶（早送り）
	B	■（停止）	▶（再生）
	C	（ここから/ここまで）	（ここから/ここまで）
サンヨー	A	■（停止）	▶（再生）
	B	（シフト）	❚❚（一時停止）
	C	（シフト）	（プログラム編集入/切）
	D	（ここから/ここまで）	●❚❚（ビデオ準備）
シャープ	A	◀◀（巻戻し）	❚❚（一時停止）
	B	◀◀（巻戻し）	（プログラム編集入/切）
ソニー	A	■（停止）	❚❚（一時停止）
	B	■（停止）	（プログラム編集入/切）
	C	（シフト）	●❚❚（ビデオ準備）
	D	（シフト）	◀◀（巻戻し）
東芝	A	■（停止）	●❚❚（ビデオ準備）
	B	■（停止）	◀◀（巻戻し）
NEC	A	（シフト）	（ここから/ここまで）
	B	（シフト）	（修正）
日立	A	■（停止）	■（停止）
	B	■（停止）	（シフト）
フナイ	A	（ここから/ここまで）	（シフト）
松下	A	◀◀（巻戻し）	（シフト）
	B	◀◀（巻戻し）	（ここから/ここまで）
	C	◀◀（巻戻し）	◀◀（巻戻し）
	D	●❚❚（ビデオ準備）	▶（再生）
	E	◀◀（巻戻し）	（修正）
三菱	A	■（停止）	（ここから/ここまで）
	B	■（停止）	（修正）



- **リモコンの乾電池がなくなったときは**
  設定したビデオデッキのメーカー設定も消えてしまいます。乾電池を交換してメーカー設定をやり直してください。
- **リモコンでビデオデッキを操作できないときは**
  機種によってはリモコンでのビデオデッキのメーカー設定ができないものや、特定のボタンだけ操作できないものもあります。ご了承ください。

好きな場面を選んでダビングする

ここでは、ビデオカメラのテープから編集したい場面を選び、ビデオデッキのテープへ自動的にダビングする方法を説明します。
場面と場面の間に場面切替の効果を使う方法と、場面に演出効果を使う方法については、操作手順の間に（MEMO）で説明します。自動編集に慣れてからお読みください。



1 ビデオカメラにACアダプターとドッキングステーションを取り付け、ビデオデッキと接続する

- ACアダプターを接続するには（☞P.64）
- ビデオデッキと接続するには（☞P.124）

2 「JLIP／編集」端子とリモコンを、編集コードで接続する

- 別売アクセサリーキット(GV-SP9KITまたはVU-X9KIT)の編集コードを使用してください。編集コードは、フェライトコアのある側をドッキングステーションに接続します。

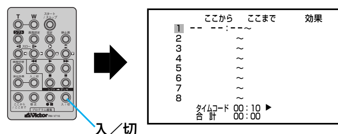
次へ続く

3 ビデオカメラでビデオを再生する

- 再生するには（☞P.57）

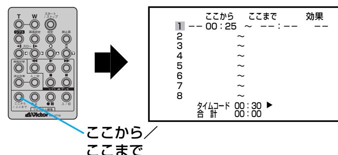
液晶画面とテレビに映像が表示されます。

4 リモコンをビデオカメラのリモコン受光部に向け、「入／切」ボタンを押す



液晶画面に自動編集表示画面が表示されます。

5 ダビングを開始したい場面が表示されたときに、「ここから／ここまで」ボタンを押す

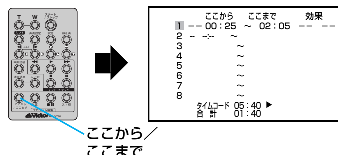


開始場面のタイムコードが表示されます。



- **場面の撮り始めに変化を付けたいときは（☞P.92）**
  リモコンの「場面切替」ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンを押してください。フェーダーやワイプを使用できます。

6 ダビングを終了したい場面が表示されたときに、「ここから／ここまで」ボタンを押す



終了場面のタイムコードが表示されます。



- **場面の撮り終わりに変化を付けたいときは（☞P.92）**
  リモコンの「場面切替」ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンをくり返し押してください。
  ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。
- **映像そのものに変化を付けたいときは（☞P.98）**
  リモコンの「演出効果」ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される演出効果アイコンが変わります。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。

7 手順５～６を繰り返して、場面を登録する

- ８つまで登録できます。

	ここから	ここまで		効果
1 切	00:25～02:05		P	切
2 P	07:18～08:31		切	切
3 切	03:33～05:53			B/W
4	09:30～13:15			
5	15:55～16:10		--	--
6	--:--～			
7	～			
8	～			
タイムコード	16:20			
合 計	09:17			



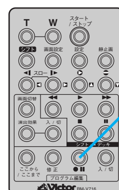
- 場面の始めに場面切替を設定したときは、設定した効果のアイコンがカウンターの左側に表示されます。場面の終わりに場面切替を設定したときは、設定した効果のアイコンがカウンターの右側に表示されます。場面に演出効果を設定したときは、設定した効果のアイコンが「効果」に表示されます。何も設定していないときは「－－」が表示されます。

8 ビデオカメラのテープを巻き戻し、タイムコード（例 00:25 より前）付近まできたら一時停止する

9 リモコンをビデオデッキのリモコン受光部に向け、「●II」ボタン（ビデオ準備ボタン）を押す

ビデオデッキが録画一時停止の状態になります。

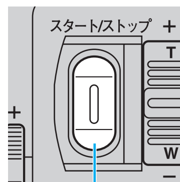
- リモコンで録画一時停止の状態にならないときは、ビデオデッキ本体を操作してください。





10 ビデオカメラの「スタート／ストップ」ボタンを押す

自動編集が始まり、ビデオデッキのテープに映像がダビングされます。ダビングが終わると、ビデオカメラが停止の状態になり、ビデオデッキは録画一時停止の状態になります。



スタート／ストップ

リモコンの「スタート／ストップ」ボタンでは、自動編集は始まりません

次へ続く

11 ビデオデッキを停止する

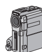
自動編集が終了します。



- **画面に表示されるメッセージを消して自動編集してください**
  テレビの画面に表示されるビデオカメラからのメッセージは、自動編集でもそのまま記録されます。日時表示やタイムコードを記録したくないときは、メッセージを表示しないよう設定してから、自動編集してください（☞ P.120、122、150）。リモコンでも操作できます（☞ P.177）。
  （自動編集表示は自動編集をスタートすると消え、ビデオには記録されません）。
- **各場面のタイムコードとタイムコードの合計時間は**
  編集開始場面と終了場面のタイムコードには１秒以下の数値（フレーム）が表示されないため、各場面のタイムコードの時間と合計時間が合わないことがあります。
- **自動編集の登録場面を修正したいときは**
  リモコンの「修正」ボタンを押します。ボタンを押すたびに最後から登録場面が消去されます。
- **ダビング中のリモコンの位置は**
  ビデオデッキのリモコン受光部に向けてください。障害物があるとうまくダビングできません。
- **ビクターのリモートポーズ端子付ビデオデッキをお使いのときは**
  編集コードをドッキングステーションの「JLIP／編集」端子とビデオデッキのリモートポーズ端子に接続してお使いになることができます（☞P.133）。このとき、リモコンは使用しません。
- **ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。**



- **こんなときは自動編集できません**
  - 同じタイムコード（☞P.122）が２つ以上存在するテープでタイムコードを指定しても、どのタイムコードかわからないため誤動作することがあります。
  - 編集終了場面のタイムコードの値が編集開始場面の値より小さいときは自動編集できません。
  - 編集終了場面から次の開始場面までの早送り時間および巻き戻し時間がビデオデッキの一時停止可能時間（当社の場合約５分以内）を超えるときは、自動編集できません
  - リモコンのプログラム編集「入/切」ボタンを押して「切」にしたときは、自動編集に登録した内容すべてが消えてしまいます。
  - 編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック（青い画面）を記録してしまうことがあります。
  - 自動編集中にビデオカメラを操作すると、ビデオデッキが録画一時停止状態になり、自動編集を中止します。



より正確に自動編集する［シンクロ補正］

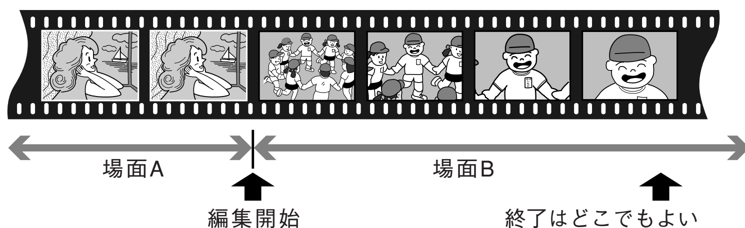
ビデオデッキには録画反応の早いものと遅いものがあります。自動編集でビデオカメラの再生とビデオデッキの録画を同時に開始しても、録画開始のタイミングがズレたために前の場面が残っていたり、場面の最初が欠けていたりすることがあります。
ズレを防ぐには、録画のタイミングをあらかじめ補正します。

録画タイミングのズレを確認する

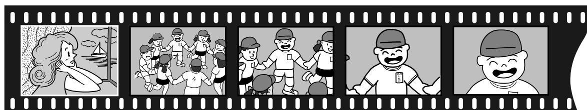
映像の区切りと時間の経過が判りやすいビデオを用意し、これを自動編集してみます。編集後にビデオデッキのテープを再生して、指定したタイミングからどの程度ズレてダビングが開始されているか確認します。

1 場面を１つだけ自動編集する

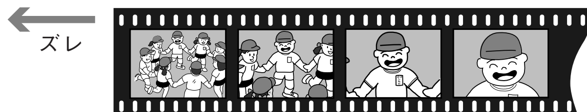
- 自動編集するには（☞P.130）
- 編集を開始する場面には、映像の変化が判りやすいところを選んでください。



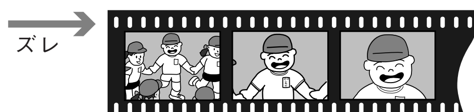
録画開始が早い例



正しい例



遅い例



次へ続く

2 ビデオデッキのテープを巻き戻し、再生する

3 録画のタイミングのズレ（秒）を確認する

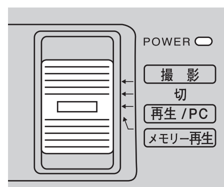


● **自動編集を行う前に**
数回自動編集のテストを行って補正値が適切であることを確認してから、最終的な自動編集を行ってください。

録画タイミングのズレを補正する

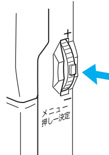
録画のタイミングがズレていたときは、ビデオカメラでタイミングのズレを補正します。

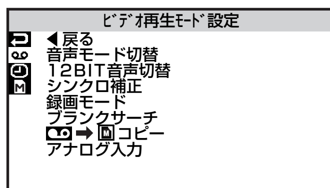
1 「再生／PC」の位置にする



2 「メニュー／決定」レバーを押してメニューを表示し、もう一度押して決定する

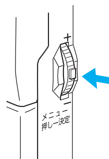
ビデオ再生モード設定メニューが表示されます。

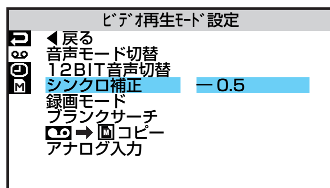




3 「シンクロ補正」を選び、決定する

4 レバーを上下に動かして数値を設定し、決定する





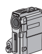
- ビデオデッキの録画開始が
  早い → −値にする
  遅い → ＋値にする
  （例）ビデオデッキの録画が 0.5 秒早く開始している場合、レバーを下に動かして「− 0.5」に設定します。
- 設定範囲は− 1.3 〜＋ 1.3 秒です。

5 「戻る」を選び、レバーを 2 回押して再生画面に戻る



- **補正しても録画タイミングが合わないときは**
  ビデオデッキによっては、録画タイミングのズレを補正しきれないことがあります。ご了承ください。

ビデオに音声を追加する［アフレコ編集］

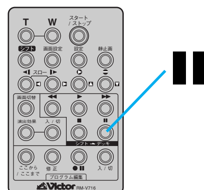


撮影したビデオには、あとでナレーションを追加したり、吹き替え音声を録音したりできます。アフレコ編集には、別売アクセサリーキット（GV-SP9KIT または VU-X9KIT）のリモコンを使用します（☞ P.177）。

1 ビデオカメラでビデオを再生する

- ビデオを再生するには（☞ P.57）

2 アフレコ編集したいところで一時停止する



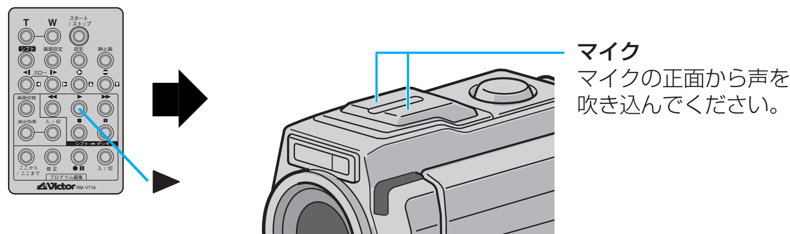
3 「❚❚」ボタンを押したまま、「⊖」ボタンを押す

液晶画面に「❚❚ ⊖」アイコンが表示されます。



4 「▶」ボタンを押し、ビデオカメラのマイクに向かって声を吹き込む

アフレコ編集が始まり、声が記録されます。



5 「■」ボタンを押して、アフレコ編集を終了する

効果音を挿入するには

マイクからの音声以外にも、メモリーカードに記録されている効果音を挿入できます。

1 **前ページの手順４でリモコンの「ここから／ここまで」ボタンを押して「デジタルサウンド」を選ぶ**

「ここから／ここまで」ボタンを押すと、「マイク」と「デジタルサウンド」が交互に切り替わります。

- すでに効果音を設定している場合は、♪♪♪マークが表示されます。

2 **「インデックス」ボタンを押して効果音を選ぶ**

- インデックス画面を使って探すには（☞P.110）

3 **レバーで効果音を選択し、決定する**

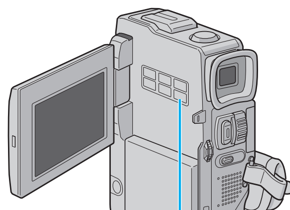
- インデックス画面で「デジタルサウンド」ボタンを押すと、選択している効果音がスピーカーから流れます。
  挿入中の効果音を確認したいときは、ヘッドホンを使用してください。

効果音を選択すると、画面に効果音の名前が表示されます。

4 **リモコンの「►」ボタンまたはビデオカメラの「▷/❙❙」ボタンを押してアフレコをスタートし、好みの場面で「デジタルサウンド」ボタンを押す**

効果音が挿入されます。

- 効果音の挿入を中止したいときは、もう一度「デジタルサウンド」ボタンを押します。


デジタルサウンド

ビデオに音声を追加する［アフレコ編集］

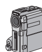


- **別の場面からアフレコ編集を再開したいときは**
  リモコンの「❚❚」ボタンを押します。ビデオが静止画になります。リモコンの「■」ボタンを押してアフレコ編集を終了し、アフレコ編集を再開したい場面を表示させてから再び編集を行ってください。
- **外部マイクを使ってアフレコ編集したいときは**
  外部マイクをドッキングステーションのマイク端子に接続してください。
- **外部機器を使ってアフレコ編集したいときは**
  外部機器をドッキングステーションの音声入力／出力端子に接続して、ビデオ再生モード設定メニューの「アナログ入力」を「する」に設定してください（☞ P.188）。また、外部機器の音はヘッドホンで聞くことができます。
- **アフレコ編集中の音声を確認したいときは**
  アフレコ編集中の音声を確認したいときは、ヘッドホンを使用してください。
- **挿入する効果音を変更したいときは**
  リモコンの「■」ボタンを押してビデオを停止させ、ビデオカメラの「インデックス」ボタンを押して効果音を選択します（☞ P.102）。



- **画面に「音声アフレコできません」と表示されたときは**
  LP モードで撮影したテープ、または 16BIT の音声を記録したテープにはアフレコ編集できません。
- **テレビから「ピー」「ウワーン」というノイズ音が出るときは**
  テレビに接続（☞ P.65）してアフレコ編集すると、テレビからノイズ音が出ることがあります。テレビからビデオカメラや外部マイクを離すか、テレビの音量を下げてください。

再生時の音声を切り替える



音声モード切替と 12BIT 音声切替

アフレコ編集したビデオでは、録音時の音声とアフレコ時に録音した音声（アフレコ音声）の再生を選択できます。また、ビデオカメラは常にステレオ音声で録音しますが、片方のスピーカーの音声のみを再生することもできます。

ステレオ音声の切り替え［音声モード切替］

ビデオの音声をステレオまたは左右どちらかのみで再生するか設定します。

- **ステレオ**　：ステレオ（左右どちらも再生）
- **音声（L）**　：左の音声のみ
- **音声（R）**　：右の音声のみ

アフレコ音声の切り替え［12BIT 音声切替］

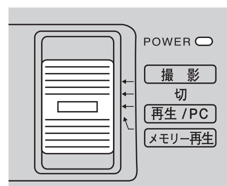
撮影時の音声を再生するか、アフレコ音声を再生するか設定します。

- **音声 1**　：撮影時の音声
- **音声 2**　：アフレコ音声
- **ミックス**　：撮影時の音声とアフレコ音声（同時に再生）

音声切替の操作

ここでは、アフレコ音声をステレオで再生するように設定してみます。

1 **「再生／PC」または「メモリー再生」の位置にする**



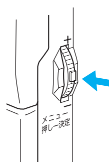
ビデオを編集してみよう編

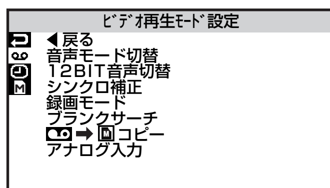
次へ続く

再生時の音声を切り替える

2 **「メニュー／決定」レバーを押してメニューを表示し、もう一度押して決定する**

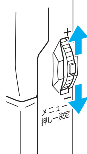
ビデオ再生モード設定メニューが表示されます。

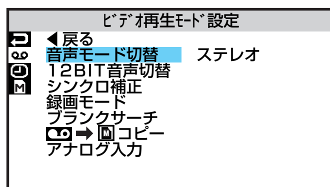




3 **「音声モード切替」を選び、「ステレオ」に設定されていることを確認する**

- 「音声（L）」または「音声（R）」になっている場合は、「ステレオ」に変更してください。

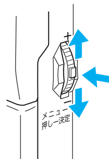


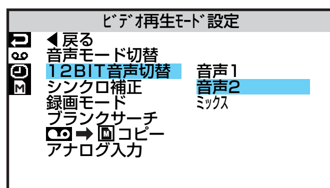


4 **「12BIT 音声切替」を選び、決定する**

「音声 1」「音声 2」などが表示されます。

5 **「音声 2」を選び、決定する**





6 **「戻る」を選び、レバーを２回押して再生画面に戻る**



- ビデオカメラは、ビデオの音声モードを自動判別して再生します。ビデオを再生すると、画面の左上端に再生中の音声モードが表示されます（☞ P.191）（早送り/巻戻し再生中は自動判別できません）。

映像や効果音をパソコンと共有する

ケーブルで接続する

別売アクセサリーキット（HS-V17KIT、HS-V15KIT、HS-V13KIT）を使用すると、メモリーカードやテープに記録した静止画や動画をパソコンに取り込めます。詳しくは各別売品のカタログおよび取扱説明書をご覧ください。また、別売のDV端子付キャプチャーボード（GV-DV1000）を搭載したパソコンには、テープに記録した映像を静止画として取り込めます。

DV入力/出力端子へ
DV入力端子へ
DVコード
パソコン
DV端子付キャプチャーボードを搭載

COMポート（RS-232C）
パソコン端子へ
HS-V17KITまたはHS-V15KIT（別売）を使用します。
パソコン（デジタル静止画）
パソコン
ACアダプター

ご注意

- 必ず電源を切った状態で接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。
- ビデオカメラの電源には、ACアダプターをお使いになることをおすすめします。
- ノイズを除去するために、別売アクセサリーキット（GV-SP9KITまたはVU-X9KIT）に付属のフェライトコアをDVコードに取り付けてください。取り付けかたは、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。
- 日時情報などは、パソコンに取り込むことができません。
- GV-DV1000を使用するときは、GV-DV1000に付属のDVコードをご使用ください。



- 各別売品の取扱説明書もご覧ください。
- HS-V17KITまたはHS-V15KITを使用するには、コードを接続してからビデオカメラの電源スイッチを「再生／PC」にしてご使用ください。

次へ続く

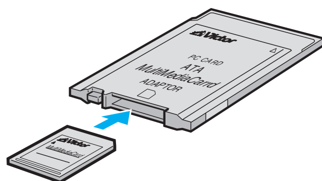
PC カードアダプターまたはフロッピーアダプターで読み込む

別売のマルチメディアカード用 PC カードアダプター（CU-V50）やマルチメディアカード用フロッピーディスクアダプター（CU-V40）を使うと、メモリーカードに記録した静止画や動画を、簡単にパソコンに取り込めます。
ここでは、PC カードアダプターを使ってノートパソコンに取り込む方法を説明します。

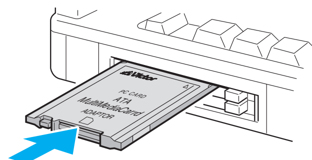
1 メモリーカードを取り出す

- メモリーカードを取り出すには（☞ P.39）

2 メモリーカードを PC カードアダプターに差し込む



3 ノートパソコンの PC カードスロットに差し込む

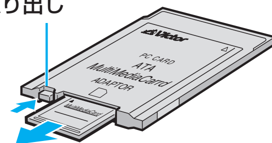


4 パソコンで、メモリーカードからハードディスクへ静止画や動画をコピーする

- パソコンの操作については、パソコン付属の取扱説明書をご覧ください。
- PC カードアダプター、フロッピーディスクアダプターの取り扱いについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

PC カードアダプターから取り出すには

取り出しボタンを押して、メモリーカードを取り出します。





- **取り込んだ動画を再生するときは、専用の再生ソフトが必要です。再生ソフトは別売のアクセサリーキット（HS-V17KIT または HS-V15KIT）に同梱されている CD-ROM に納められています。また、ビクターのホームページからダウンロードすることもできます（☞ P.39）。**

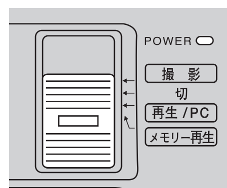
  動画を電子メールに添付して送るとき、メールを受け取る人が再生ソフトを持っていない場合は、再生ソフトも一緒に添付してください。

データを保護する［プロテクト］

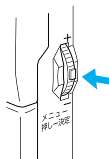
メモリーカードのデータにプロテクトをかける

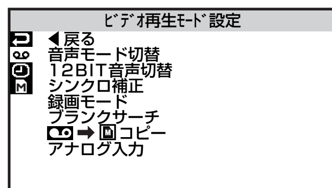
間違えて削除しないように、大切なデータにはプロテクトをかけることをお勧めします。プロテクトをかけたデータは削除されません。メモリーカードに保存されている静止画、動画、サウンドに、それぞれプロテクトをかけることができます。
ここでは、静止画にプロテクトをかける方法を説明します。

1 「メモリー再生」の位置にする



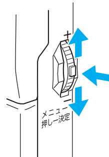
2 「メニュー／決定」レバーを押して、メニューを表示する

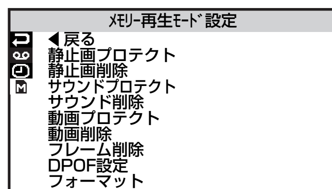




3 「M」を選び、決定する

メモリー再生モード設定メニューが表示されます。





4 「静止画プロテクト」を選び、決定する

静止画プロテクト画面が表示されます。

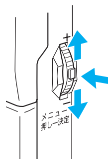
次へ続く

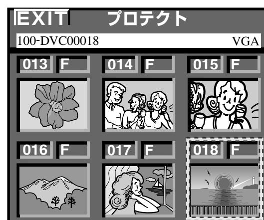
データを保護する［プロテクト］

5 プロテクトをかける静止画を選び、決定する

静止画に🔒マークがつきます。

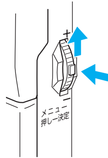
- 他の静止画にもプロテクトをかけるときは、手順５を繰り返します。

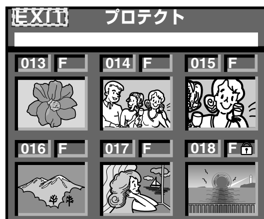




6 「EXIT」を選び、決定する

再生画面に戻ります。





ご注意

- データにプロテクトをかけていても、メモリーカードをフォーマットした場合は削除されます。必要な画像はパソコンに転送して保存してください。（☞P.146）



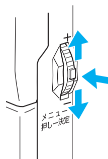
- 動画とサウンドにも、同様にしてプロテクトをかけることができます。前ページの手順４でそれぞれ「動画プロテクト」または「サウンドプロテクト」を選択してください。表示されるプロテクト画面は、それぞれ「動画プロテクト」「サウンドプロテクト」となります。

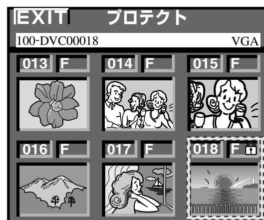
データのプロテクトをはずす

ここでは、静止画のプロテクトをはずす方法を説明します。

1 前のページの手順１～４を行う

静止画プロテクト画面が表示されます。





2 プロテクトをはずしたい静止画を選び､｢メニュー／決定｣レバーを押す

静止画の🔒マークが消えます。

- 他の静止画もプロテクトをはずしたいときは､手順２を繰り返します。

3 ｢EXIT｣を選び､決定する

再生画面に戻ります。



- 動画とサウンドのプロテクトも、同様にしてはずすことができます。手順１のメモリー再生モード設定メニューでそれぞれ「動画プロテクト」または「サウンドプロテクト」を選択してください。表示されるプロテクト画面は、それぞれ「動画プロテクト」「サウンドプロテクト」となります。

画面の表示方法を変更する

ダビングや編集をするときには、画面の文字や記号を隠すことをお勧めします。ここでは、画面の日時表示やメニュー表示を隠す方法と、そのほかの日時／表示設定メニューの項目について説明します。

日時／表示設定メニュー

電源スイッチを「再生／ PC」「メモリー再生」のいずれかに合わせ、「メニュー／決定」レバーで設定する。

項　目	設定項目	機　能
画面表示切替	モニター	TVやビデオデッキに、画面の表示を出力しない
	モニター/TV	TVやビデオデッキに、画面と常に同じ表示を出力する
	モニター：シンプル	TVやビデオデッキに、画面内の文字を出力しない
		画面内の表示を最少限にする
日時表示	オート	電源を入れたときなどに5秒間表示する
	切	表示しない
	入	常に表示する（☞ P.120）
タイムコード表示	切	表示しない
	入	表示する（☞ P.122）

※:最初の設定値は、　　　で表示してあります。



- 画面表示切替が「モニター」に設定されていても、日時表示やタイムコード表示が「入」に設定されていると、日時表示やタイムコードは画面に表示されます。

  これらをダビングしたくないときは、日時表示やタイムコードの表示設定を「切」にしてください。



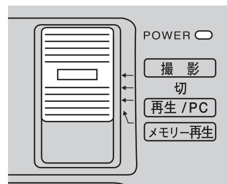
- 「画面表示切替」と「日時表示」と「タイムコード表示」の設定はＡ／Ｍスイッチの設定に関係なく、有効です。
- 「画面表示切替」の設定はリモコンの「画面表示」ボタンでも切り替えることができます。（☞ P.177）

日時／表示設定メニューの設定方法

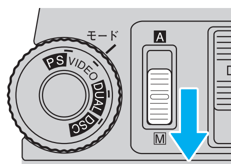
メニューの操作方法を説明します。例として、「画面表示切替」の設定を「モニター：シンプル」に変更します。

1 「撮影」の位置にする

- 電源スイッチを「再生／PC」または「メモリー再生」の位置に合わせても設定できます。

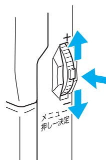


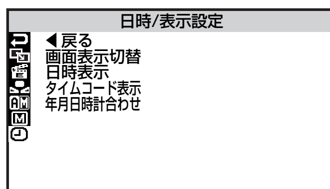
2 「Ⓜ」側にスライドさせる



3 「メニュー／決定」レバーを押してメニューを表示し、「◎」を選んで決定する

日時／表示設定メニューが表示されます。

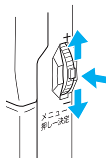


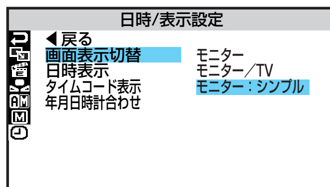


4 「画面表示切替」を選び、決定する

「モニター」「モニター／TV」「モニター：シンプル」が表示されます。

5 「モニター：シンプル」を選び、決定する





6 「戻る」を選び、レバーを２回押して撮影画面に戻る

撮影設定を変更する

ここでは、撮影用の設定のなかで、A／Mスイッチが「A」と「M」の両方のポジションで効果がある項目について説明します。

撮影設定 [A] [M] メニュー

A／Mスイッチを「M」側にスライドし、「メニュー／決定」レバーで設定する。

項　目	設定項目	特　徴	参　照
録画モード テープの撮影時間が1.5倍になる	SP	アフレコ編集可能	P.140
	LP	撮影時間がSPモードの1.5倍	
音声モード アフレコ可能なモードで録音する	12BIT	アフレコ編集可能	P.140
	16BIT	高音質で録音	
ズーム ズーム倍率の上限を設定する	40倍	デジタルズーム	P.51
	200倍	デジタルズーム	
	10倍	光学ズーム（画質が劣化しない）	
静止画モード切替 静止画の演出方法を設定する	フル	全面に静止画を表示する	P.78
	ピンナップ	白フチと影をつける	
感度アップ 撮影の感度を設定する	オート　A☀	シャッター速度調整で感度アップ	P.153
	AGC	電気的に感度アップ	
	切	自然のままの明るさ	
ブザー／タリー 操作音と撮影ランプを消す	入:メロディー	操作するごとにメロディー音	P.153
	入:ブザー	一部の操作のみブザー音	
	切	音とランプを消す	
IDナンバー JLIP制御用のIDナンバーを設定する	06 （01～99まで可）	別売HS-V17KITまたはHS-V15KITでビデオカメラを操作するときに使用する	P.145
デモモード 演出効果をデモで確認する	入		P.154
	切		

※:最初の設定値は、［灰色］で表示してあります。

各項目の補足説明

録画モード

- 本機の「LP」モードで撮影したテープは本機で再生することをお勧めします。他のデジタルビデオ機器ではうまく再生できない場合があります。

音声モード

- アフレコ編集をするには、あらかじめ「12BIT」に設定して撮影してください。一方、「16BIT」に設定すると、より高音質で録音できます。
- どちらのモードでも、ステレオで録音されます。
- 従来のビクター製ビデオカメラでは、12BIT 音声を 32KHz 音声、16BIT 音声を 48KHz 音声と表現しています。

ズーム

- 10 倍まではレンズの機能で映像をズームしますが、10 倍以上は映像をデジタル処理するため、映像品質が少し劣化します。

静止画モード切替

- ビデオテープに挿入する静止画の演出方法を、2 種類から選択できます（☞ P.78）。

感度アップ

- 「オート　A☀」で撮影した画面は、自動的にシャッタースピードを調整して、実際よりも明るい映像を記録します。ただし、被写体の動きは多少不自然になります。
- 「AGC」で撮影した画面は、デジタル映像を処理して実際よりも明るい映像を記録します。ただし、映像がザラザラした感じになります。

ブザー／タリー

- 「入：メロディー」では、操作をするごとにメロディー音が鳴ります。撮影ランプは点灯します。
- 「入：ブザー」では、一部の操作のみブザー音が鳴ります。撮影ランプは点灯します。
- 「切」では、操作をしても音がしません。撮影ランプも点灯しません。

デモモード

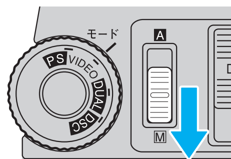
- カセットテープを入れずに電源を入れ、「デモモード」を「入」にすると、液晶画面にビデオカメラの機能デモを表示します（☞ P.154）。
- 機能デモの表示中にズームなどの操作を行うと、一時的に機能デモの表示を停止し、約 1 分間後に再開されます。
- 通常はデモモードを「切」にしてご使用ください。「入」のままにしていると、設定できない機能があります。

設定のしかた

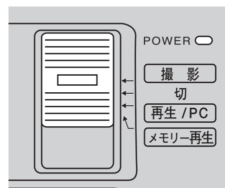
例として、デモモードの設定を「切」に変更します。

1 テープを取り出す（☞P.36）

2 「Ⓜ」側にスライドさせる



3 「撮影」の位置にする



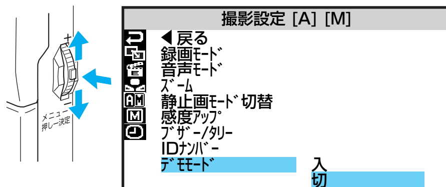
4 「メニュー／決定」レバーを 1 回押す

「デモモード」の「入」が選択された状態で撮影設定［A］［M］メニューが表示されます。

- 機能デモ表示中は、「メニュー／決定」レバーを 2 回押してください。

5 「切」を選び、決定する

撮影画面に戻ります。



マニュアル用の設定を変更する

ここでは、撮影用の設定のなかで、A／Mスイッチを「Ⓜ」側にスライドしたときに効果がある項目について説明します。

マニュアル設定 [M] メニュー

A／Mスイッチを「Ⓜ」側にスライドし「メニュー／決定」レバーで設定する。

項　目	設定項目	特　徴	参　照
手ぶれ補正 手ぶれ補正をやめる	入	手ぶれで映像が振れない	P.156
	切		
セルフタイマー セルフタイマーを設定する	しない		P.74
	する	15秒後に撮影する	
5S 5秒撮影のモードを設定する	切		−
	5S	5秒間だけ撮影する （スナップショットムービー）	
	アニメ	約1/8秒間だけ撮影する （アニメーション制作）	
テレマクロ 接写を設定する	切	1mまで接近して撮影できる	P.51
	入	T側で60cmまで接近可能	
ワイド効果 ワイドテレビに合わせた画面にする	切		P.156
	シネマ	映画風に上下に黒い帯が入る	
	ワイド	ワイドテレビと同じ横長の画面になる	
	PSワイド	撮影できる範囲を広げられる	
ボイスポジション 録音される雑音を軽減する	切	自然な音声を録音する	−
	入	風による雑音を軽減して録音する	
フラッシュモード フラッシュで赤目になるのを防ぐ	オート	暗いときは自動的に発光する	P.83
	オート 👁	赤目現象を防ぐ	
	入	常に発光する	
	切	常に発光しない	
フラッシュ明るさ フラッシュの明るさを設定する	±0 （−3〜+3）	フラッシュの明るさを増減できる	P.85

※:最初の設定は、▒▒▒で表示してあります。
※:A／Mスイッチが「Ⓐ」のときは▒▒▒の設定で動作します。

設定を変えて使いこなそう編

次へ続く

各項目の補足説明

手ぶれ補正

- 三脚などでビデオカメラを固定して撮影するときは「手ぶれ補正」を「切」にしてください。「入」のままだと被写体の動きに合わせて必要のない補正を行い、不自然な映像になることがあります。
- 手ぶれが大きいとき、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき、映像をデジタル処理するときは補正できないことがあります。
- DUAL モードのときは他のモードに比べて手ぶれ補正の効果が弱くなります。
- 手ぶれ補正が働かないときは、液晶画面の「」表示が点滅、または表示が消えます。

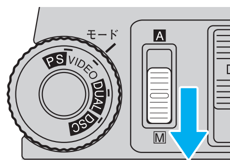
ワイド効果

- **普通のテレビ（画面比率 4:3）やファインダー、液晶画面で見るとき、またはプリンターで印刷するときは**
  ワイド映像は、縦長の映像が映ります。シネマ映像は、上下に黒い帯が入った映像が映ります。
- **ワイドテレビで見るときは**
  ワイドで撮った映像には、ワイド用の識別信号が記録されています。S2 入力／出力端子をS映像コードでワイドテレビに接続してください。テレビの S2 端子に接続すれば、ワイド、シネマをテレビが自動判別します。テレビの S1 端子に接続すると、ワイドを自動判別します。テレビ側に S2 または S1 端子がないときは、S 端子に接続してください。自動判別はできません。なお撮影中、または撮影停止中は、ワイド用の識別信号が出力されません。ワイドテレビで見やすい映像に調節してください。（詳細はお使いのビデオデッキまたはワイドテレビの取扱説明書をご覧ください）。
- **ビデオデッキでダビングしたワイド映像を再生するときは**
  ワイド映像になるようにテレビ側でモードを切り替えてください（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書をご覧ください）。
- **ワイド映像とシネマ映像を混在させて撮ったときは**
  早送り再生中、巻戻し再生中は、ワイド映像とシネマ映像を判別できません。
- **PS ワイド（PS モードのみ）**
  メニューを決定したあと、ズームスイッチを「W」側にスライドさせてください。
  ワイドコンバーションレンズを使用しなくても広角側 0.7 倍のワイド撮影ができます。室内などの狭いところでも、撮影範囲が広がります。またズームが 14 倍（画面表示は 0.7 ～ 10 まで）になります。

設定のしかた

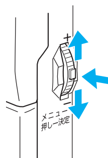
例として、テレマクロの設定を「入」に変更します。

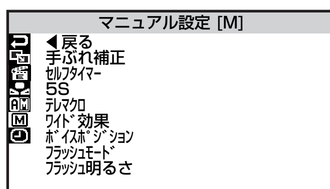
1 「M」側にスライドさせる



2 「メニュー／決定」レバーを押してメニューを表示し、「M」を選んで決定する

マニュアル設定［M］メニューが表示されます。

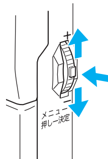


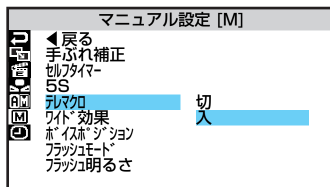


3 「テレマクロ」を選び、決定する

「切」と「入」が表示されます。

4 「入」を選び、決定する

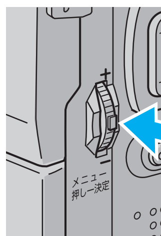




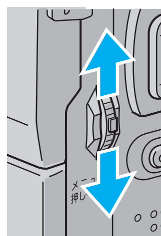
5 「戻る」を選び、レバーを２回押して撮影画面に戻る

プリント情報を設定する［DPOF 設定］ 

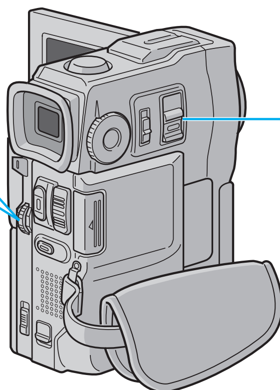
今後の自動プリントシステムなど将来の環境を考慮し、自動プリントするための情報を記録するDPOF(Digital Print Order Format)規格に対応しています。
DPOF 設定で自動プリントの指定ができるのは、メモリーカードに記録された静止画のみです。ビデオの映像をDPOF 設定によってプリントしたいときは、プリントしたい場面をあらかじめ静止画としてメモリーカードにコピーしておきます（☞P.111）。



メニュー表示
決定する

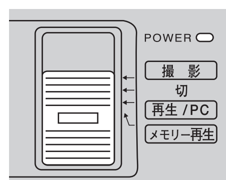


選ぶ



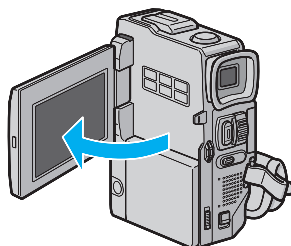
すべての静止画を１枚ずつプリントするよう設定する

1 「メモリー再生」の位置にする

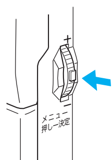


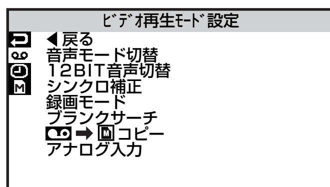
2 液晶画面を開く

液晶画面に静止画が映ります。

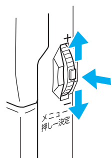


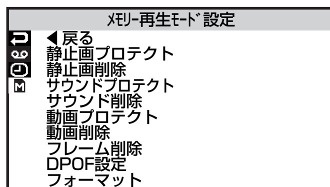
3 「メニュー／決定」レバーを押して、メニューを表示する





4 レバーで「M」を選び、決定する



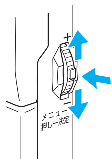


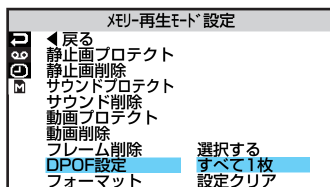
5 「DPOF設定」を選び、決定する

「選択する」、「設定クリア」などが表示されます。

6 「すべて1枚」を選び、決定する

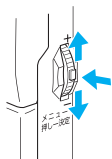
「キャンセル」と「実行」が表示されます。

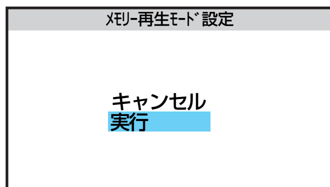




7 「実行」を選び、決定する

再生画面に戻ります。



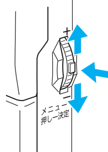


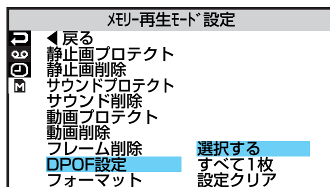


静止画とプリント枚数を選んで設定する

1 「すべての静止画を１枚ずつプリントするよう設定する」（☞P.158）の手順６で「選択する」を選び、決定する。

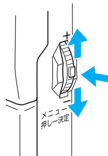
DPOF 設定画面が表示されます。





2 レバーを上下に動かしてプリントしたい静止画に枠線をあわせ、決定する

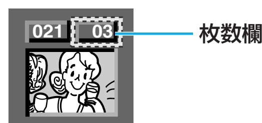
静止画の枚数欄が選択されます。





3 レバーで枚数欄にプリントする枚数を設定し、決定する

- 最大 15 枚まで設定できます。

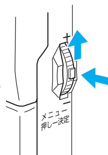


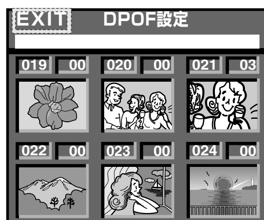
4 他の静止画もプリントしたいときは、手順２～３を繰り返す

- 枚数を間違えて設定してしまったときは、その静止画に枠線を合わせてダイヤルを押し、枚数を設定しなおします。

5 「EXIT」を選び、決定する

「キャンセル」と「実行」が表示されます。





6 「実行」を選び、決定する

再生画面に戻ります。

枚数を設定しなおしたいときは

「すべての静止画を1枚ずつプリントするよう設定する」(☞P.158) の手順6で「設定クリア」を選んでください。すべての静止画で0枚に設定されます。

設定を変えて使いこなそう編

ご注意

- 操作中は電源を抜かないでください。静止画ファイルが壊れます。安全のため、DPOF設定の実行中は電源ダイヤルを含むすべてのボタンが働きません。



- DPOF対応プリンターを使用する場合、上記の操作をしたメモリーカードを入れると選択した静止画だけを自動的に印刷できます。

メモリーカードを初期化する

万一、メモリーカードに不具合が生じた場合は、メモリーカードをフォーマットすることで機能を回復できる場合があります。通常はメモリーカードをフォーマットする必要はありませんが、どうしてもフォーマットする必要が生じた場合は、下記の手順で行なってください。
フォーマットするとメモリーカード内のデータ（静止画、動画、サウンド、パソコンから取り込んだフレーム）はすべて消失します。

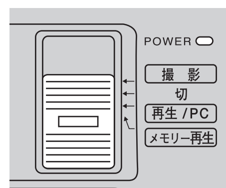
1 AC アダプターを取り付ける

- AC アダプターを取り付けるには（☞ P.64）

2 保存したいデータがあればコピーする

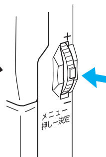
- テープに静止画をコピーするには（☞ P.117）
- パソコンにデータを取り込むには（☞ P.145）
- データが壊れているときは、コピーできないこともあります。

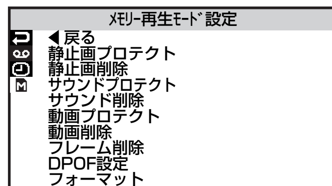
3 「メモリー再生」の位置にする



4 「メニュー／決定」レバーを押してメニューを表示し、「M」を選んで、決定する

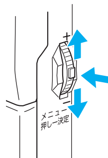
メモリー再生モード設定メニューが表示されます。

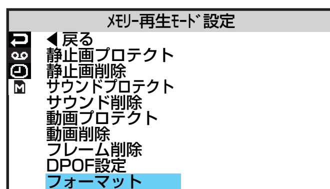




5 「フォーマット」を選び、決定する

「キャンセル」と「実行」が表示されます。

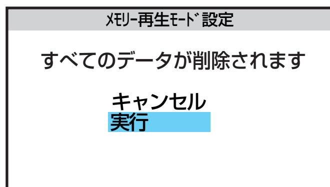




6 「実行」を選び、決定する

- フォーマットをやめるには「キャンセル」を選びます。

メモリーカードがフォーマットされます。フォーマットが終了すると、再生画面に戻ります。



ご注意

- フォーマット中は電源を切ったり、ほかの操作をしないでください。故障の原因となります。
- データにプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は削除されます。必要なデータはカセットテープにコピー（静止画）するか、パソコンに転送（動画、サウンド、フレーム）して保存してください。
- フォーマットしても、メモリーカードの機能が回復しない場合は、新しいメモリーカードを購入してください。

故障かな？と思ったら

このビデオカメラはマイコンを使用しています。

雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはビデオカメラから電源（バッテリー、AC アダプターなど）をはずし、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
電源	**電源が入らない**	●電源コードを正しく接続してください。 ●バッテリーを充電してください。 ●液晶画面を開くか、ファインダーを引き出してください。	64 31 40
	「日時を設定して下さい」が表示される	●内蔵の時計用電池がなくなっています。ACアダプターを24時間以上接続したあと日時を設定してください。	42
撮影中	**撮影できない**	●撮影モードダイヤルを正しく設定してください。 ●テープの誤消去防止用つまみを「REC」側にしてください。 ●「テープおわり」と表示されていませんか？ ●電源スイッチを「撮影」の位置にしてください。 ●カセットカバーを閉じてください。	45 172 192 40 36
	映像が出ない	●電源をもう一度入れ直してください。	40
	メニューの機能が使えない	●A／Mスイッチを「M」にしてください。	42
	自動でピントが合わない	●A／Mスイッチを「A」にしてください。「M」のまま撮影するときは、「フォーカス」ボタンを押して手動フォーカスを解除してください。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？ ●レンズにゴミや水滴などが付いていませんか？	88 169
	撮影中、液晶画面に日時が出ない	●「日時表示」を「入」にしてください。 ●対面撮影していませんか？	120 56
	撮影した映像の縦に明るい線が出る	●強い光の当たる被写体を撮影しませんでしたか？　被写体に強い光が当たると、コントラストの違いで線が出ることがあります。故障ではありません。	–
	太陽光が映ると、画面が一瞬赤くなったり、黒くなったりする	●故障ではありません。	–
	静止画を撮ってもフラッシュが発光しない	●十分な明るさがある場合は、「オート」では発光しません。フラッシュモードを「入」に設定してください。 ●フラッシュが充電中ではありませんか？　画面に⚡が点滅していたら充電中です。充電には約10秒ほどかかる場合があります。 ●ビデオ（動画）の撮影中ではフラッシュは発光しません。 ●「感度アップ」が「切」のとき、演出効果で「夜景」を設定したときは発光しません。 ●バッテリー残量表示が点滅しているときは、発光しません。	83 45

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	**フラッシュをたいて静止画を撮っても赤目軽減効果がない**	●フラッシュ発光を正面から見ていますか？　正面から見ていないと赤目軽減効果が現われにくくなります。 ●プリ発光を見ていますか？　１度目の発光を見ていないと赤目軽減効果が現われにくくなります。 ●被写体までの距離が離れすぎていませんか？フラッシュの効果は約0.7mから2mの範囲です。 ●「フラッシュモード」を「オート ◉ 」にして、赤目防止表示を出してください。	83 84 84 83
	撮影した静止画が暗い	●フラッシュ発光部分を指などで覆っていませんか？　フラッシュ発光部分をよく確認して、覆わないようにしてください。 ●「フラッシュ明るさ」が暗い値（－3）になっていませんか？ ●被写体までの距離が離れすぎていませんか？　フラッシュの効果は約0.7mから2mの範囲です。 ●「逆光補正」ボタンを押してください。	27 85 84 77
	撮影した静止画が明るい	●「フラッシュモード」を「入」以外に設定してください。	83 78
	撮影した静止画の色がおかしい	●照明の色や被写体に白い部分がない場合、または被写体の背後にいろいろな光源がある場合に色がおかしくなるときがあります。「フラッシュモード」を「入」にするか、白い被写体を角に入れて撮影してください。	83
	デジタルズームできない	●「VIDEO」「PS」モード以外では、ズームは10倍までしか使えません。 ●「ズーム」が「10倍」に設定されているときは、ズームは10倍までしか使えません。 ●「演出効果」で「ゴースト」を選択しているときは、ズームは10倍までしか使えません。 ●「場面切替」で「P ワイプ」を選択しているときはズームは使えません。 ●マニュアル設定［M］メニューで「PSワイド」を設定しているときは、ズームは14倍までしか使えません。	51 152 99 95 155
	手ぶれ補正が働かない	●「手ぶれ補正」を「入」にしてください。	155
	「演出効果」や「場面切替」機能が使えない	●撮影モードダイヤルを「VIDEO」または「PS」にしてください。	96 100
	「場面切替」の「P ワイプ」での切替が使えない	●撮影中に電源スイッチを「切」にしないでください。 ●撮影中に電源を切らないでください（撮影停止を5分間以上続けると、自動的に電源が切れます）。	97 97
	「場面切替」の「P ワイプ：オーバーラップ」が使えない	●撮影中に「演出効果」を設定、変更しないでください。 ●「演出効果」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」「高感度」を選択しているときは使えません。 ●「ワイド効果」で「ワイド」または「PSワイド」を選択しているときは使えません。	98 98 155
	「場面切替」の「P ワイプ」でのワイプ効果が使えない	●「演出効果」の「高感度」を選択しているときは使えません。 ●「ワイド効果」で「ワイド」または「PSワイド」を選択しているときは使えません。	98 155
	「場面切替」の「フェーダー：白黒」が使えない	●「演出効果」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択しているときは使えません。	98

故障かな？と思ったら

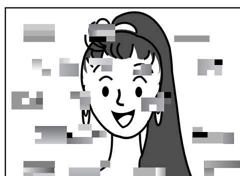
	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	「演出効果」の「ゴースト」が使えない	●「ワイド効果」で「ワイド」または「PSワイド」を選択しているときは使えません。 ●「場面切替」の「P ワイプ」で撮影しているときは使えません。 ●「場面切替」のフェーダー効果を使ってフェードイン、フェードアウトしているときは使えません。	155 95 94
	「演出効果」の「映画効果」や「ストロボ」を選択してもコマ落とし効果が使えない	●「場面切替」の「P ワイプ」で撮影しているときは使えません。	95
	「白バランス」が設定できない	●「演出効果」で「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択しているときは使えません。	98
	液晶画面の映像が暗い、または白くなる	●液晶画面の角度や明るさを調節してください。 ●液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	48 180
	液晶画面の裏側が熱くなる	●液晶画面を長時間使用していませんか？　長時間使用すると、液晶画面裏の蛍光管が熱くなります。液晶画面を切るか電源を切ってしばらく放置しておくと元に戻ります。	–
	液晶画面に表示ムラが出る	●液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？　液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくと元に戻ります。	–
	液晶画面のアイコン表示が点滅する	●「場面切替」「演出効果」「手ぶれ補正」機能のうち、同時に使用できない機能を選択しているときは各機能のアイコンが点滅します。	94,98 153
	「ツユが付きました」と表示される	●メッセージが消えてから使用してください。	169
	「ヘッドが汚れています」と表示される	●別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを清掃してください。	168
	液晶画面にメッセージなどの表示が出ない	●「画面表示切替」を「モニター」または「モニター／TV」にしてください。	150
	撮影中に音声が聞こえない	●ヘッドホンで聞くことができます。ビデオを再生して音量を調節してください。	58
再生中	液晶画面の映像が乱れる	●テープの無記録部分の再生、高速再生、および静止画再生中は液晶画面の映像が乱れることがあります。故障ではありません。	–
	テープの、巻戻し、早送りができない	●電源スイッチを「再生／PC」の位置にしてください。	57
	メモリーカードの再生ができない	●電源スイッチを「メモリー再生」の位置にしてください。	62
	テープは回っているが再生されない	●カセットカバーを閉じてください。 ●テレビのチャンネルをビデオ用に設定してください。	36 66

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
再生中	映像にモザイク状のノイズが出る	●別売のデジタルビデオヘッドクリーナーテープでヘッドを清掃してください。	168
	映像が映らず青い画面になる	●別売のデジタルビデオヘッドクリーナーテープでヘッドを清掃してください。	168
	再生画が映らない	●ビデオ再生モード設定メニューの「アナログ入力」を「しない」にしてください。 ●S映像コードを使用してください。	188 67
その他	液晶画面に「E01」など、Eの付いた数字が表示される	●なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。バッテリーなど電源を取り外し、数分待って表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。また、テープは取り出さないでください。	180
	液晶画面の映像が暗い	●寒い場所でビデオを再生していませんか？　寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。	–
	液晶画面に映像が表示されない	●ファインダーを引き出していませんか？ ●液晶画面の明るさを調節してみてください。 ●液晶画面を180°回転しているときは、液晶画面を一度確実に開いてください。	48 48 –
	液晶画面とファインダーに黒、赤、青、緑の点が出る	●故障ではありません。	171
	ファインダー内にゴミが入っている	●市販のレンズブロワーでごみを取ってください。	170
	ACアダプターの充電ランプがつかない	●低温（10℃以下）や高温（30℃以上）で充電していませんか？10～30℃の環境で充電してください。周囲の温度が低すぎたり高すぎたりすると、バッテリー保護のため充電が中止されることがあります。	32
	テープが入らない	●テープの向きを確かめてください。 ●バッテリーの残量を確かめてください。	35 47
	メモリーカードが入らない	●メモリーカードの向きを確かめてください。	37
	メモリーカードが出てこない	●メモリーカードを2～3回押してみてください。	38
	プリンターで印刷したら画面の下に黒い線が出る	●故障ではありません。 手ぶれ補正「入」で撮影すると、黒い線は出なくなります。	–
	持ち運び中にレンズカバーが開くことがある	●衝撃があると開くことがあります。 電源を入れ直すと元に戻ります。	–
	メモリーカードの画像を削除できない	●プロテクトを解除してください。	149
	通信時エラー表示が出る	●パソコンケーブルを正しく接続してください。 ●ソフトを正しくインストールしてください。	145
	DVコードで接続しているとき、操作ができない	●電源が入った状態でDVコードを抜き差ししませんでしたか？ 一度電源を切り、接続をやり直してから操作してください。	126 145

再生中の映像にノイズが出たら

ビデオカメラを長時間使用していると、ヘッドに空気中のほこりやちりが付着します。また、傷のあるテープを使用したときにテープの磁性粉がはがれてヘッドに付着したりします。ヘッドが汚れると次のような症状が出ます。

- 撮影中に「⊗ヘッドが汚れています」と表示される
- 再生しても音声や映像が出ない（青い画面になる）
- 再生すると、映像がモザイク画（ブロック状のノイズ）になる
- 再生すると、映像に黒色やモザイク状の横しまが出る





このようなときは、別売のデジタルビデオヘッドクリーナー（M-DV2CL）テープをビデオカメラで再生して、ヘッドを清掃してください。



M-DV2CL を長時間繰り返し再生すると、ヘッド摩耗の原因になりますのでご注意ください。（ビデオカメラで M-DV2CL を再生すると、20 秒後に自動的に再生を停止します）

詳しくは M-DV2CL の取扱説明書をご覧ください。

- **M-DV2CL でクリーニングしても鮮明な映像が映らないときは**
  ヘッドが摩耗しています。または、テープに傷があります。お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。
- **定期点検を行ってください**
  ヘッドやテープを動かす機械部品は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりします。ビデオカメラの性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ使用時間 1000 時間を目安に定期点検に出されることをおすすめします。定期点検は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

「ツユが付きました」と表示されたら

よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付着します。この状態を「つゆつき」といいます。ビデオカメラでつゆつきが発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼りついてしまいます。

■ つゆつきはこんなときに起こります



- ビデオカメラを寒いところから暖かいところに急に移動したとき
- 湿気の多い場所でビデオカメラを使用しているとき
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風がビデオカメラに直接当たるとき

■ つゆつきが発生すると



- 液晶画面に「ツユが付きました」と「しばらくおまちください」が交互に表示され、ビデオカメラが停止します。この間、カセットの出し入れはしないでください。
- 通常、つゆつきは徐々に発生するため、10～15分間はメッセージが表示されないことがあります。メッセージが表示される前でもレンズや保護ガラスに水滴が付いているときはヘッドドラムにも水滴が付着している可能性があります。カセットカバーを開けないでください。
- つゆつきはレンズの内側にも発生します。レンズに水滴が付着しているときれいに撮影できませんので、つゆつきがなくなってから撮影してください。

■ 再び使い始めるときは

メッセージが消えてからご使用ください。メッセージが消えないときは点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

寒冷地帯では露が凍結し、霜になることがあります。寒冷地帯ではメッセージが消えるまでに、さらに時間がかかることがあります。

次へ続く

■ つゆつきのトラブルを防ぐには

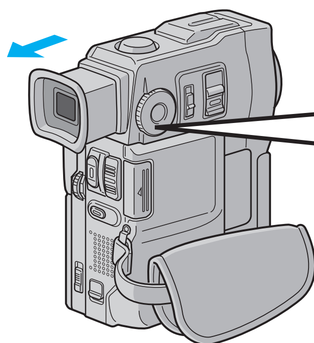
寒いところから暖かいところ、冷風の効いたところから温度、湿度の高い場所に移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく放置して、使用する環境になじませてからご使用ください。

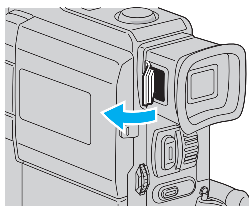
例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などに空気を抜いてビデオカメラを密封し、しばらくその状態で室温になじませてからご使用ください。

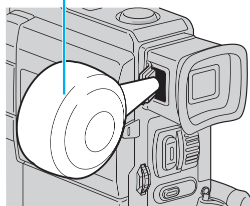


ファインダーの中にゴミが入ったら

ファインダーの内部にゴミなどが入ったときは、ファインダー側面のフタを開け、レンズブロワーでゴミを取ってください。
終わったらファインダー側面のフタを確実に閉めます。







使用上のご注意

ビデオカメラについて

■ **本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。**
従来式のビデオ、およびDV方式以外のデジタルビデオとは互換性がありません。

■ **電源（バッテリーやACアダプター）をはずすときは、必ず電源スイッチが「切」になっていることを確認してください。**
ビデオカメラの動作中に電源をはずすと、テープやメモリーカードを傷めたり誤動作の原因になります。

■ **長時間使用しないときは電源スイッチを「切」にしてください。**
長時間電源を入れたままにしておくと、ビデオカメラの表面が温かくなります。

■ **ビデオカメラを保管するときはカセットテープを取り出し、電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。**
ときどき電源を入れて動作を点検してください。

液晶画面について

■ **表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。**
傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

■ **小さな光る点や黒い点が出ることがあります。**
ファインダーや液晶画面には99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の小さな光る点（赤、青、緑）や黒い点が出ることがあります。故障ではありません。
これらはテープやメモリーカードには記録されません。

時計用電池について

日時を記憶するために充電式の電池が内蔵されています。ビデオカメラに、バッテリーやACアダプターなどの電源を接続すると常に充電されますが、ご購入時や、約3ヵ月間使わずに保管していると電池が放電され、日時の設定が消えてしまうことがあります。このようなときは、ACアダプターなどの電源を24時間以上接続してください。電源の入/切に関係なく電池が充電されますので、日時を合わせてビデオカメラをお使いください（☞P.42）。日時を合わせなくても、ビデオカメラで撮影することはできます。

カセットテープおよびメモリーカードについて

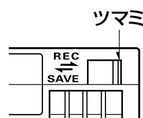
■ **本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。また、デジタルスチルカメラとしても使用できます。**



Mini DV マークの付いたデジタルビデオカセットテープをご使用ください。

MultiMediaCard マークのついたメモリーカードをご使用ください。

■ **大切な録画を消してしまわないように注意してください。**



保存しておきたい録画済みカセットテープは、カセット背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください(ツマミを「REC」の方向に引くと、再び録画できます)。

■ **事前に試し撮りをしてください。**

大切な録画をするときは、事前に試し撮りを行い、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

■ **内容の補償についてはご容赦ください。**

万一、ビデオカメラ、カセットテープおよびメモリーカードなどの不具合により正常に録画、録音や再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ **権利者に無断で使用できません。**

あなたがビデオカメラで録画、録音したビデオは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ **撮影を制限している場所があります。**

鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

■ **モザイク状のノイズが出る場合があります。**

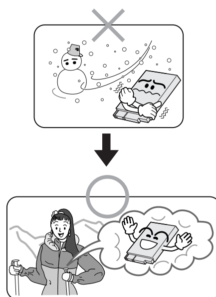
LPモードで録画されたカセットテープは、他のLPモードのあるデジタルビデオで再生した場合、モザイク状のノイズが出る場合があります。また、LPモードのないデジタルビデオでは正常に再生できません。

■ **カセットテープおよびメモリーカードは湿気が少なく風通しのよい、カビの発生しない場所に保存してください。**

■ **メモリーカードは精密機器です。曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。**

バッテリーについて

■ リチウムイオンバッテリーの特性



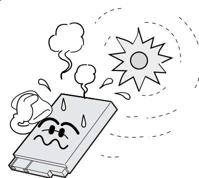
リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10℃以下）でバッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間が短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくし、撮影前にビデオカメラに取り付けてください。カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにご注意ください。

■ リチウムイオンバッテリーの保存

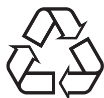
充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。
長期間保存する場合は、使い切った状態で保存してください。

① カセットテープを入れずに電源を入れる
② ビデオカメラの電源が自動的に切れるまで待ってから、
　バッテリーを取りはずす

- 長期間保存する場合は、半年程度に一回充電し、再び使い切ってから保存してください。
- ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーをビデオカメラや AC アダプターから取りはずしてください。
  取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微量の電流が流れていますので、やがて過放電になり使用できなくなる恐れがあります。
- 涼しい所で保存してください。
- 周囲の温度が 15 ℃～ 25 ℃くらいの乾燥した所をお勧めします。
- 暑い所や極端に寒い所は避けてください。



リチウムイオンバッテリーのリサイクルについて



Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

その他

日常のお手入れ

ビデオカメラの汚れを取る

電源を切り、バッテリー、AC アダプターをはずしてから、次のようにお手入れしてください。

- 汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから汚れを拭きます。その後、乾いた布で水分を拭き取ってください。

ご注意
- ベンジンやシンナーは使用しないでください。損傷や故障の原因になります。
- 化学ぞうきんや洗剤をご使用になるときは、ご使用になる製品の注意書きに従ってください。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

レンズや液晶画面の汚れを取る

■ レンズの汚れを取るには

市販のレンズブロワーでほこりを落とし、添付のクリーニングクロス、または市販のレンズクリーニングペーパーなどで汚れを落としてください。汚れたまま放置しておくと、カビなどが発生することがあります。

■ 液晶画面の汚れを取るには

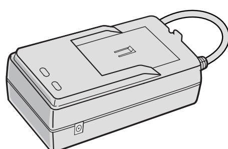
市販のレンズブロワーでホコリを落とし、添付のクリーニングクロスなどで汚れを落としてください。

アクセサリー一覧

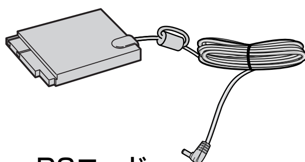
アクセサリーキット（別売）

ビデオカメラをご使用になるには、別売のアクセサリーキット（GV-SP9KIT または VU-X9KIT）をお買い求めください。
なお、VU-X9KIT に専用プリンター（GV-SP11）、プリントペーパー＆インクキット、プリンターコードは同梱されておりません。

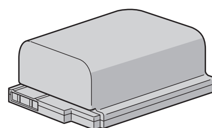
アクセサリーキット



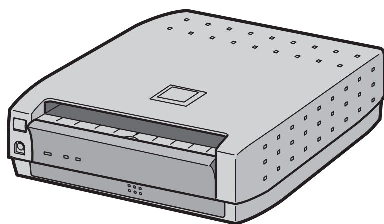
ACアダプター
AA-V51



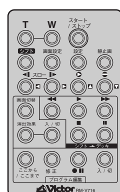
DCコード
長さ：約2.0m



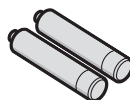
バッテリー
BN-V507



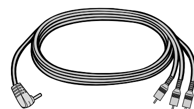
ビデオプリンター
GV-SP11



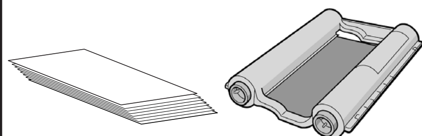
リモートコントロール
RM-V716（リモコン）



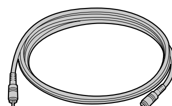
単4乾電池（2本）
（リモコン用電池確認用）



映像/音声コード（φ3.5）
▶φ3.5ミニプラグ
ピンプラグ×3
長さ：約1.5m
ビデオカメラとテレビ、
またはビデオデッキ接続用



プリントペーパー＆インクキット
（10枚用）



編集コード
長さ：約1.5m
自動編集用

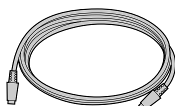


- 別売アクセサリーキットの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 製品の形状および仕様は予告なく変更されることがあります。

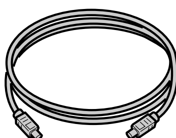
次へ続く

アクセサリー一覧

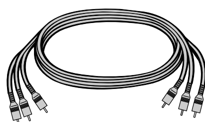
アクセサリーキット　（つづき）



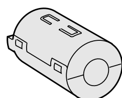
S映像コード
長さ：約1.5m
ドッキングステーションと
S映像対応のテレビ、
またはビデオデッキ接続用



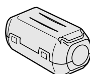
プリンターコード
長さ：約1.0m
ドッキングステーションと
ビデオプリンター接続用



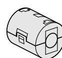
映像／音声コード
長さ：約1.5m
▶ピンプラグ×3
ドッキングステーション
とテレビ、またはビデオ
デッキ接続用



フェライトコア（大）（3個）
映像／音声コード、および
別売DVコード用



フェライトコア（中）（4個）
編集コード、S映像コード
および プリンターコード用



フェライトコア（小）（2個）



メモリーカード（1枚）
8MB MultiMediaCard



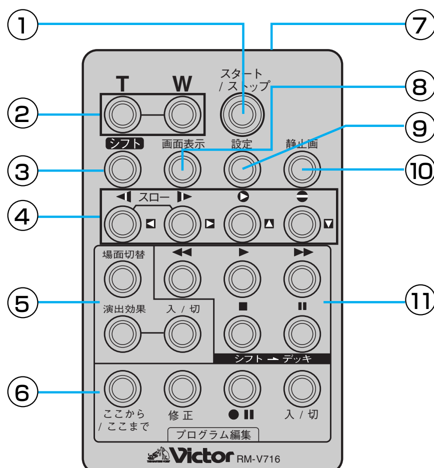
別売アクセサリーの詳細については、ビクター ビデオカメラカタログを参照してください。

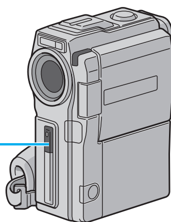
その他の別売アクセサリー：

バッテリーパック	BN-V507、V514
バッテリーキット	VU-V856KIT
バッテリーキット	VU-V840KIT
DV ケーブル	VC-VDV204
メモリーカード（4ＭＢ）	CU-MMC04
メモリーカード（8ＭＢ）	CU-MMC08
マルチメディアナビゲーターパック	HS-V17KIT
カードナビゲーターパック	HS-V15KIT
パソコン接続キット	HS-V13KIT
DV ビデオナビゲーターパック	GV-DV1000
PC カードアダプター	CU-V50
フロッピーアダプター	CU-V40
スノー&レインジャケット	CB-V910
デジタルビデオプリンター	GV-DT3

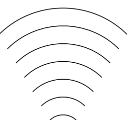
リモコン（別売）

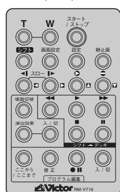
別売アクセサリーキットのリモコンを使うと、ビデオカメラをはなれたところから操作できます。





リモコン
受光部

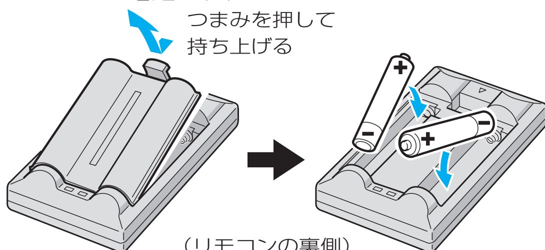




リモコンの操作方法

操作範囲は屋内で約 5m です。
ビデオカメラのリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。
また、ビデオカメラのリモコン受光部に直射日光や照明の強い光が当たると、ビデオカメラが誤動作したり、動作しないことがあります。

リモコン電池の入れかた



（リモコンの裏側）

次へ続く

ボタン名			ボタンの機能	参照ページ
①		スタート/ストップボタン	撮影をスタートまたはストップする。	–
②	T	ズームボタン	映像が大きくなる。	51, 118
	W	ズームボタン	大きくした映像が元に戻る。	
③		シフトボタン	拡大した再生映像を上下左右に動かす。	131, 118
④	◀❙	スロー（逆転）ボタン/左ボタン	テープをスローで巻き戻し再生する。 再生ズームした映像を左に動かす。	59, 118
	❙▶	スロー（正転）ボタン/右ボタン	テープをスローで再生する。 再生ズームした映像を右に動かす。	59, 118
	▲	上ボタン	再生ズームした映像を上に動かす。	118
	⊖	アフレコボタン/下ボタン	アフレコ編集を行う。 再生ズームした映像を下に動かす。	118, 140
⑤		場面切替ボタン	自動編集中、場面切替効果を選択する。	134
		演出効果ボタン	再生中や自動編集中、演出効果を選択する。	119
		演出効果 入/切ボタン	再生映像に演出効果を加える。	119
⑥		ここから/ここまでボタン	自動編集の開始と終了を指定する。	134
		修正ボタン	自動編集を修正する。	136
	●❚❚	ビデオ準備ボタン	自動編集でビデオデッキを録画一時停止にする。	135
		入/切ボタン	自動編集表示画面を表示する。	134
⑦		リモートポーズ（入力） 端子	編集コードを接続する。	133
⑧		画面表示ボタン	テレビに出てくるメッセージを出したり、消したりする。	136
⑨		設定ボタン	編集に使用するビデオデッキのメーカーを設定する。	131
⑩		静止画ボタン	静止画を撮影する。（半押し機能がありません）	–
⑪	◀◀	巻戻しボタン	テープを巻き戻す。 前の静止画を再生する	59
	▶	再生ボタン	テープを再生する。 静止画を連続再生する	59
	▶▶	早送りボタン	テープを早送りする。 次の静止画を再生する	59
	■	停止ボタン	テープを停止する。 静止画の連続再生をやめる	59
	❚❚	一時停止ボタン	テープを一時停止するときに押す。	–

• ▶（インサートボタン）は、本機で使用できません。

保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼される場合（持込修理）

164 ～170ページに従って調べてください。なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

本機、DVカセットテープなどの万一の不具合により、正常に録画・録音・再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	デジタルビデオカメラ
型名	GR-DVX9
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	（　　）　－

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

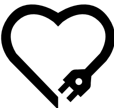
保証期間が過ぎているときは

有料修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検

●長年ご使用のビデオカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声が出ない。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。



ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

その他

サービス窓口案内



ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.S.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

平成12年4月1日現在　・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

サービス窓口案内

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		近畿		
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業務機器C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		中国		
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四国		
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
		九州・沖縄		
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山陰		
島根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

その他

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ　**JVC CANADA INC.**
・トロント　〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ　**JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA**
・ロサンゼルス　〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー　〔973-396-1000〕
10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
・ホノルル　〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス　**JVC（U.K.）LIMITED**
・ロンドン　〔0208-450-3282〕
JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

フランス　**JVC FRANCE S.A.**
・パリ　〔01-61-04-11-11〕
1, Avenue, Eiffel 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

シンガポール　**JVC ASIA PTE. LTD.**
・シンガポール　〔255-8155〕
31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

(注)・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル
	(06)6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル



こころのかよう
サービス

サービスネットワークＢＳ　9001

海外でお使いになるときは

本機は海外でも使用可能です

別売の AC アダプターを使ってバッテリーを充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など	主にオーストラリア	主にヨーロッパ		

現地のテレビで再生する

NTSC 方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。NTSC 方式を採用している国、および地域は以下の通りです。

- アメリカ合衆国
- プエルトリコ
- バルバドス
- キューバ
- フィリピン
- チリ
- コロンビア
- 台湾
- バミューダ
- バハマ
- カナダ
- 米領サモア
- 韓国
- コスタリカ
- メキシコ
- ニカラグア
- パナマ
- エルサルバドル
- ペルー
- グアム
- グァテマラ
- ミクロネシア
- スリナム
- ハイチ
- エクアドル
- ベネズエラ
- ミャンマー
- ボリビア
- ホンジュラス
- ドミニカ
- トリニダード・トバコ



- **再生できるテープは**
  日本と同じ NTSC 方式で撮影したミニ DV テープが再生できます。
- **海外で故障したときは**
  「サービス窓口案内」(☞P.181)の「海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口」にご相談ください。日本語での対応ができない窓口もあります。海外では日本の保証書は適用されません。

  その他の地域に関しては、日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。

主な仕様

一般

項　目	仕　様
電源	DC 6.3 V（ACアダプター使用時）DC 7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力	4.4 W（ファインダー使用時）、5.2 W（液晶画面使用時）
外形寸法	51 mm × 125 mm × 97 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	本体質量　約 515 g 撮影時質量　約 635 g（バッテリーBN-V514、カセットM-DV30ME含む） 撮影時質量　約 590 g（バッテリーBN-V507、カセットM-DV30ME含む）
許容動作温度	0 °C ～ 40 °C
許容相対湿度	35 % ～ 80 %
許容保存温度	–20 °C ～ 50 °C

カメラ部

項　目	仕　様
撮像素子	1/4型 68万画素プログレッシブスキャンCCD （撮像エリア　ビデオ時：34万画素 XGA静止画時：63万画素）
レンズ	F1.8、ƒ=3.8 mm ～ 38 mm （35 mmカメラ換算：48.8 mm ～ 488 mm）
フィルター径	27 mm（ネジピッチ 0.75 mm）
ズーム倍率	光学10倍、最大200倍（デジタル使用）

●仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

主な仕様

液晶画面／ファインダー部

項　　目	仕　　様
液晶画面	2.5型、20万画素　ポリシリコンカラー液晶
ファインダー	0.44型、18万画素　ポリシリコンカラー液晶

デジタルビデオカメラ部

項　　目	仕　　様
録画／再生方式	DV方式（SD仕様） 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCMデジタル記録、12BIT 4チャンネル（32 kHz)、 16BIT 2チャンネル（48 kHz）、44.1kHz（再生のみ）
信号方式	NTSC日米標準信号方式
使用カセット	ミニDVカセット
録画／再生時間	SPモード：80分、LPモード：120分（DVM80テープ使用時）
早送り／巻き戻し時間	約3分（DVM60テープ使用時）

デジタルスチルカメラ部

項　　目	仕　　様
記憶メディア	マルチメディアカード
圧縮方式	JPEG準拠
画像サイズ	XGA（1024×768ドット） VGA（640×480ドット）
画質	2モード（ファイン／スタンダード）
撮影可能枚数	XGA(ファイン：約21枚、スタンダード：約64枚) VGA(ファイン：約46枚、スタンダード：約133枚) アクセサリーキット（GV-SP9KITまたはVU-X9KIT）に付属のメモリーカード［8MB］使用時

端子部

項　　目	仕　　様
DV入力／出力端子※1	4ピン（i.LINK／IEEE1394準拠）
AV出力端子※1 （ヘッドホン端子と共用です）	φ3.5 mmミニジャック 映像：アナログ出力（1.0V(p-p)、75Ω） 音声：ステレオ／アナログ出力（300 mVrms、1 kΩ）
S2映像入力／出力端子※2	アナログ入力（Y:0.8～1.2 V(p-p)、75Ω　C:0.2～0.4 V(p-p)、75Ω） アナログ出力（Y:1.0 V(p-p)、75Ω　C:0.29 V(p-p)、75Ω）
映像・音声 入力／出力端子※2	ピンプラグ 映像： 　アナログ入力（0.8～1.2 V(p-p)、75Ω） 　アナログ出力（1.0 V(p-p)、75Ω） 音声： 　ステレオ／アナログ入力（300 mVrms、50 kΩ） 　ステレオ／アナログ出力（300 mVrms、1 kΩ）
マイク端子※2	φ3.5 mmミニジャック（ステレオ）
プリンター端子※2	プリンター専用端子
パソコン(デジタル静止画)端子※2	φ2.5 mm超ミニジャック
JLIP端子／編集端子※2	φ3.5 mmミニジャック

※1　ビデオカメラ本体のみに装備
※2　ドッキングステーションのみに装備

その他

メニュー一覧

撮影時

A／Mスイッチを「M」に設定し、「メニュー／決定」レバーを押すと表示されます。

反転は初期値

アイコン	メニュー
	場面切替 切 フェーダー：白*1 フェーダー：黒*1 フェーダー：白黒*1 ワイプ：コーナー*1 ワイプ：ウィンドウ*1 ワイプ：スライド*1 ワイプ：ドア*1 ワイプ：スクロール*1 ワイプ：シャッター*1 P ワイプ：オーバーラップ*2 P ワイプ：コーナー*2 P ワイプ：ウィンドウ*2 P ワイプ：スライド*2 P ワイプ：ドア*2 P ワイプ：スクロール*2 P ワイプ：シャッター*2 R ワイプ：ランダム*1
	演出効果 切 夜景 セピア*3 B/Wブラック／ホワイト*3 映画効果 *1 ストロボ *1 1 高感度1 *1 2 高感度2 *1 ゴースト *2 1/60 シャッター1/60 1/100 シャッター1/100 1/250 シャッター1/250

＊1：VIDEOとPSのみ使用できます。
＊2：VIDEOのみ使用できます。
＊3：DUAL以外で使用できます。

反転は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー			
	白バランス				
	オート				
	マニュアル	ワンタッチ			
	撮影設定[A][M]				
	◀戻る				
	録画モード	SP	LP		
	音声モード	12BIT	16BIT		
	ズーム	40倍	200倍	10倍	
	静止画モード切替	フル	ピンナップ		
	感度アップ	オート　A	AGC	切	
	ブザー／タリー	入：メロディー		入：ブザー	切
	IDナンバー	06	(01～99)		
	デモモード	入	切		
	マニュアル設定[M]				
	◀戻る				
	手ぶれ補正	入	切		
	セルフタイマー	しない	する		
	5S	切	5S	アニメ	
	テレマクロ	切	入		
	ワイド効果	切	シネマ	ワイド	PSワイド
	ボイスポジション	切	入		
	フラッシュモード	オート	オート 👁	入	切
	フラッシュ明るさ	−3 ～ ±0 ～ +3			
	日時／表示設定				
	◀戻る				
	画面表示切替	モニター/TV	モニター	モニター：シンプル	
	日時表示	オート	切	入	
	タイムコード表示	切	入		
	年月日時計合わせ				

索引



- 青いメニュー表示の機能は設定できません。
- アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。

再生時

電源スイッチを「再生／PC」または「メモリー再生」に設定し、「メニュー／決定」レバーを押すと表示されます。
「メモリー再生モード設定」を選択できるのは、電源スイッチを「メモリー再生」に設定したときのみです。

反転は初期値

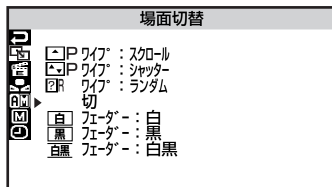
アイコン	メニュー	サブメニュー		
	ビデオ再生モード設定			
	◀ 戻る			
	音声モード切替	ステレオ	音声L	音声R
	12BIT音声切替	音声1	音声2	ミックス
	シンクロ補正	−1.3～ ±0 ～＋1.3		
	録画モード	SP	LP	
	ブランクサーチ	キャンセル	実行	
	➡ コピー	しない	する	
	アナログ入力	しない	する	
	日時／表示設定			
	◀ 戻る			
	画面表示切替	モニター/TV	モニター	モニター：シンプル
	日時表示	オート	切	入
	タイムコード表示	切	入	
	メモリー再生モード設定			
	◀ 戻る			
	静止画プロテクト	（プロテクト画面を表示します）		
	静止画削除	キャンセル	全静止画	選択静止画
	サウンドプロテクト	（プロテクト画面を表示します）		
	サウンド削除	キャンセル	全サウンド	選択サウンド
	動画プロテクト	（プロテクト画面を表示します）		
	動画削除	キャンセル	全動画	選択動画
	フレーム削除	キャンセル	全フレーム	選択フレーム
	DPOF設定	選択する	すべて1枚	設定クリア
	フォーマット	キャンセル	実行	



● 青いメニュー表示の機能は設定できません。

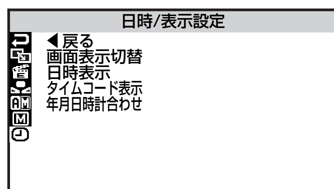
1 「メニュー／決定」レバーを押す

次の画面が表示されます。



2 レバーを上下に動かしてアイコンを選択する

選択した項目に合わせてメニューが切り替わります。



3 レバーを押す

メニューの最初の項目が選択されます。

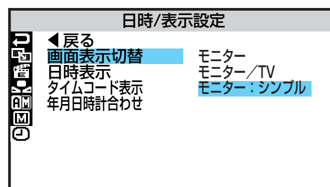
4 メニューから項目を選択する

サブメニュー有　：現在の設定値を表示

サブメニューなし：手順７へ進む

5 レバーを押す

サブメニューが表示されます。



- メニュー画面で選択中の項目には、右下に矢印が表示されますが、本文中の画面例では省略してあります。

6 サブメニューの項目を選択する

7 レバーを押して決定する

8 元の画面に戻る

- **「終了」が選択されているとき**

→レバーを押します。

- **それ以外のとき**

→「戻る」を選んでレバーを２回押します。

画面表示の見かた

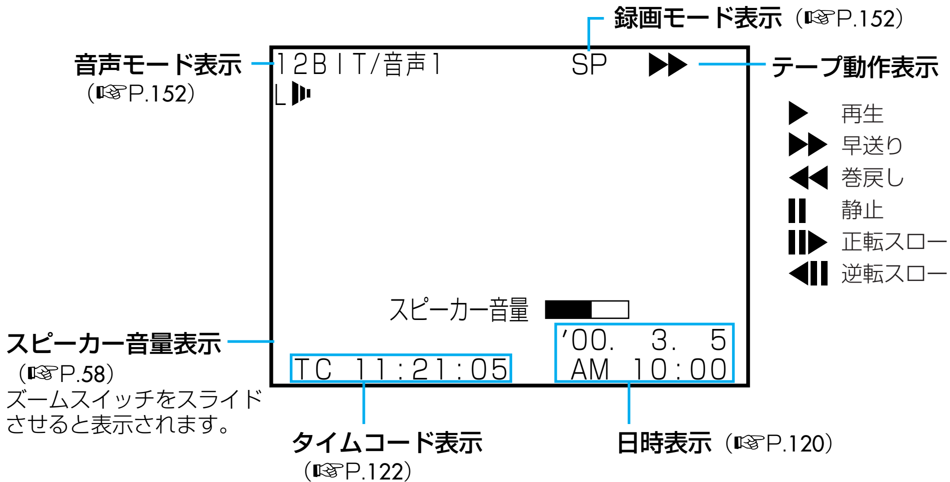
撮影時の表示



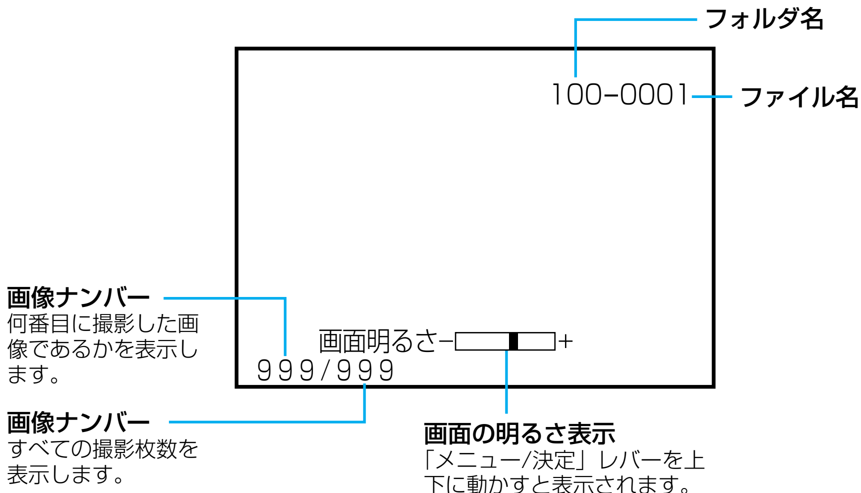
● 画面表示が青色のときは、その機能は使えません。

再生時の表示

ビデオ再生



静止画再生



次へ続く

撮影／再生時の確認表示

メッセージ	対処	参照ページ
E01 ～ E06　セーフティーが働きました バッテリーを外して付け直して下さい	バッテリーと電源をはずしてつけなおしてください	167
ツユが付きました しばらくお待ち下さい	１時間以上待ってください	169
ヘッドが汚れています クリーニングカセットをためして下さい	クリーニングカセットを使用してください	168
音声 16BIT(12BIT)	撮影時の音声モードを表示しています	152
音声アフレコできません	録画モードか音声モードを変更して撮影してください カセットのツマミを確認してください	152 163
記録されたデータがありません	メモリーカードに静止画、動画、サウンドが記録されていません	109
このテープでは録画できません テープのツマミをたしかめて下さい	カセットのツマミを「REC」側にしてください	172
テープおわり	テープを交換してください	35
テープがちがいます！	正しいテープと交換してください	35
テープを入れて下さい！	テープを入れてください	35
日時を設定して下さい！	日時を設定し直してください	42
メモリーがいっぱいです	メモリーカードを交換するか、データを削除してください	37, 69, 104, 115
メモリーカードへ記録できません	メモリーカードを交換するか、データを削除してください	37, 69, 104, 115
メモリーカードを入れて下さい！	メモリーカードを入れてください	37
メモリーカードをフォーマットして下さい！	メモリーカードを初期化（フォーマット）してください	162
サウンドデータがありません	メモリーカードにサウンドが記録されていません	102

五十音順索引

次へ続く

五十音順索引

わ

アルファベット/数字

索引

メモ

Tokyo Video Festival
An International Video Contest for the People Around the World
東京ビデオフェスティバル

■「東京ビデオフェスティバル」は日本ビクターが主催するどなたでも参加できる国際的ビデオフェスティバルです。審査は著名な映画監督や俳優や作家の方々によって行われます。
■入賞作品のダイジェスト動画映像はビクターホームページでご覧いただけます。

■お問い合わせ先
日本ビクター株式会社　東京ビデオフェスティバル事務局
〒105-0004 東京都港区新橋1-7-1　ビクタービル内
☎03-3289-2815　Fax: 03-3289-2819
E-mail: jvc-tvf1@mb.kcom.ne.jp　（2000年5月現在）

ご相談や修理は

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に164～170ページをご確認ください。

修理相談

ご転居等で保証書に記載のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、179ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、180～181ページの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。

お問い合わせ

ビクター製品についてのお買い物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

東京お客様ご相談センター

東京☎ (03) 5684-9311

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪お客様ご相談センター

大阪☎ (06) 6765-4161

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

この機種についてのお取り扱い、技術的なご相談は、下記までお問い合わせください。

DVご相談窓口

☎ (045)450-2770

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/





JVC

日本ビクター株式会社



ホームAVネットワークビジネスユニット

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話 (045)450-2550

0500FOV＊HT＊VP